

令和 7 年度
佐渡市障がい者プランに関する
アンケート調査結果報告書

令和 8 年 2 月

佐渡市

目 次

	頁
I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
(1) 調査時期と調査方法	1
(2) 配布・回収状況	2
3 報告書の見方について	2
(1) 回答者数の表記について	2
(2) 計算値の表記について	2
(3) 比率の算出について	2
(4) 障がい者の重複について	2
II 調査結果	3
II-i. 障がい児福祉計画に関するアンケート調査<18歳未満>	3
1 子どもの基本情報について	3
(1) 調査の回答者	3
(2) 保護者の年齢	3
(3) 保護者の就労状況	4
(4) 子どもの年齢	5
(5) 子どもの性別	5
(6) 子どもの居住地区	5
(7) 子どもの居住形態	6
(8) 子どもの同居者の状況	6
2 障がいの状況について	7
(1) 障害者手帳等の所有状況	7
(2) 身体障がいの内容	9
(3) 障害者手帳の交付時期	10
(4) 発達の不安や障がいに気づいたきっかけ	10
(5) 発達の不安や障がいに気づいた時の年齢	11
(6) 発達の不安や障がいに気づいた時の主な相談先	11
3 医療機関利用状況について	12
(1) 医療機関利用状況	12
(2) 医療に関する困りごと	13

4	障がい福祉サービスの利用について	14
(1)	生活上で困っていること	14
(2)	福祉サービスの利用で困っていること	15
(3)	障がい福祉サービスの利用状況と今後の利用意向	16
(4)	「短期入所（ショートステイ）」等の利用理由	19
(5)	サービスを利用していない理由	19
5	日中の過ごし方について	20
(1)	就学、就労の状況について	20
(2)	就学前の子どもの日中の過ごし方（現状）	21
(3)	就学前の子どもの日中の過ごし方（希望）	21
(4)	就学中の子どもの学校以外の時間の過ごし方（現状）	22
(5)	就学中の子どもの学校以外の時間の過ごし方（希望）	22
(6)	通学していて困ること	23
(7)	さらに充実させてほしい療育や支援	24
6	将来の生活について	26
(1)	保護者が介助・支援できなくなった場合の対応	26
(2)	介助が困難になった場合に必要と思うこと	27
7	災害時の避難などについて	28
(1)	災害時の避難場所の認知状況	28
(2)	災害時に一人で避難することができるか	28
(3)	災害時の補助者（主な介助者以外）の存在について	28
(4)	年齢別、地域別、障害者手帳保有状況別の災害時の対応	29
(5)	災害時に困ること	30
8	障がいのある方の人権について	32
(1)	障がいのある方への対応や理解の充足状況	32
(2)	障がいを理由として人権を損なう扱いを受けた経験の有無	33
(3)	人権を損なう扱いを受けた場合の相談先	35
(4)	相談しなかった理由	35
(5)	地域での共生のために必要なこと	36
9	相談について	38
(1)	養育の負担感軽減のために重要なこと	38
(2)	悩みや困りごとに関する相談先	40
10	障がい者施策について	412
(1)	障がい者施策への要望	42
11	佐渡市の障がい者施策への意見・要望（自由意見）	44

Ⅱ－ⅱ． 障がい者福祉計画に関するアンケート調査《18歳以上》	49
1 回答者の基本情報について	49
(1) 調査の回答者	49
(2) 年齢	49
(3) 性別	50
(4) 居住地区	50
(5) 同居者	51
2 障がい等の状況について	52
(1) 障害者手帳等の保有状況	52
(2) 身体障がいの内容	54
(3) 障がいや病気に関する指定等の状況	55
(4) 要介護認定等の区分	55
3 医療機関利用状況について	56
(1) 医療機関利用状況	56
(2) 医療に関する困りごと	58
4 障がい福祉サービスの利用について	60
(1) 生活上で困っていること	60
(2) 福祉サービスの利用で困っていること	62
(3) 障がい福祉サービスの利用状況と今後の利用意向	64
(4) サービスを利用していない理由	70
5 生活の状況について	71
(1) 現在の生活に必要な支援	71
(2) 主な介助者	73
(3) 主な介助者の年齢	75
(4) 主な介助者が介助できないときの対応	77
(5) 主な介助者が困っていると思うこと	79
6 情報や相談について	81
(1) 福祉に関する情報の入手方法	81
(2) コミュニケーションに必要な支援	83
(3) 困りごとなどの相談先	85
(4) 相談支援体制への要望事項	87
7 就労状況について	89
(1) 現在の就労状況	89
(2) 現在の仕事に就いたきっかけ	90
(3) 仕事をするうえでの困りごと	92

(4) 働いていない理由	94
(5) 障がいのある人が働くために必要な環境	96
8 将来の生活について	98
(1) 主な介助者が介助・支援できなくなった場合の対応	98
(2) 主な介助者の介助が困難になったときに必要なこと	100
9 外出について	102
(1) 外出頻度	102
(2) 外出目的・外出先・外出方法	103
(3) 障がいのある方が外出しやすくするために必要なこと	107
10 障がい者の人権や障がい者理解について	111
(1) 成年後見制度の認知度	111
(2) 成年後見制度の活用意向	111
(3) 成年後見制度を利用したいと思わない理由	113
(4) 障がいを理由として人権を損なう扱いを受けた経験の有無	114
(5) 人権を損なう扱いを受けたときの相談先	116
(6) 誰にも相談しなかった理由	116
(7) 地域での共生のために必要なこと	117
11 災害時の避難などについて	119
(1) 災害時の避難場所の認知度	119
(2) 緊急時の避難について	119
(3) 災害時の援助者の有無	119
(4) 年齢別、地域別、障害者手帳保有状況別の災害時の対応	120
(5) 災害時に困ること	121
12 障がい者福祉施策について	123
(1) 障がい者福祉施策に対する要望事項	123
13 佐渡市の障がい者施策への意見・要望（自由意見）	125

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第5次佐渡市障がい者計画」、「第8期佐渡市障がい福祉計画」及び「第4期佐渡市障がい児福祉計画」を策定するにあたり、市における障がい福祉に関する評価と今後の施策実施の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査の方法

(1) 調査時期と調査方法

本調査は、身体障害者手帳・療育手帳（知的障がい）・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、あるいは、障害児福祉手当、特別児童扶養手当、通院交通費の助成を受けられている方を対象として、対象者ごとに調査票を分けて実施しました。

調査方法

調 査 名	障がい児福祉計画に関するアンケート調査
調査対象	市内在住の18歳未満で、身体障害者手帳・療育手帳（知的障がい）・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、あるいは、障害児福祉手当、特別児童扶養手当、通院交通費の助成を受けられている方
調 査 方 法	郵送法、回収は郵送またはWEB回答
調 査 期 間	令和7年10月24日（金）～令和7年11月25日（火）

調 査 名	障がい者福祉計画に関するアンケート調査
調査対象	市内在住の18歳以上、65歳未満で、身体障害者手帳・療育手帳（知的障がい）・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、あるいは、通院交通費の助成をうけられている方
調 査 方 法	郵送法、回収は郵送またはWEB回答
調 査 期 間	令和7年10月24日（金）～令和7年11月25日（火）

(2) 配布・回収状況

各調査の配布・回収状況は、以下のとおりです。

<調査票の配布・回収>

調査名	対象	配布数	回収数		有効 回答数	有効 回答率
			郵送	WEB		
障がい児福祉計画に関する アンケート調査	18 歳未満	137 (91)	43 (35)	32 (6)	75 (41)	54.7 (45.1)
障がい者福祉計画に関する アンケート調査	18 歳以上 65 歳未満	1,282 (3,273)	538 (1,579)	101 (54)	639 (1,628)	49.8 (49.7)

() 内は前回(令和4年度)調査。前回調査では65歳以上も調査対象に含まれていました。

3 報告書の見方について

(1) 回答者数の表記について

報告書中の「n」の数値は、設問への回答者数を表します。

(2) 計算値の表記について

調査結果の数値については小数点第2以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

(3) 比率の算出について

回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答(「〇はいくつでも」など)の設問については、全ての回答比率の合計が100%を超えることがあります。

(4) 障がい者の重複について

本調査の対象者(以下「対象者」といいます。)である障がい者手帳の保有者には身体障害者手帳や療育手帳(知的障がい)など、重複して保有している方がいます。したがって各障害者手帳保有者の合計と全体の回答数が一致していません。

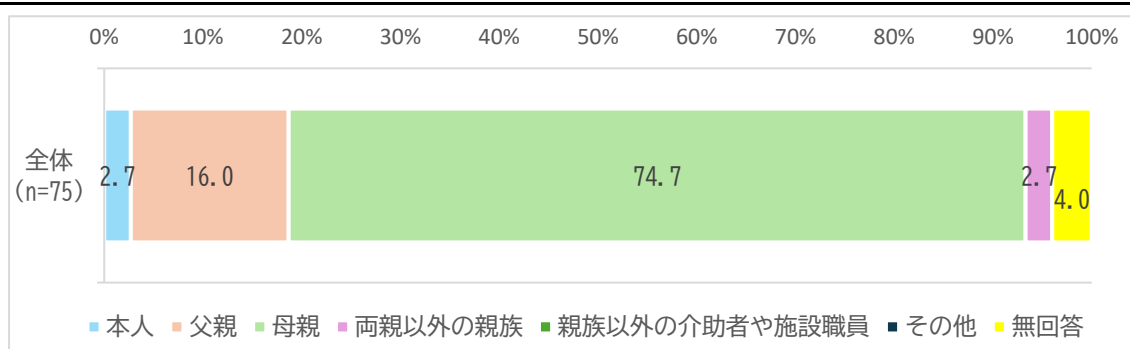
Ⅱ 調査結果

Ⅱ－ⅰ．障がい児福祉計画に関するアンケート調査＜18歳未満＞

1 子どもの基本情報について

(1) 調査の回答者

問1 この調査票にお答えいただくのはどなたですか。(1つだけ○をつけてください)

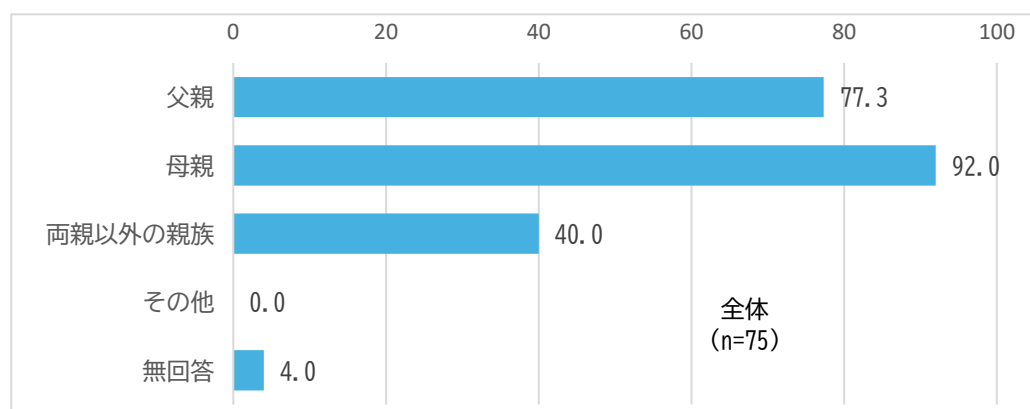


調査の回答者 75 人のうち、「母親」が 74.7% で最も多く、次いで「父親」が 16.0%、「本人」「両親以外の親族」がともに 2.7% となっています。

(2) 保護者の年齢

問2 お子様の保護者の方の年齢を教えてください。(令和7年4月1日現在、「保護者」に該当する方すべてに○をつけてください)

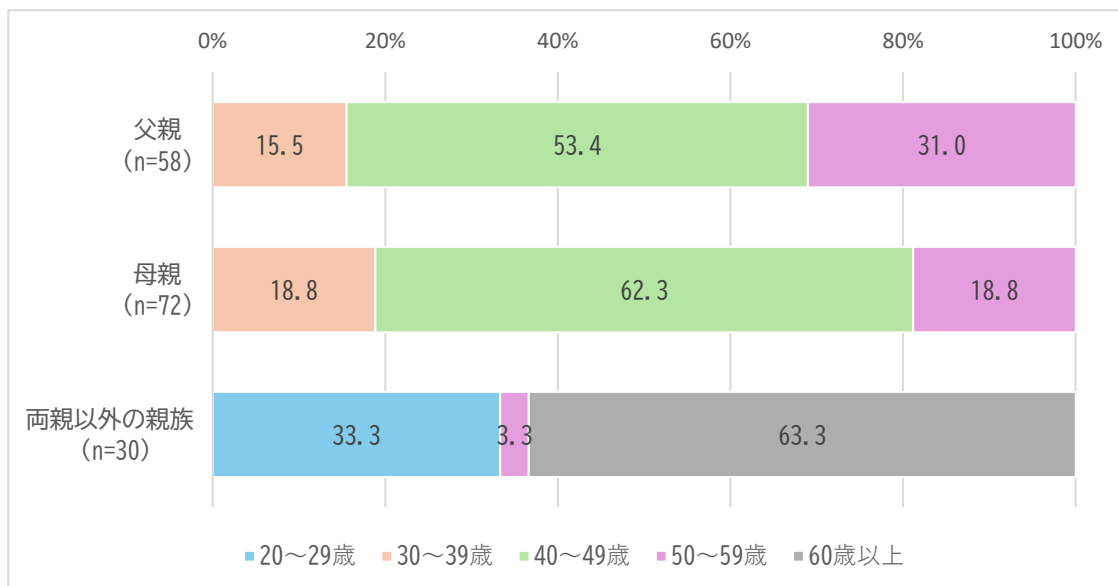
<保護者の属性>



「保護者」として回答があった属性をみると、「母親」が 92.0%、「父親」が 77.3%、「両親以外の親族」が 40.0% となっています。

それぞれの重複回答状況をみると、「父親」「母親」をともに選択した回答が 46.7% で最も多く、「父親」「母親」「両親以外の親族」の全てを選択した回答が 28.0%、「母親」のみの回答が 9.3%、「母親」「両親以外の親族」が 8.0%、「父親」のみの回答が 2.7% などとなっています。

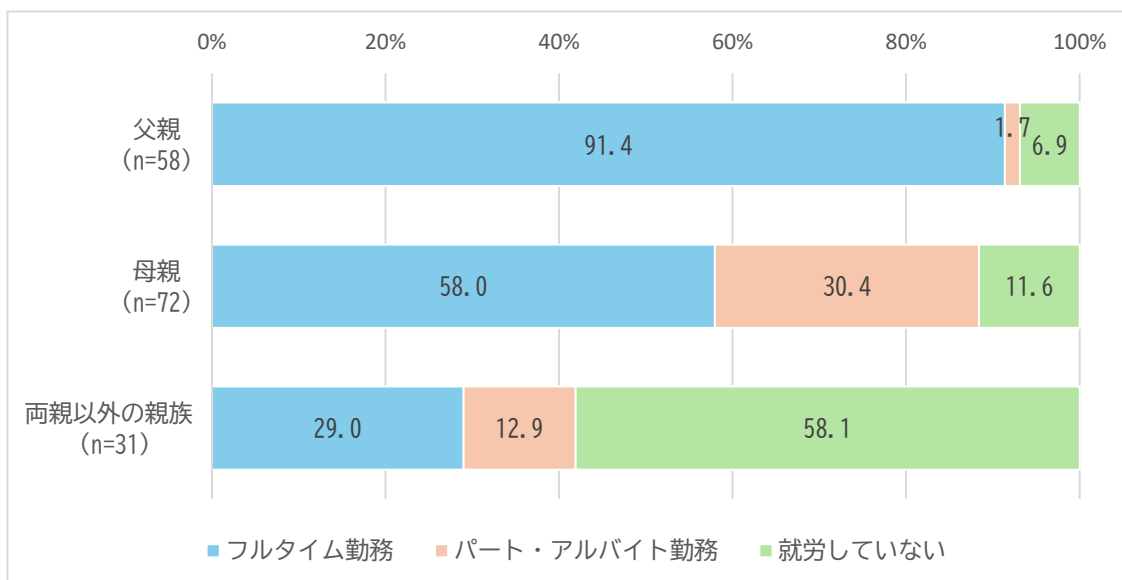
＜保護者の年齢＞



保護者の年齢については、「父親」「母親」は「40 歳代」が中心で、いずれも半数以上を占めています。一方、「両親以外の親族」は「60 歳以上」と「20 歳代」が多くなっています。

（３）保護者の就労状況

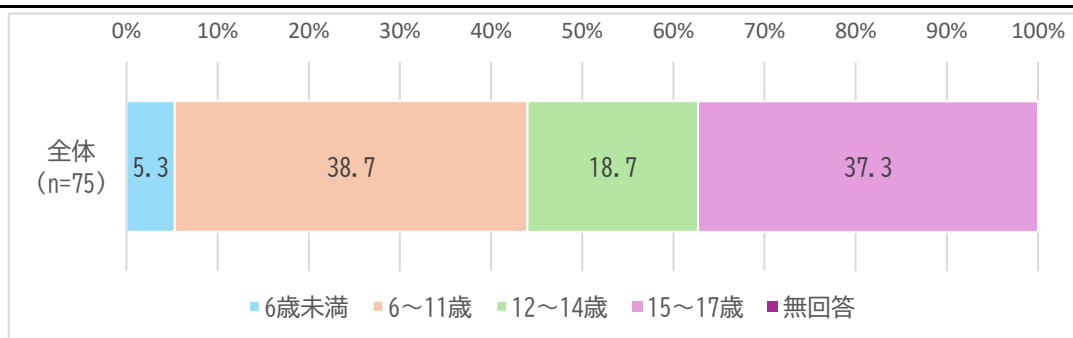
問３ お子様の保護者の方の就労状況を教えてください。（「保護者」に該当する方すべてに○をつけてください）



保護者の就労状況では、「父親」は「フルタイム勤務」が 91.4%で大半を占めています。「母親」は「フルタイム勤務」が 58.0%、「パート・アルバイト勤務」が 30.4%となっています。一方、「両親以外の親族」では「就労していない」が 6 割近くを占めています。

(4) 子どもの年齢

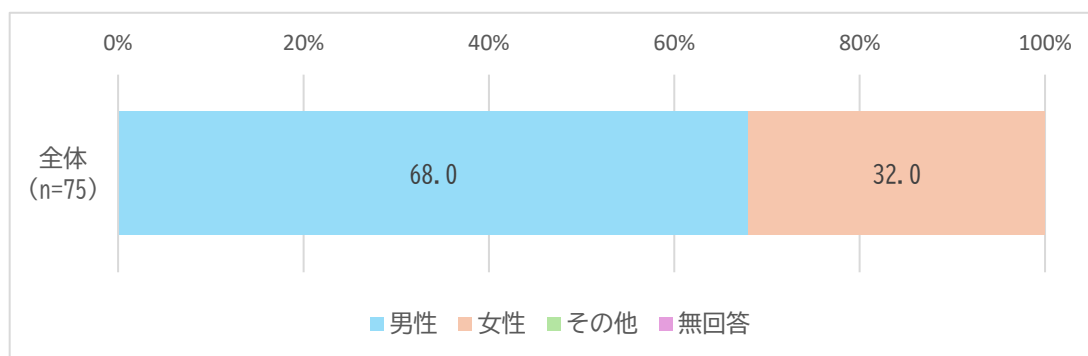
問4 お子様は何歳ですか。(令和7年4月1日現在)



障がいのある子どもの年齢は、「6歳未満」の未就学児が5.3%、「6～11歳」の小学生が38.7%、「12～14歳」の中学生が18.7%、「15～17歳」の高校生が37.3%となっています。

(5) 子どもの性別

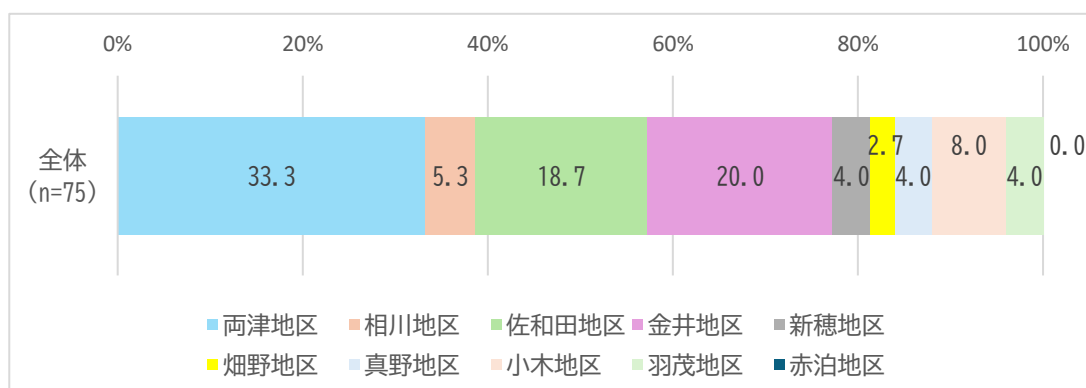
問5 お子様の性別はどれですか。(1つだけ○をつけてください)



子どもの性別は、「男性」が68.0%、「女性」が32.0%となっています。

(6) 子どもの居住地区

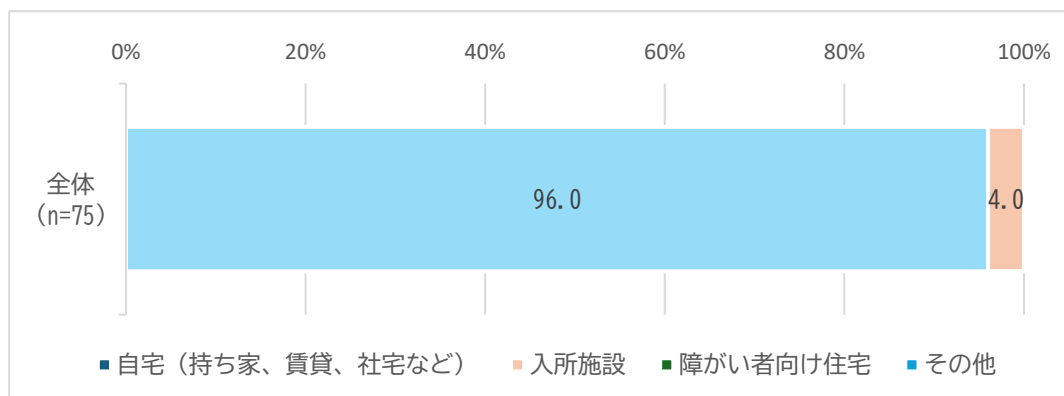
問6 お子様のお住まいの地区はどこですか。(1つだけ○をつけてください)



子どもの居住地区は、「両津地区」が33.3%で最も多く、次いで「金井地区」が20.0%、「佐和田地区」が18.7%、小木地区が8.0%などとなっています。なお、赤泊地区は「該当者なし」となっています。

（７）子どもの居住形態

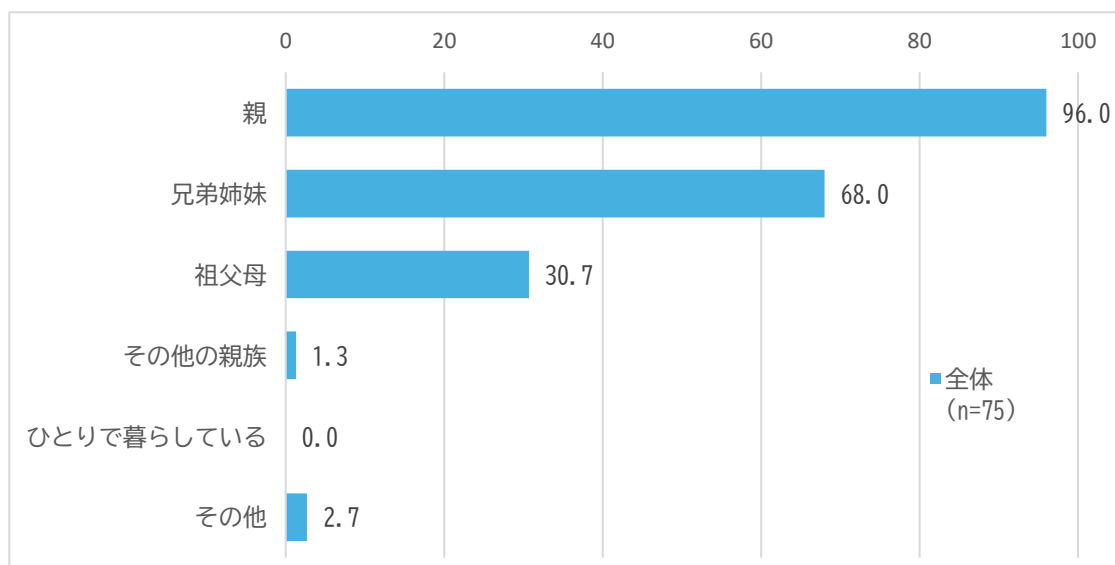
問７ お子様のお住まいはどれですか。（１つだけ○をつけてください）



子どもの居住形態は、「自宅（持ち家、賃貸、社宅など）」が 96.0%、「入所施設」が 4.0%となっています。

（８）子どもの同居者の状況

問８ お子様はどなたと一緒にくらしていますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



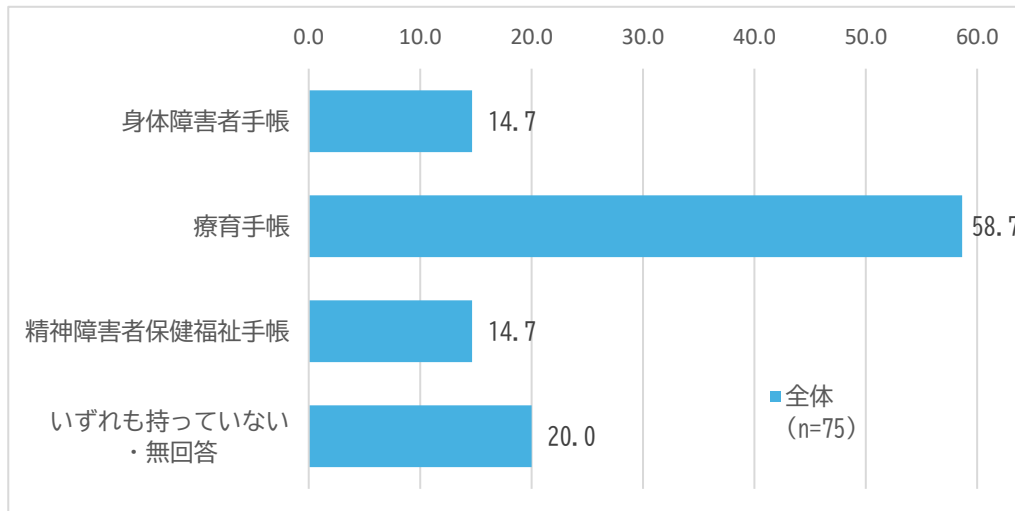
子どもの同居者については、「親」が 96.0%、「兄弟姉妹」が 68.0%、「祖父母」が 30.7%となっています。

2 障がいの状況について

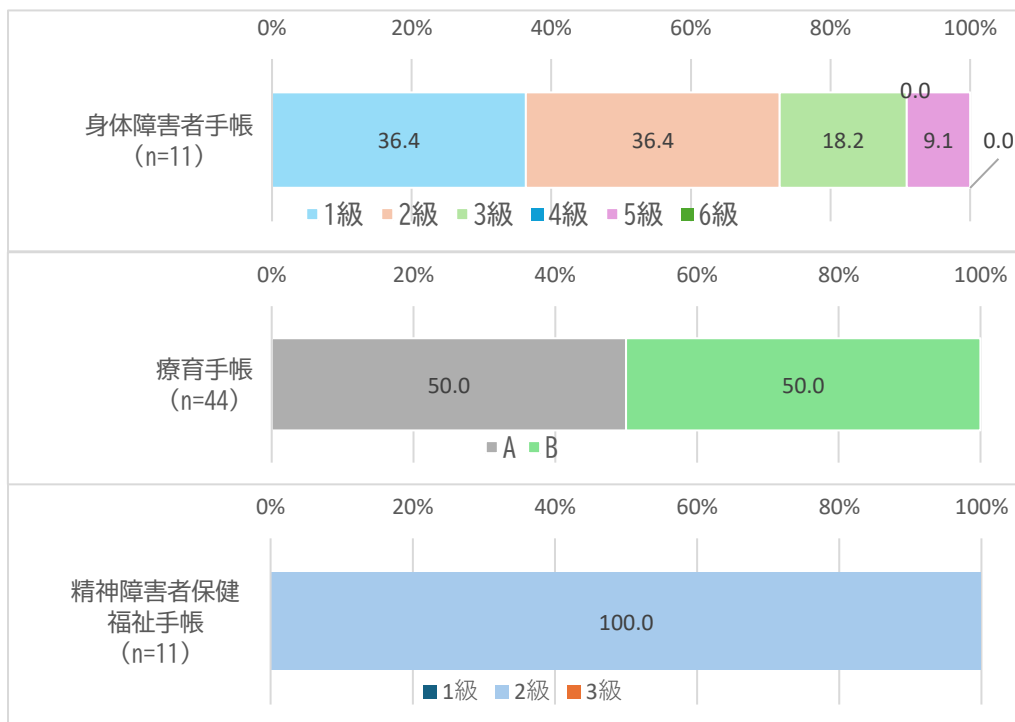
(1) 障害者手帳等の所有状況

問9 あなたがお持ちの障害者手帳等はどれですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

<障害者手帳の保有状況>



<各障害者手帳の等級内訳>



手帳の種類は、「身体障害者手帳」が14.7%、「療育手帳」が58.7%、「精神障害者保健福祉手帳」が14.7%となっています。また、各障害者手帳の等級の内訳をみると「身体障害者手帳」では「1級」「2級」がそれぞれ36.4%で最も多く、「療育手帳」では「A」「B」それぞれが50.0%、「精神障害者保健福祉手帳」では「2級」が100.0%となっています。

参考結果：障害者手帳などの重複所持状況

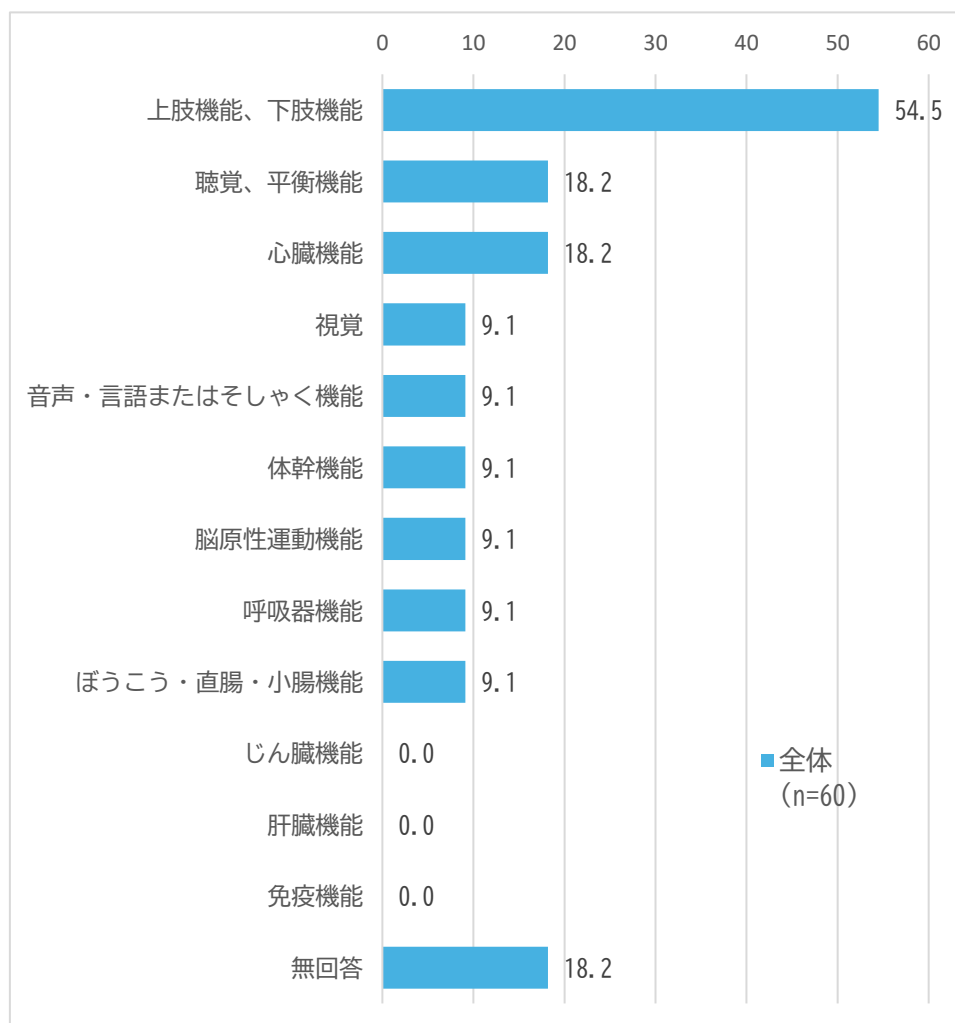
		合計	身体障害者手帳			
			有		無・無回答	
			療育手帳		療育手帳	
			有	無・無回答	有	無・無回答
合計		75	5	6	39	25
精神障害者保健福祉手帳	有	11	① 0	③ 0	④ 1	10
	無・無回答	64	② 5	6	38	15

障害者手帳などを複数所持している方の状況は以下のとおりです。

- ① 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳 3 種類の所持者は 0 人
- ② 身体障害者手帳、療育手帳 2 種類の所持者は 5 人
- ③ 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳 2 種類の所持者は 0 人
- ④ 療育手帳、精神障害者保健福祉手帳 2 種類の所持者は 1 人

（２）身体障がいの内容

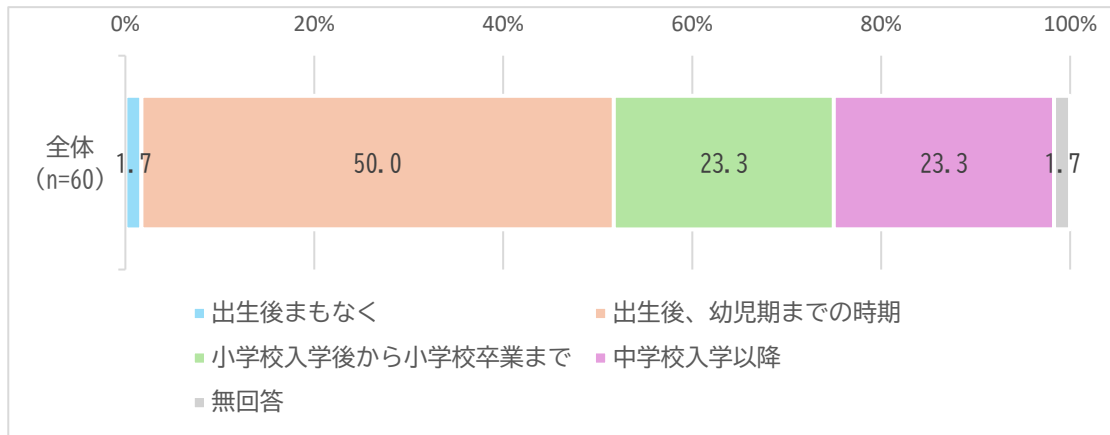
問10 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。お子様の身体障がいの種類は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



身体障害者手帳保有者の障害内容は、「上肢機能、下肢機能」が 54.5% で最も高く、次いで「聴覚、平衡機能」「心臓機能」がそれぞれ 18.2% などとなっています。

(3) 障害者手帳の交付時期

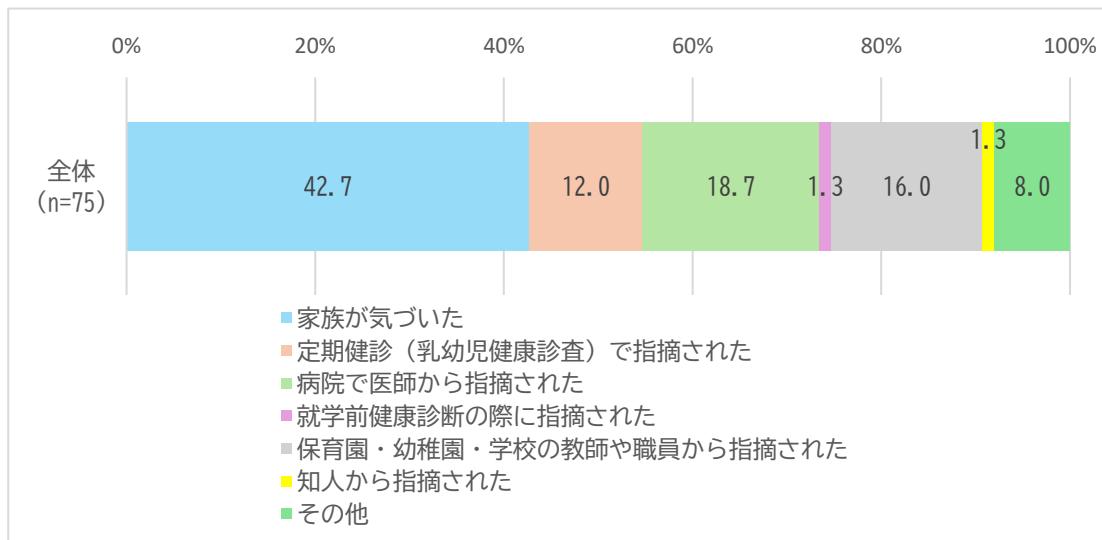
問11 「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかをお持ちの方にお伺いします。初めて交付されたのはいつですか。(1つだけ○をつけてください)



障害者手帳の最初の交付時期を尋ねたところ、「出生後、幼児期までの時期」が50.0%で最も多く、次いで「小学校入学後から小学校卒業まで」「中学校入学以降」がそれぞれ23.3%などとなっています。

(4) 発達の不安や障がい気づいたきっかけ

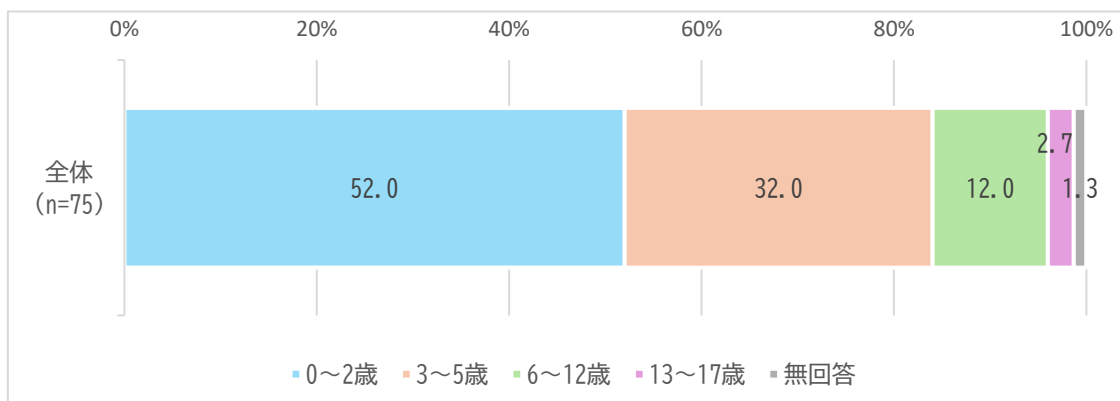
問12 発達の不安や障がい気づいたきっかけは何ですか。ご本人が記入されている場合は当時の状況がわかる方に聞いてご記入ください。(1つだけ○をつけてください)



発達の不安や障がい気づいたきっかけについては、「家族が気づいた」が42.7%で最も多く、次いで「病院で医師から指摘された」が18.7%、「保育園・幼稚園・学校の教師や職員から指摘された」が16.0%などとなっています。

(5) 発達の不安や障がい気づいた時の年齢

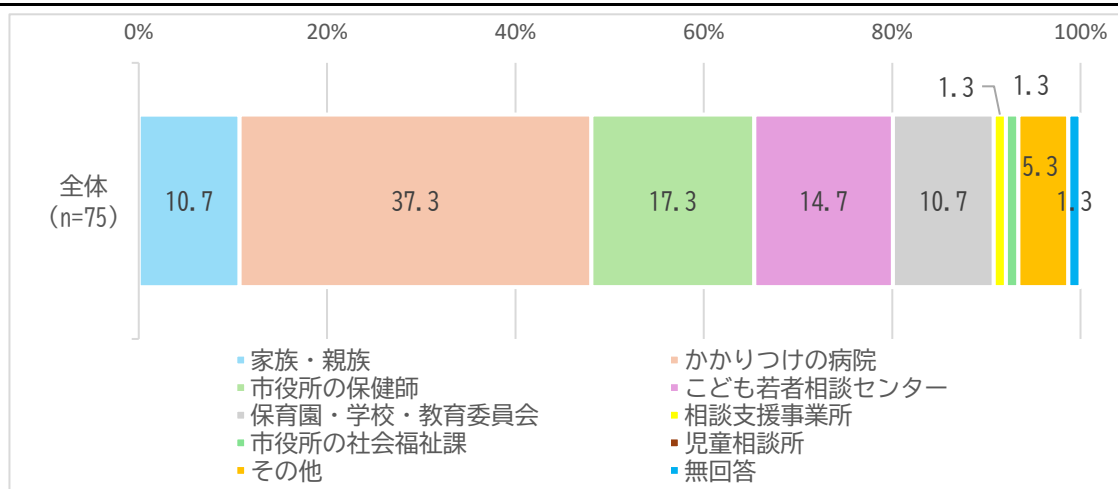
問13 お子様の発達の不安や障がい気づいた時のお子様の年齢を教えてください。
(1つだけ○をつけてください)



発達の不安や障がい気づいた時のお子様の年齢については、「0～2歳」が52.0%で最も多く、次いで「3～5歳」が32.0%、「6～12歳」が12.0%などとなっています。

(6) 発達の不安や障がい気づいた時の主な相談先

問14 お子様の発達の不安や障がい気づいた時、主に誰に（どこに）相談しましたか。(1つだけ○をつけてください)



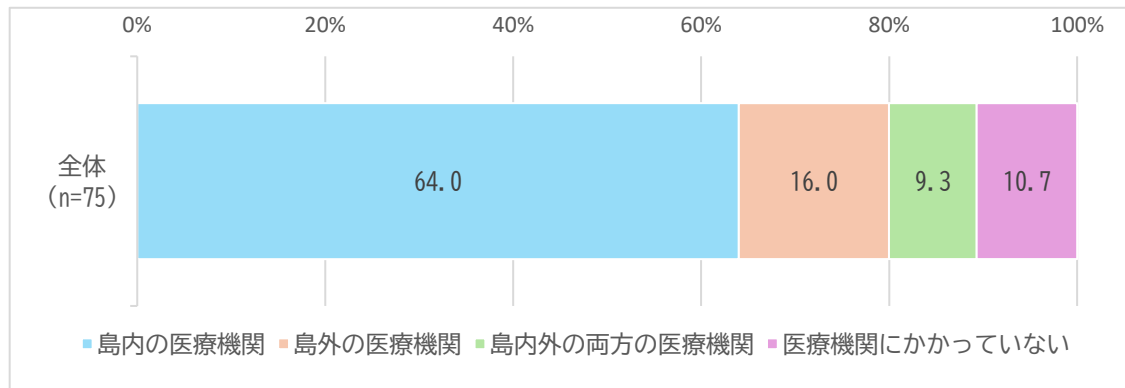
発達の不安や障がい気づいた時の主な相談先については、「かかりつけの病院」が37.3%で最も多く、次いで「市役所の保健師」が17.3%、「こども若者相談センター」が14.7%などとなっています。

3 医療機関利用状況について

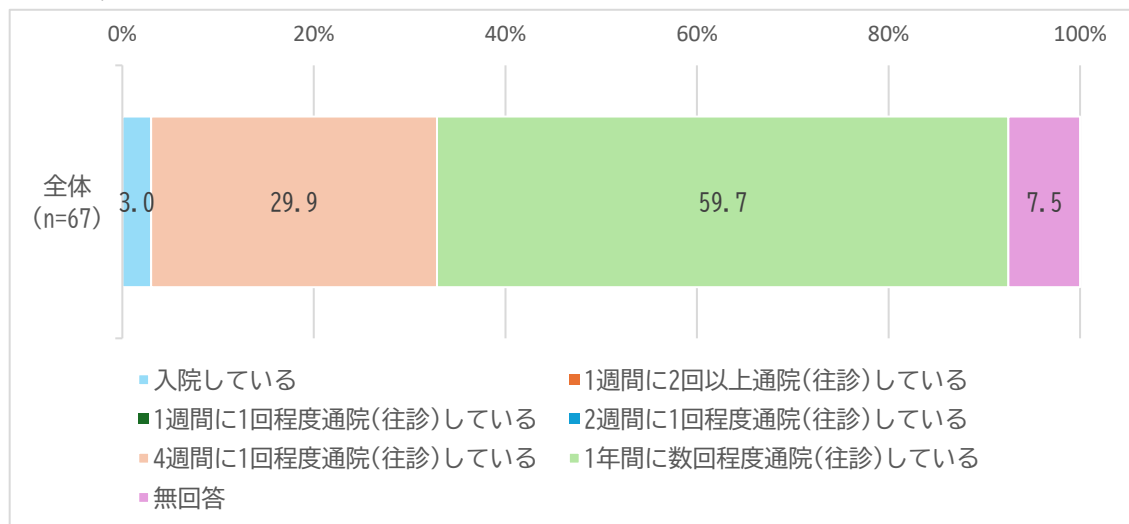
(1) 医療機関利用状況

問15 現在のお子様の医療機関利用状況（主に定期的に利用するもの）をお答えください。（1つだけ○をつけてください）

<場所>



<利用頻度>

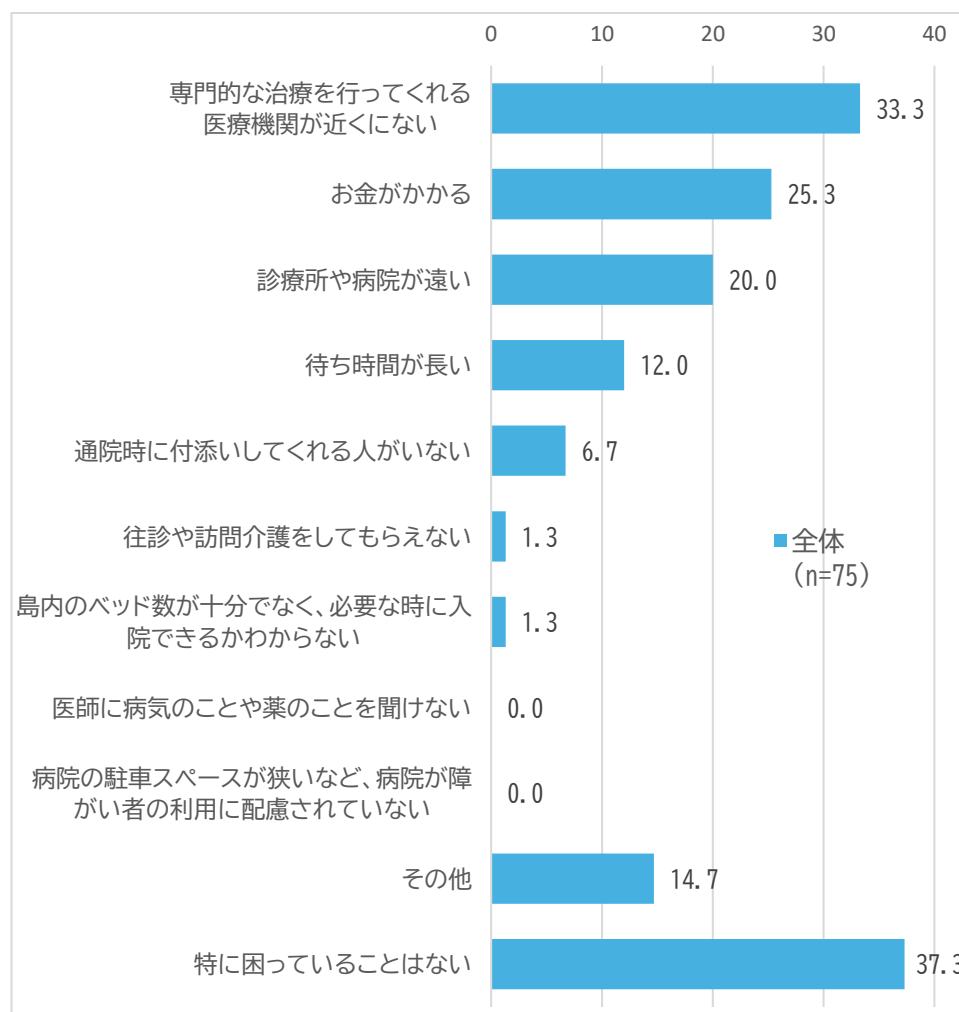


通院場所は、「島内の医療機関」が64.0%で最も高く、「島外の医療機関」が16.0%、「島内外の両方の医療機関」が9.3%となっています。

利用頻度は、「1年間に数回程度通院（往診）している」が59.7%で6割近く、「4週間に1回程度通院（往診）している」（29.9%）が約3割を占めています。

(2) 医療に関する困りごと

問16 お子様の医療機関の利用について困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



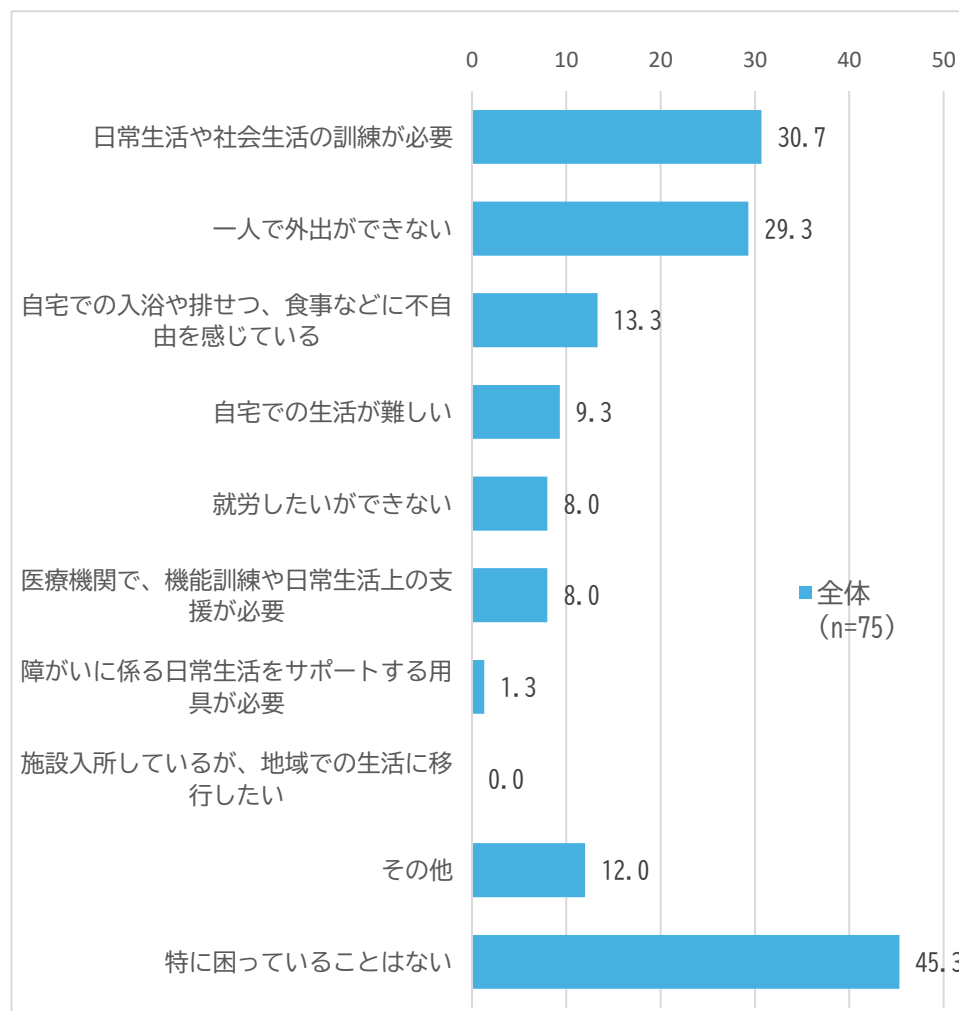
医療機関の利用について困っていることを尋ねたところ、「専門的な治療を行ってくれる医療機関が近くにない」が33.3%で最も多く、次いで「お金がかかる」(25.3%)、「診療所や病院が遠い」(20.0%)、「待ち時間が長い」(12.0%)などとなっています。なお、「その他」(14.7%)の具体的内容では「(子どもの障がいの症状等により) 検査や診察ができない」などが多くあげられています。

一方、「特に困っていることはない」とする回答も37.3%と4割近くに達しています。

4 障がい福祉サービスの利用について

(1) 生活上で困っていること

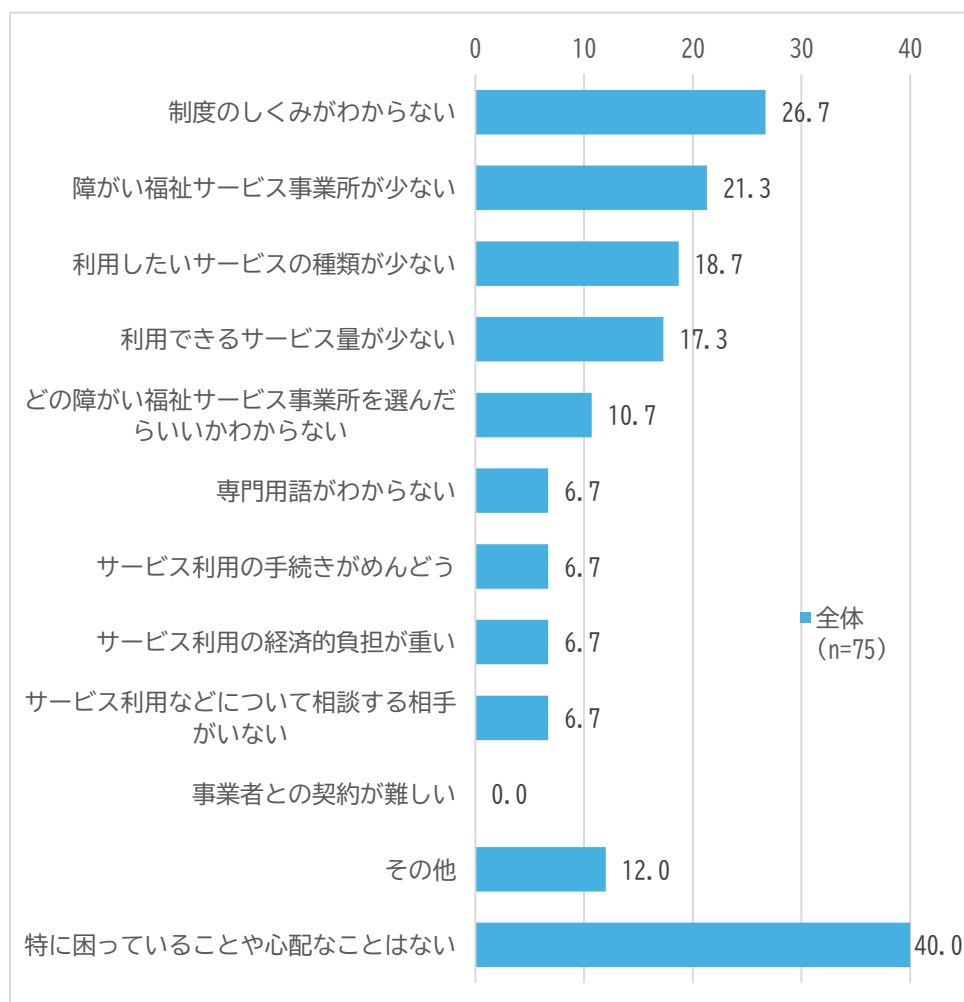
問17 現在、生活上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



現在の生活上での困りごとを尋ねたところ、「日常生活や社会生活の訓練が必要」が30.7%で最も多く、次いで「一人で外出ができない」が29.3%、「自宅での入浴や排せつ、食事などに不自由を感じている」が13.3%などとなっています。一方、「特に困っていることはない」が45.3%と半数近くを占めています。

（２）福祉サービスの利用で困っていること

問18 現在、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づいた福祉サービスが行われていますが、困っていることや心配なことはありますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

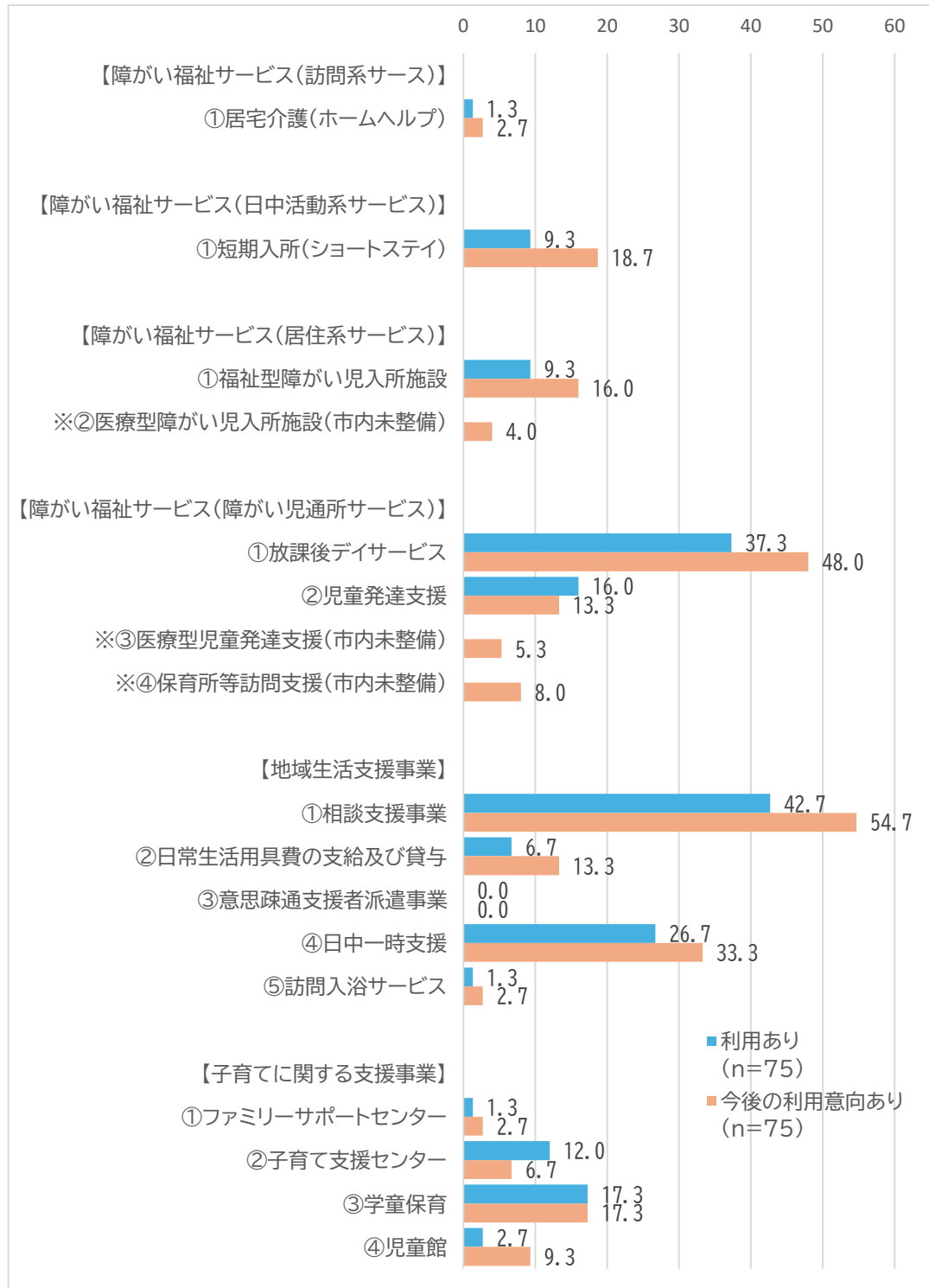


福祉サービスの利用にあたって困っていることや心配なことを尋ねたところ、「制度の仕組みがわからない」が26.7%で最も多く、次いで「障がい福祉サービス事業所が少ない」が21.3%、「利用したいサービスの種類が少ない」が18.7%、「利用できるサービス量が少ない」が17.3%などとなっています。

一方、「特に困っていることや心配なことはない」との回答も40.0%と4割を占めています。

(3) 障がい福祉サービスの利用状況と今後の利用意向

問19 佐渡市の次の各障がい福祉サービスを、現在、利用していますか、また、今後、利用したいとお考えですか。それぞれ該当の番号に○をつけてください。
 なお、現在佐渡市で実施していないサービスについては、今後サービスを開始した場合の利用意向をお答えください。



※「医療型障がい児入所施設」「医療型児童発達支援」「保育所等訪問支援」は、現在未実施のため利用の有無は質問していません

利用の有無で「ある」の割合をみると、「相談支援事業」(42.7%)、「放課後デイサービス」(37.3%)、「日中一時支援」(26.7%)などが利用率3～4割前後と比較的多くなっているのに対し、「児童館」(2.7%)「居宅介護(ホームヘルプ)」「訪問入浴サービス」「ファミリーサポートセンター」(いずれも1.3%)、「意思疎通支援者派遣事業」(0.0%)などは利用率が低くなっています。

今後については、利用意向「ある」の割合が大半の事業で現在の利用率を上回っていますが、特に「相談支援事業」(54.7%)、「放課後デイサービス」(48.0%)、「日中一時支援」(33.3%)、「短期入所(ショートステイ)」(18.7%)などが、現在の利用率を大きく上回り、高いニーズを示しています。

＜クロス結果＞

○利用の有無「ある」の割合(年齢・居住地区・障害者手帳保有状況別)

		回答者数（n）	利用の有無「ある」の割合（%）													
			①居宅介護 （ホームヘルプ）	①短期入所 （ショートステイ）	①福祉型障がい児入所施設	①放課後デイサービス	②児童発達支援	①相談支援事業	②日常生活用具費の支給及び貸与	③意思疎通支援者派遣事業	④日中一時支援	⑤訪問入浴サービス	①ファミリーサポートセンター	②子育て支援センター	③学童保育 （児童クラブ）	④児童館
全体		75	1.3	9.3	9.3	37.3	16.0	42.7	6.7	0.0	26.7	1.3	1.3	12.0	17.3	2.7
年齢別	6歳未満	4	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	6～11歳	29	0.0	10.3	13.8	44.8	20.7	55.2	10.3	0.0	37.9	0.0	3.4	20.7	31.0	3.4
	12～14歳	14	0.0	0.0	7.1	28.6	7.1	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	15～17歳	28	3.6	14.3	7.1	39.3	7.1	35.7	7.1	0.0	25.0	3.6	0.0	3.6	14.3	0.0
居住地区別	両津地区	25	4.0	16.0	16.0	40.0	12.0	32.0	4.0	0.0	20.0	4.0	0.0	8.0	12.0	4.0
	相川地区	4	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	佐和田地区	14	0.0	14.3	0.0	28.6	21.4	50.0	14.3	0.0	21.4	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0
	金井地区	15	0.0	6.7	13.3	33.3	20.0	60.0	6.7	0.0	26.7	0.0	0.0	6.7	20.0	6.7
	新穂地区	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	畑野地区	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	真野地区	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小木地区	6	0.0	0.0	16.7	50.0	33.3	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	羽茂地区	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	赤泊地区	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者 状況手帳別	身体障害者手帳	11	9.1	9.1	9.1	36.4	9.1	54.5	36.4	0.0	27.3	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	0.0	15.9	13.6	59.1	20.5	59.1	6.8	0.0	43.2	0.0	0.0	18.2	11.4	4.5
	精神障害者保健福祉手帳	11	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0
	持っていない	10	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

○今後の利用意向「ある」の割合

		回答者数（n）	今後の利用意向「ある」の割合（％）																
			①居宅介護 （ホームヘルプ）	①短期入所 （ショートステイ）	①福祉型障がい児入所施設	②医療型障がい児入所施設	①放課後等デイサービス	②児童発達支援	③医療型児童発達支援	④保育所等訪問支援	①相談支援事業	②日常生活用具費の支給及び貸与	③意思疎通支援者派遣事業	④日中一時支援	⑤訪問入浴サービス	①ファミリーサポートセンター	②子育て支援センター （児童クラブ）	③学童保育	④児童館
全体		75	2.7	18.7	16.0	4.0	48.0	13.3	5.3	8.0	54.7	13.3	0.0	33.3	2.7	2.7	6.7	17.3	9.3
年 齢 別	6歳未満	4	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	75.0	25.0	75.0	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	50.0	50.0
	6～11歳	29	3.4	17.2	20.7	3.4	58.6	17.2	6.9	10.3	62.1	20.7	0.0	41.4	3.4	3.4	10.3	34.5	13.8
	12～14歳	14	0.0	7.1	7.1	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	15～17歳	28	3.6	28.6	17.9	3.6	42.9	7.1	3.6	0.0	57.1	7.1	0.0	35.7	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0
居 住 地 区 別	両津地区	25	4.0	24.0	20.0	4.0	44.0	8.0	8.0	12.0	40.0	12.0	0.0	24.0	4.0	0.0	8.0	16.0	8.0
	相川地区	4	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	佐和田地区	14	0.0	14.3	7.1	0.0	57.1	21.4	0.0	14.3	64.3	21.4	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	金井地区	15	6.7	13.3	13.3	6.7	53.3	13.3	13.3	6.7	73.3	13.3	0.0	53.3	6.7	13.3	13.3	33.3	13.3
	新穂地区	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	畑野地区	2	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	真野地区	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小木地区	6	0.0	16.7	33.3	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
	羽茂地区	3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	赤泊地区	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保 障 有 害 者 状 況 手 帳 別	身体障害者手帳	11	18.2	18.2	9.1	9.1	54.5	9.1	27.3	9.1	54.5	45.5	0.0	45.5	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1
	療育手帳(知的障がい)	44	2.3	31.8	25.0	6.8	70.5	18.2	6.8	9.1	65.9	9.1	0.0	50.0	2.3	2.3	9.1	13.6	9.1
	精神障害者保健福祉手帳	11	0.0	9.1	9.1	9.1	27.3	18.2	0.0	9.1	54.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1
	持っていない	10	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0

利用の有無を年齢別にみると、6歳未満の未就学児では「児童発達支援」「相談支援事業」「子育て支援センター」など、6～11歳の小学校年代では「放課後デイサービス」「相談支援事業」「日中一時支援」などで「ある」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、「放課後デイサービス」などは多くの地区で利用されている一方、「居宅介護」「短期入所」「福祉型障がい児入所施設」「ファミリーサポートセンター」「児童館」などは利用者がいない地区も多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「療育手帳」保有者では「放課後デイサービス」「相談支援事業」「日中一時支援」などで「ある」の割合が高くなっています。

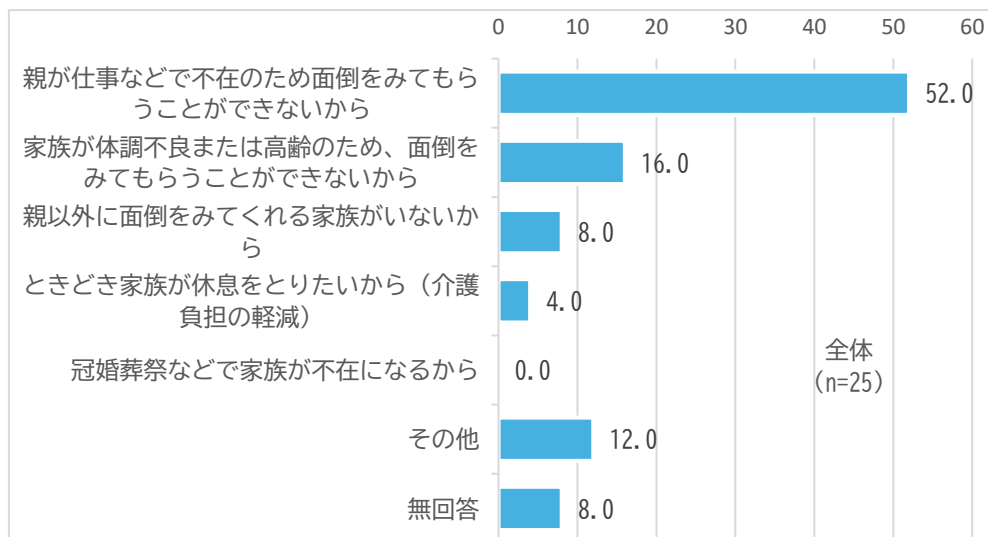
今後の利用意向を年齢別にみると、全年代で現在に比べ今後の利用意向が高くなっていますが、特に「6歳未満」、「6～11歳」の世代で高くなっています。

居住地区別にみると、「短期入所」「福祉型障がい者入所施設」などはこれまで利用者がいなかった地区でも、今後利用したいとの意向が高くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、特に「身体障害者手帳」保有者で、各サービスの利用意向が総じて高くなっています。

(4) 「短期入所（ショートステイ）」等の利用理由

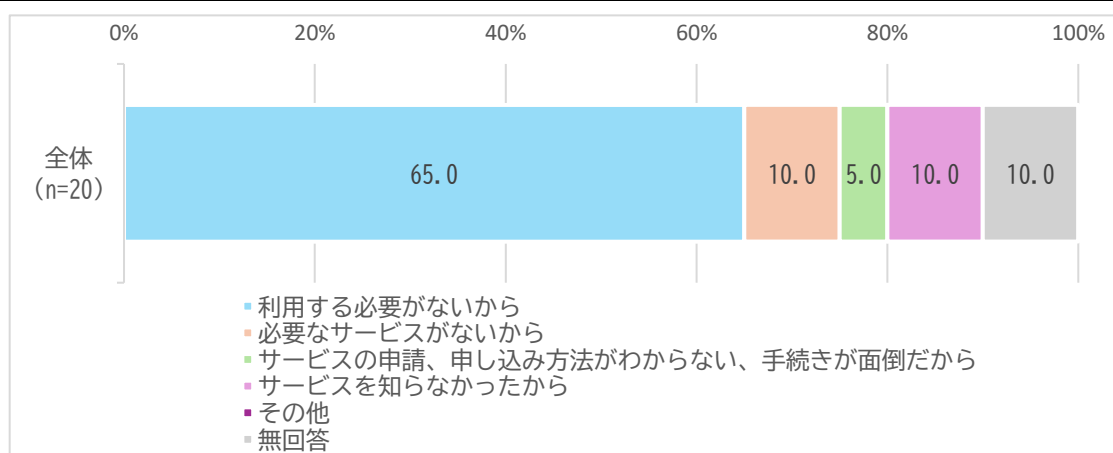
問20 問19で「短期入所（ショートステイ）、日中一時支援、または、ファミリーサポートセンター」のいずれかについて、「利用の有無」に「1 ある」と答えた方にお聞きします。どのような理由で利用していますか。（1つだけ○をつけてください）



「短期入所（ショートステイ）」、「日中一時支援」、または「ファミリーサポートセンター」の利用理由は、「親が仕事などで不在のため面倒をみてもらうことができないから」が52.0%で最も多く、次いで「家族が体調不良または高齢のため、面倒を見てもらうことができないから」が16.0%、「親以外に面倒をみってくれる家族がいないから」が8.0%、「ときどき家族が休息をとりたいから（介護負担の軽減）」が4.0%となっています。

(5) サービスを利用していない理由

問21 問19で「利用の有無」すべてに「2 ない」と答えた方にお聞きします。利用していない理由は何ですか。（1つだけ○をつけてください）

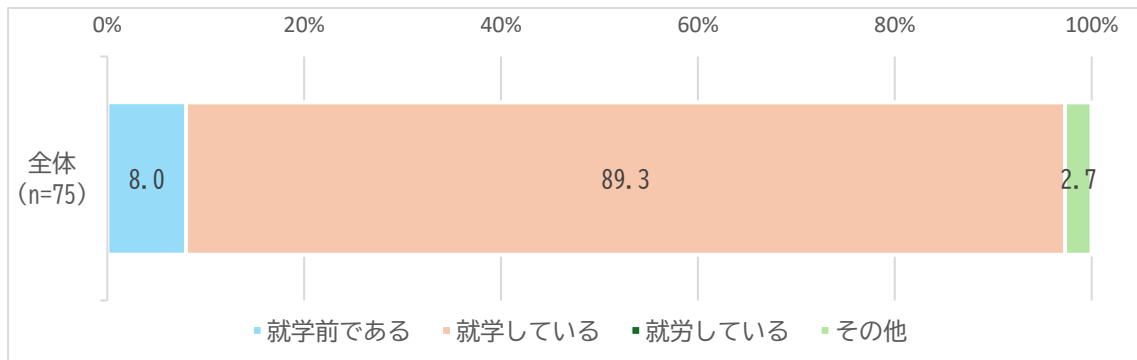


サービスを利用していない理由は、「利用する必要があるから」が65.0%で最も多く、次いで「必要なサービス等がないから」、「知らなかったから」がともに10.0%となっています。

5 日中の過ごし方について

(1) 就学、就労の状況について

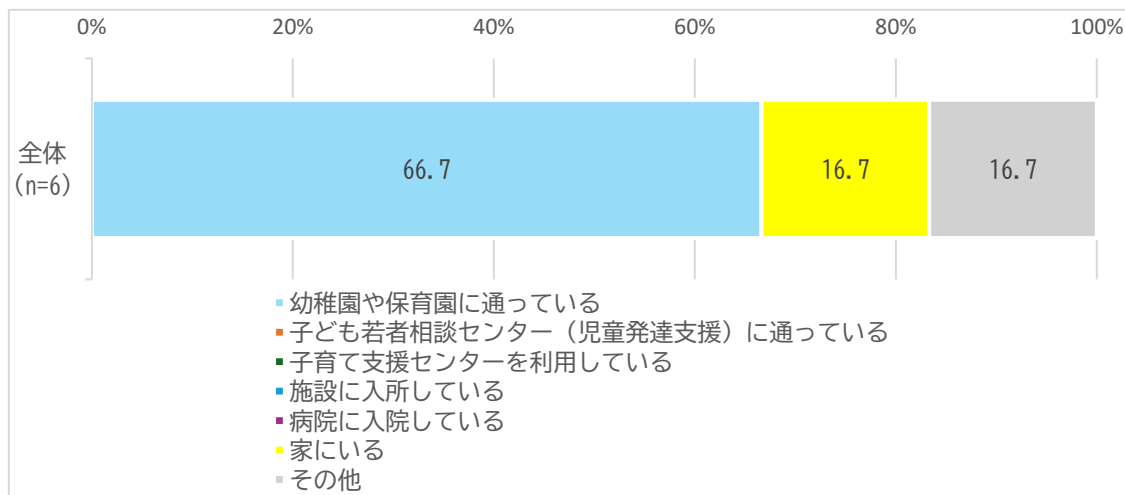
問22 障がいをお持ちのお子様は就学していますか。または、就労していますか。(1つだけ○をつけてください)



就学、就労の状況については、「就学している」が89.3%で大半を占め、「就学前である」が8.0%となっています。一方、「就労している」は該当者なしとなっています。

（２）就学前の子どもの日中の過ごし方（現状）

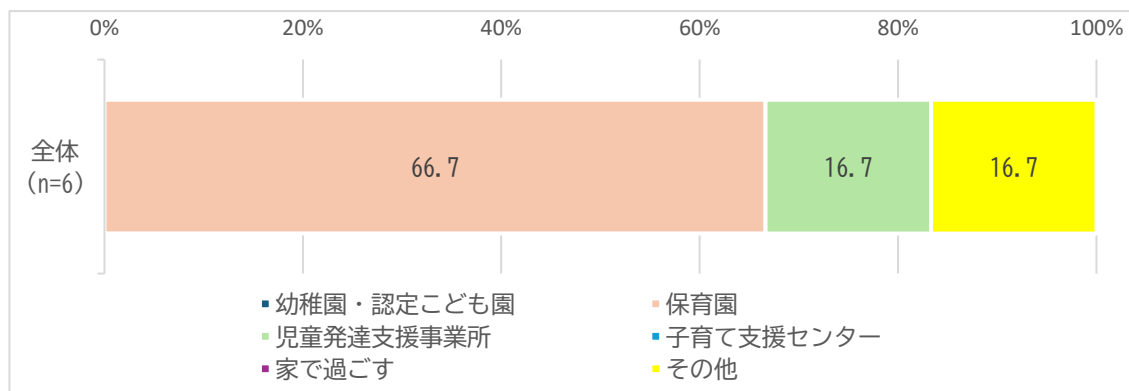
問23 問22で「１ 就学前である」と答えた方にお聞きします。お子様は平日の日中、主にどのように過ごしていますか。（１つだけ○をつけてください）



就学前の子どもの日中の過ごし方を尋ねたところ、「幼稚園や保育園に通っている」が 66.7% で最も多く、次いで「家にいる」が（16.7%）となっています。

（３）就学前の子どもの日中の過ごし方（希望）

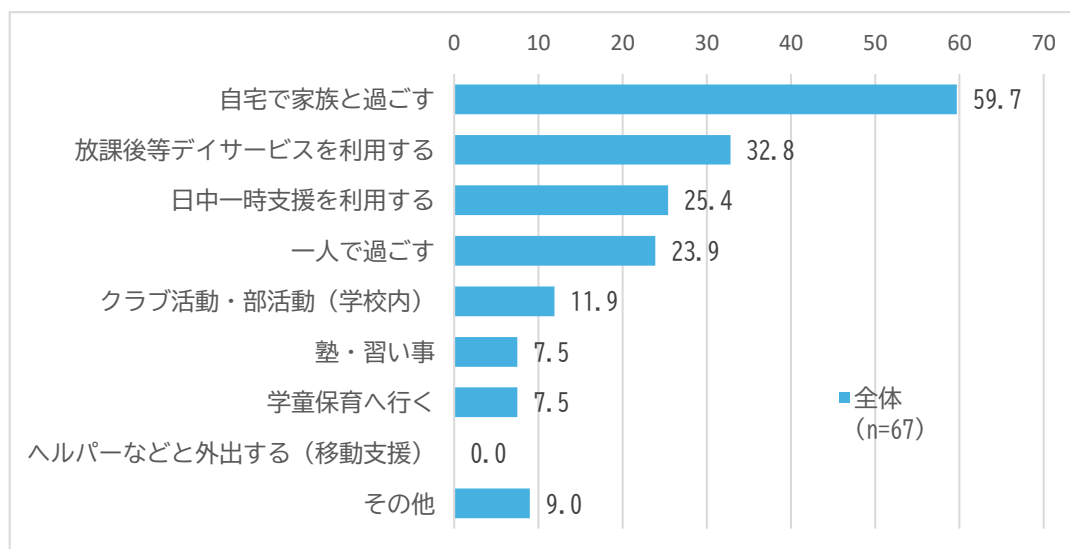
問24 問22で「１ 就学前である」と答えた方にお聞きします。お子様を平日の日中どのように過ごさせたいと思いますか。（１つだけ○をつけてください）



就学前の子どもの希望する日中の過ごし方を尋ねたところ、「保育園」が 66.7% で最も多く、次いで「児童発達支援事業所」が 16.7% となっています。

(4) 就学中の子どもの学校以外の時間の過ごし方（現状）

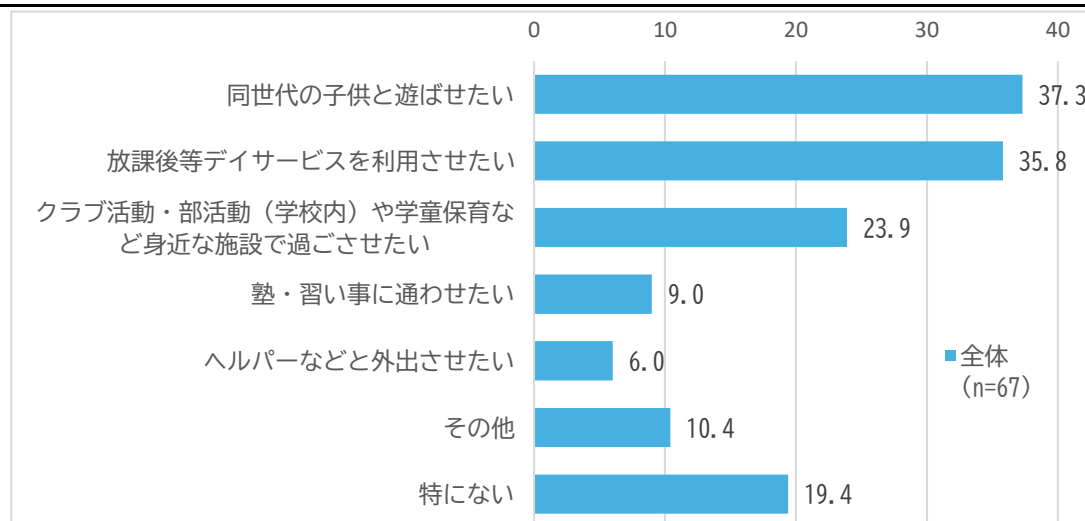
問25 問22で「2 就学している」と答えた方にお聞きします。お子様は放課後や長期休業中など、学校以外の時間はどのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



就学中の子どもの学校以外の過ごし方を尋ねたところ、「自宅で家族と過ごす」が 59.7%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用する」が 32.8%、「日中一時支援を利用する」が 25.4%、「一人で過ごす」が 23.9%などとなっています。

(5) 就学中の子どもの学校以外の時間の過ごし方（希望）

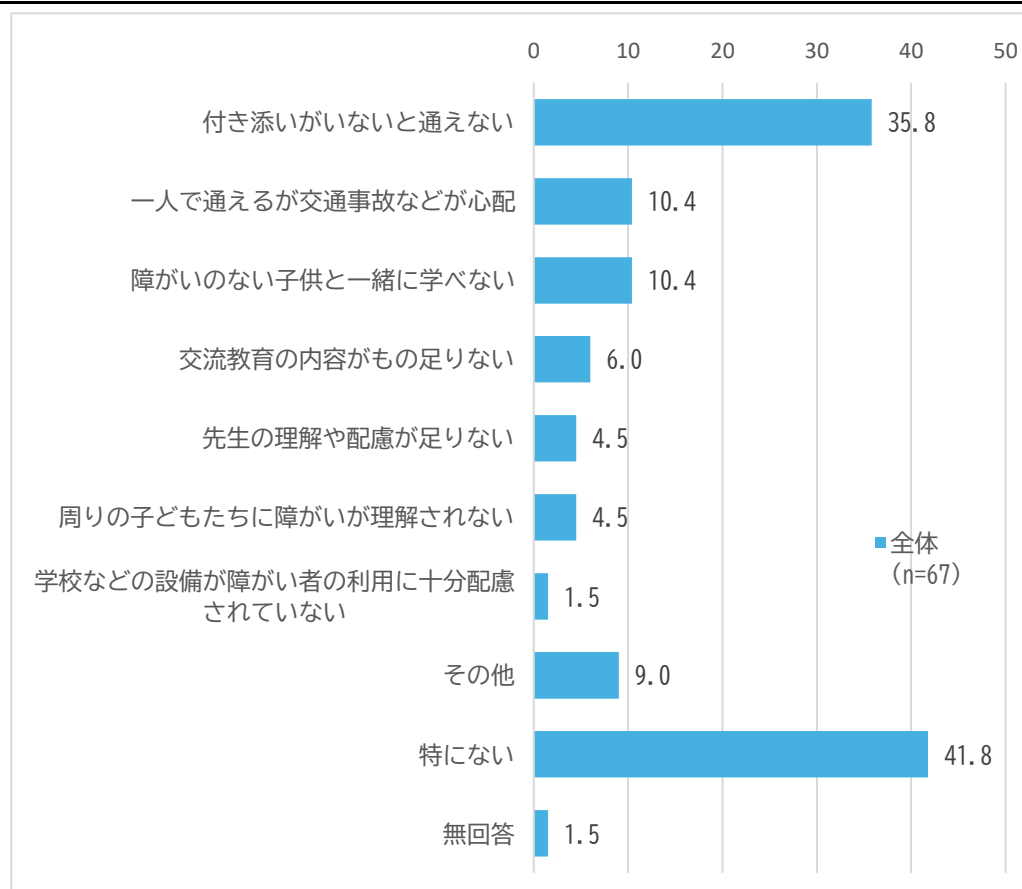
問26 問22で「2 就学している」と答えた方にお聞きします。放課後や長期休業中など、学校以外の時間はお子様をどのように過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



就学中の子どもの希望する学校以外の時間の過ごし方を尋ねたところ、「同世代の子供と遊ばせたい」が 37.3%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用させたい」が 35.8%、「クラブ活動・部活動（学校内）や学童保育など身近な施設で過ごさせたい」が 23.9%となっています。

（６）通学していて困ること

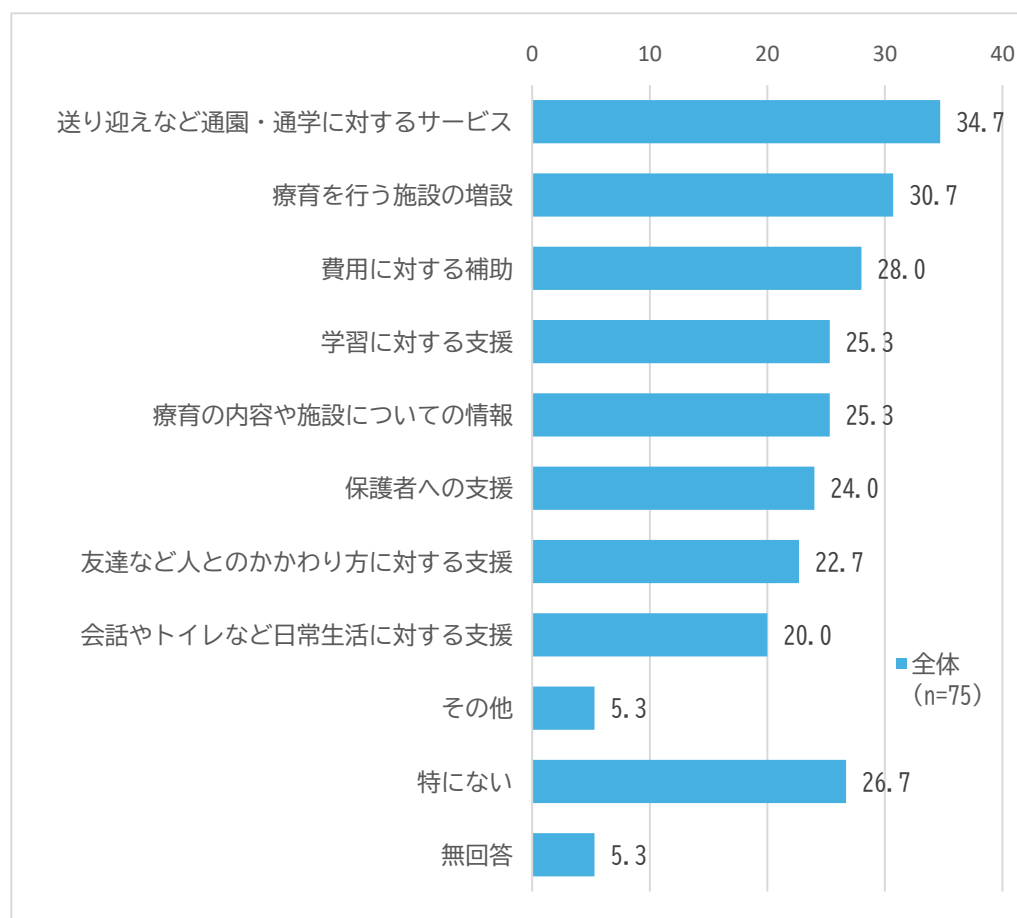
問27 問22で「２ 就学している」と答えた方にお聞きします。通学していて困ることとはありますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



就学している子どもの通学上の困りごとを尋ねたところ、「特にない」が41.8%で最も多くなっています。一方、困っている内容としては「付き添いがいないと通えない」が35.8%、「一人で通えるが気交通事故などが心配」「障がいのない子供と一緒に学べない」がいずれも10.4%などとなっています。

(7) さらに充実させてほしい療育や支援

問28 お子様が受けている療育や支援について、さらに充実させるべきだと思う点がありますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



さらに充実させるべき療育・支援について尋ねたところ、「送り迎えなど通園・通学に対するサービス」が34.7%で最も多く、次いで「療育を行う施設の増設」が30.7%、「費用に対する補助」が28.0%などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（%）										
			送り迎えなど通園・通学に 対するサービス	療育を行う施設の増設	費用に対する補助	学習に対する支援	療育の内容や施設について の情報	保護者への支援	友達など人とのかわり方 に対する支援	会話やトイレなど日常生活 に対する支援	その他	特にない	無回答
全体		75	34.7	30.7	28.0	25.3	25.3	24.0	22.7	20.0	5.3	26.7	5.3
年齢別	6歳未満	4	75.0	50.0	75.0	50.0	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	6～11歳	29	31.0	34.5	27.6	20.7	24.1	20.7	17.2	24.1	6.9	20.7	10.3
	12～14歳	14	35.7	21.4	21.4	14.3	0.0	14.3	14.3	7.1	0.0	35.7	0.0
	15～17歳	28	32.1	28.6	25.0	32.1	32.1	25.0	28.6	17.9	3.6	32.1	3.6
居住地区別	両津地区	25	28.0	20.0	12.0	20.0	20.0	24.0	12.0	28.0	4.0	36.0	0.0
	相川地区	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	佐和田地区	14	35.7	21.4	28.6	14.3	35.7	21.4	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0
	金井地区	15	46.7	46.7	60.0	33.3	26.7	20.0	40.0	20.0	0.0	6.7	20.0
	新穂地区	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	畑野地区	2	0.0	50.0	0.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	真野地区	3	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	小木地区	6	66.7	50.0	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7
	羽茂地区	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	赤泊地区	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者 状況者 別帳	身体障害者手帳	11	36.4	45.5	27.3	45.5	36.4	54.5	36.4	36.4	0.0	27.3	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	43.2	43.2	31.8	27.3	31.8	29.5	22.7	31.8	4.5	22.7	2.3
	精神障害者保健福祉手帳	11	36.4	18.2	9.1	36.4	45.5	36.4	36.4	9.1	18.2	18.2	9.1
	持っていない	10	20.0	10.0	40.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0

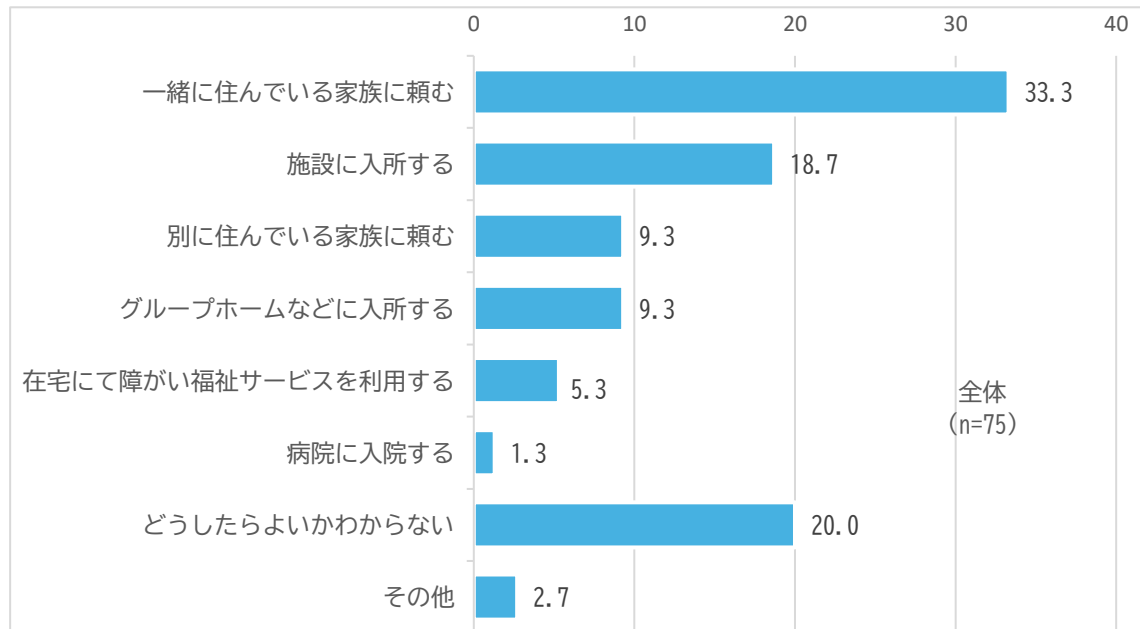
年齢別にみると、「6歳未満」の未就学児で全般に回答割合が高く、特に「送り迎えなど通園・通学に対するサービス」「費用に対する補助」「療育の内容や施設についての情報」「保護者への支援」が高くなっています。

居住地区別にみると、「送り迎えなど通園・通学に対するサービス」は「小木地区」「金井地区」で高く、「療育を行う施設の増設」は「真野地区」「小木地区」「金井地区」などで高くなっています。

6 将来の生活について

(1) 保護者が介助・支援できなくなった場合の対応

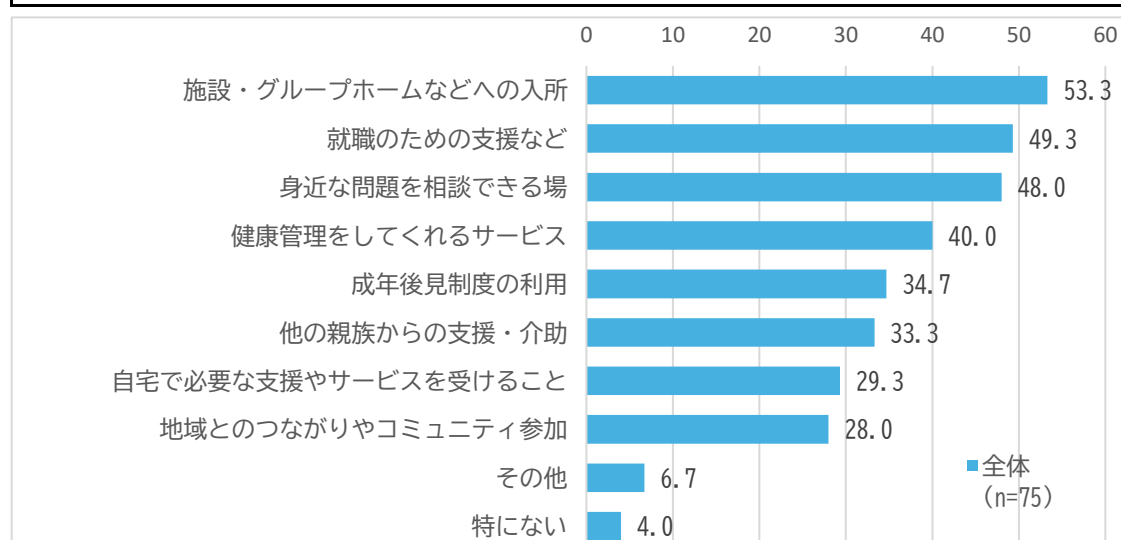
問29 お子様の保護者の方にお聞きします。あなたがお子様を介助・支援できなくなった場合にお子様をどうしたいですか。(1つだけ○をつけてください)



保護者が介助・支援できなくなった場合の対応について尋ねたところ、「一緒に住んでいる家族に頼む」が33.3%で最も多く、次いで「施設に入所する」が18.7%、「別に住んでいる家族に頼む」「グループホームなどに入所する」が9.3%などとなっています。一方、「どうしたらよいかわからない」とする回答も20.0%となっています。

(2) 介助が困難になった場合に必要と思うこと

問30 お子様を主に介助してくれている人（親、兄弟、親族など）が亡くなったり、介助することが難しくなったりしたときに、お子様に必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



主な介助者の介助が困難になった場合に必要のことを尋ねたところ、「施設・グループホームなどへの入所」が 53.3% で最も多く、次いで「就職のための支援など」が 49.3%、「身近な問題を相談できる場」が 48.0% などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）										
			施設・グループホームなどへの入所	就職のための支援など	身近な問題を相談できる場	健康管理をしてくれるサービス	成年後見制度の利用	他の親族からの支援・介助	自宅で必要な支援やサービスを受けること	地域とのつながりやコミュニティ参加	その他	特にない	無回答
全体		75	53.3	49.3	48.0	40.0	34.7	33.3	29.3	28.0	6.7	4.0	0.0
年齢別	6歳未満	4	50.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	6～11歳	29	55.2	41.4	41.4	34.5	31.0	41.4	27.6	17.2	10.3	0.0	0.0
	12～14歳	14	50.0	42.9	50.0	28.6	35.7	57.1	21.4	28.6	0.0	7.1	0.0
	15～17歳	28	53.6	64.3	57.1	46.4	39.3	17.9	35.7	39.3	3.6	7.1	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	11	63.6	54.5	63.6	81.8	54.5	27.3	45.5	27.3	0.0	0.0	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	75.0	47.7	36.4	40.9	36.4	20.5	22.7	27.3	6.8	4.5	0.0
	精神障害者保健福祉手帳	11	45.5	72.7	81.8	45.5	45.5	36.4	81.8	45.5	9.1	0.0	0.0
	持っていない	10	0.0	50.0	60.0	10.0	20.0	60.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0

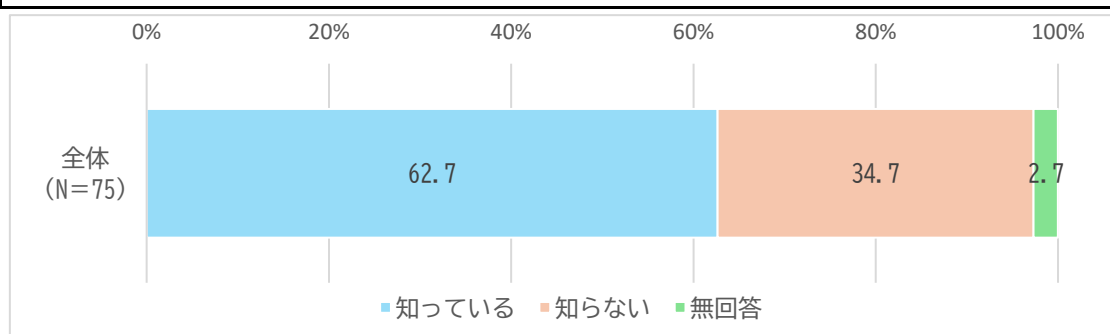
年齢別にみると、年代が上がるほど「就職のための支援など」の割合が高くなっており、特に「15～17歳」の高校生年代では6割超が必要と回答しています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」保有者では「健康管理をしてくれるサービス」、「療育手帳」保有者では「施設・グループホームなどへの入所」、「精神障害者健康福祉手帳」保有者では「身近な問題を相談できる場」「自宅で必要な支援やサービスを受けること」などが高くなっています。

7 災害時の避難などについて

(1) 災害時の避難場所の認知状況

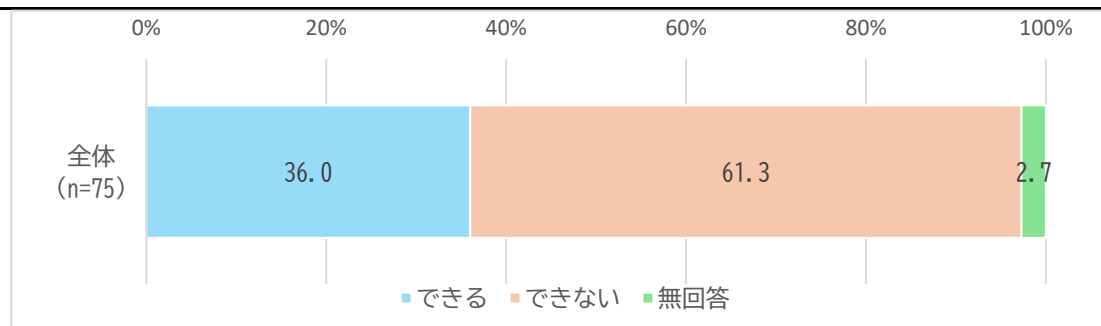
問31 お子様の地震・津波・土石流など災害時の避難場所を知っていますか。
(1つだけ○をつけてください)



災害時の避難場所の認知状況については、「知っている」が 62.7%、「知らない」が 34.7%となっています。

(2) 災害時に一人で避難することができるか

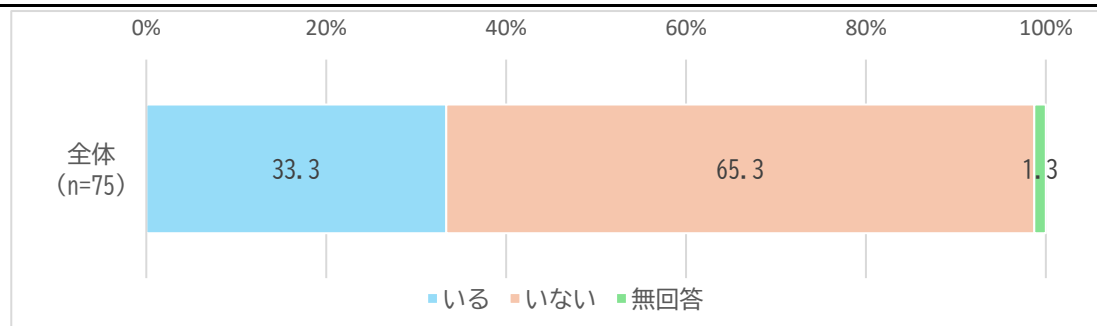
問32 お子様は地震・津波・土石流などの災害時に一人で避難することができますか。(1つだけ○をつけてください)



災害時に子ども一人で避難ができるかを尋ねたところ、「できる」が 36.0%、「できない」が 61.3%となっています。

(3) 災害時の補助者（主な介助者以外）の存在について

問33 主な介助者が不在の場合、災害時に近所にお子様を助けてくれる方がいますか。(1つだけ○をつけてください)



主な介助者が不在の場合の災害時の補助者の存在について尋ねたところ、「いる」が 33.3%、「いない」が 65.3%となっています。

(4) 年齢別、地域別、障害者手帳保有状況別の災害時の対応

		回答者数 (n)	災害時の避難場所の認知度			災害時に一人で避難することができるか			主な介助者が不在の時、近所に助けてくれる人がいるか		
			知っている	知らない	無回答	できる	できない	無回答	いる	いない	無回答
全体		75	62.7	34.7	2.7	36.0	61.3	2.7	33.3	65.3	1.3
年齢別	6歳未満	4	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0
	6～11歳	29	65.5	34.5	0.0	20.7	79.3	0.0	27.6	72.4	0.0
	12～14歳	14	57.1	28.6	14.3	42.9	50.0	7.1	35.7	57.1	7.1
	15～17歳	28	64.3	35.7	0.0	53.6	42.9	3.6	39.3	60.7	0.0
居住地区別	両津地区	25	68.0	32.0	0.0	36.0	64.0	0.0	36.0	64.0	0.0
	相川地区	4	75.0	25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	25.0	75.0	0.0
	佐和田地区	14	57.1	35.7	7.1	50.0	50.0	0.0	21.4	78.6	0.0
	金井地区	15	46.7	46.7	6.7	13.3	80.0	6.7	13.3	80.0	6.7
	新穂地区	3	66.7	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0
	畑野地区	2	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	真野地区	3	66.7	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0
	小木地区	6	83.3	16.7	0.0	33.3	50.0	16.7	66.7	33.3	0.0
	羽茂地区	3	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0
	赤泊地区	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者 状況 手帳 別	身体障害者手帳	11	54.5	45.5	0.0	36.4	63.6	0.0	18.2	81.8	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	65.9	29.5	4.5	15.9	79.5	4.5	25.0	72.7	2.3
	精神障害者保健福祉手帳	11	72.7	27.3	0.0	72.7	27.3	0.0	54.5	45.5	0.0
	持っていない	10	60.0	40.0	0.0	60.0	40.0	0.0	40.0	60.0	0.0

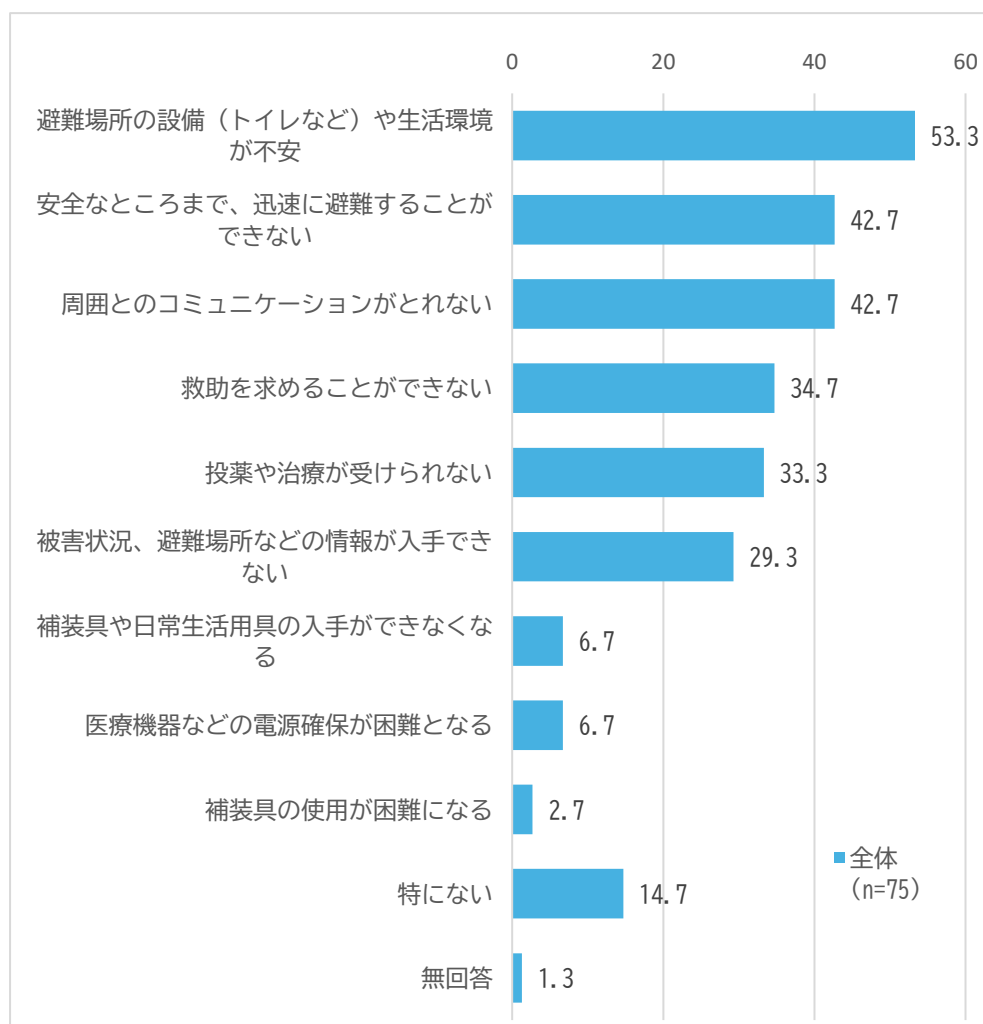
災害時の避難に関する3つの設問の回答状況を年齢別にみると、「6歳未満」「6～11歳」の小学生以下の年代では、災害時に一人で避難することが「できない」、主な介助者が不在の時、近所に助けてくれる人が「いない」の割合がいずれも7割を超え、高くなっています。

居住地区別にみると、「金井地区」では災害時に一人で避難することが「できない」の割合が80.0%、主な介助者が不在の時、近所に助けてくれる人が「いない」の割合が80.0%で特に高くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「療育手帳（知的障がい）」保有者で、災害時に一人で避難することが「できない」の割合が79.5%、主な介助者が不在の時、近所に助けてくれる人が「いない」の割合が72.7%とともに高くなっています。

（５）災害時に困ること

問34 地震・津波・土石流などの災害時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



災害時の困りごとを尋ねたところ、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が53.3%で最も多く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」「周囲とのコミュニケーションがとれない」がそれぞれ42.7%、「救助を求めることができない」が34.7%、「投薬や治療が受けられない」が33.3%などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）											
			避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安	安全なところまで、迅速に避難することができない	周囲とのコミュニケーションがとれない	救助を求めることができない	投薬や治療が受けられない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	補装具や日常生活用具の入手がなくなる	医療機器などの電源確保が困難となる	補装具の使用が困難になる	その他	特にない	無回答
全体		75	53.3	42.7	42.7	34.7	33.3	29.3	6.7	6.7	2.7	0.0	14.7	1.3
年齢別	6歳未満	4	75.0	75.0	25.0	50.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	29	58.6	44.8	48.3	41.4	31.0	24.1	6.9	6.9	3.4	0.0	20.7	0.0
	12～14歳	14	57.1	42.9	35.7	14.3	35.7	35.7	14.3	7.1	0.0	0.0	14.3	7.1
	15～17歳	28	42.9	35.7	42.9	35.7	28.6	28.6	3.6	7.1	3.6	0.0	10.7	0.0
居住地区別	両津地区	25	72.0	44.0	48.0	44.0	44.0	32.0	16.0	8.0	0.0	0.0	8.0	0.0
	相川地区	4	50.0	25.0	75.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	佐和田地区	14	35.7	35.7	21.4	21.4	7.1	28.6	0.0	0.0	7.1	0.0	35.7	0.0
	金井地区	15	53.3	40.0	20.0	20.0	46.7	33.3	6.7	13.3	6.7	0.0	13.3	6.7
	新穂地区	3	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	畑野地区	2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	真野地区	3	33.3	66.7	66.7	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小木地区	6	33.3	33.3	83.3	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	羽茂地区	3	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	赤泊地区	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者 状況 別	身体障害者手帳	11	63.6	54.5	27.3	36.4	54.5	36.4	9.1	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	61.4	54.5	63.6	50.0	29.5	34.1	9.1	6.8	2.3	0.0	6.8	2.3
	精神障害者保健福祉手帳	11	45.5	27.3	36.4	18.2	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0
	持っていない	10	60.0	20.0	0.0	10.0	50.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0

年齢別にみると、「6歳未満」「6～11歳」などの低年齢層で「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」「安全なところまで、迅速に避難することができない」「救助を求めることができない」などの回答がやや多くなっています。

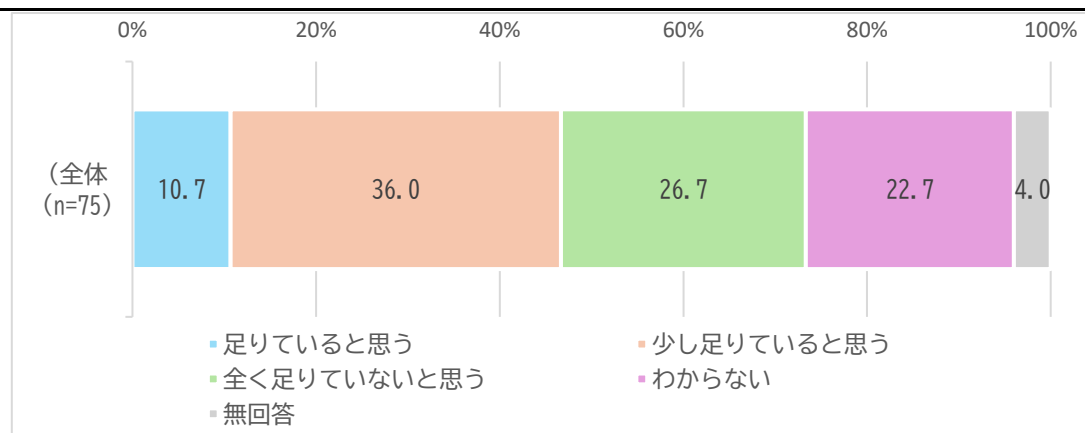
居住地区別にみると、「両津地区」では「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」とする回答が多くなっています。また、「新穂地区」「畑野地区」「真野地区」では「安全なところまで、迅速に避難することができない」とする回答がやや多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」保有者では「投薬や治療が受けられない」、「療育手帳（知的障がい）」保有者では「周囲とのコミュニケーションがとれない」「救助を求めることができない」などの回答がやや多くなっています。

8 障がいのある方の人権について

(1) 障がいのある方への対応や理解の充足状況

問35 障がいのある方への対応や理解が十分に足りていると思いますか。(1つだけ○をつけてください)



障がいのある方に対する対応や理解が十分に足りているかを尋ねたところ、「足りていると思う」が10.7%、「少し足りていると思う」が36.0%に対し、「全く足りていない」が26.7%、「わからない」が22.7%となっています。

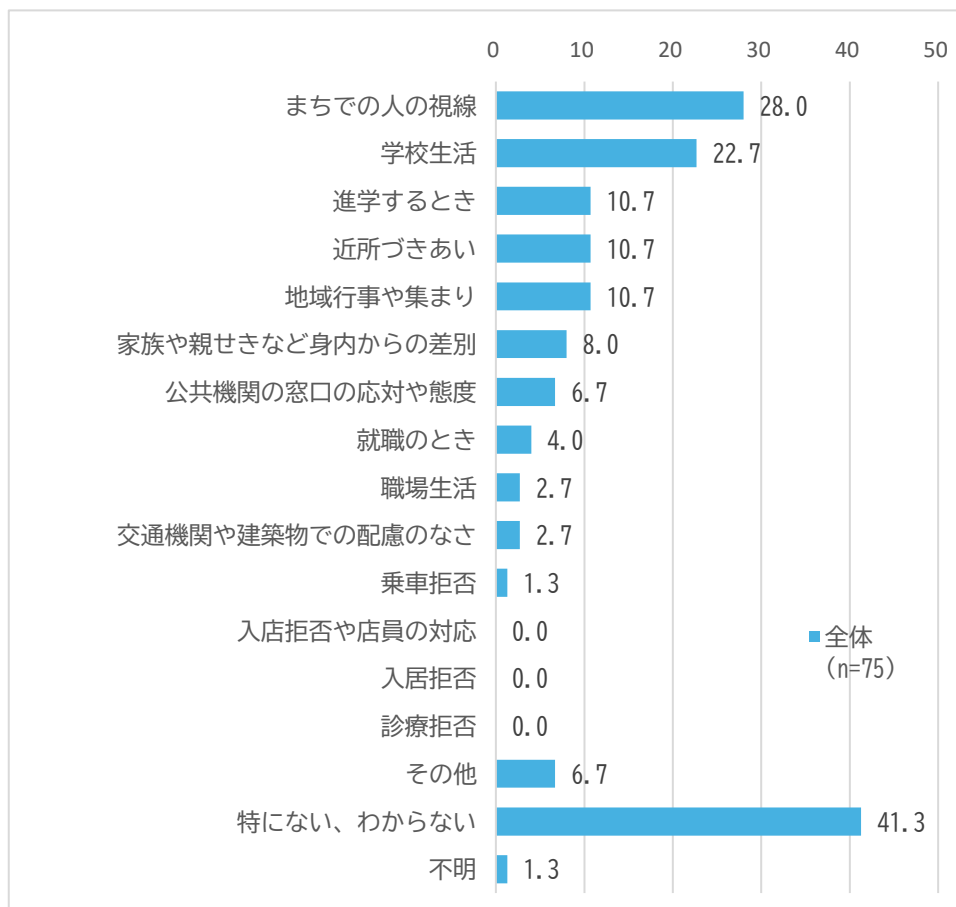
<クロス結果>

		回答者数 (n)	回答率 (%)				
			足りていると思う	少し足りていると思う	全く足りていないと思う	わからない	無回答
全体		75	10.7	36.0	26.7	22.7	4.0
年齢別	6歳未満	4	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	6～11歳	29	17.2	41.4	27.6	6.9	6.9
	12～14歳	14	7.1	21.4	7.1	57.1	7.1
	15～17歳	28	7.1	42.9	28.6	21.4	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	11	9.1	45.5	27.3	18.2	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	9.1	36.4	31.8	15.9	6.8
	精神障害者保健福祉手帳	11	9.1	36.4	36.4	18.2	0.0
	持っていない	10	0.0	10.0	30.0	60.0	0.0

属性別にみると、「全く足りていない」とする回答は年齢別では「6歳未満」、障害者手帳保有状況別では「精神障害者保健福祉手帳」保有者でやや多くなっています。

（２）障がいとして人権を損なう扱いを受けた経験の有無

問36 お子様は、障がいを理由として、どのようなときに人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



障がいを理由として人権を損なう扱いを受けた経験を尋ねたところ、「特にない、わからない」が41.3%で最も多くなっています。

一方、経験した内容としては、「まちでの人の視線」が28.0%で最も多く、次いで「学校生活」が22.7%、「進学するとき」「近所づきあい」「地域行事や集まり」（各10.7%）などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）													
			まちでの人の視線	学校生活	進学するとき	近所づきあい	地域行事や集まり	家族や親せきなど身内からの差別	公共機関の窓口の応対や態度	就職のとき	職場生活	交通機関や建築物での配慮のなさ	乗車拒否	その他	特にない、わからない	無回答
全体		75	28.0	22.7	10.7	10.7	10.7	8.0	6.7	4.0	2.7	2.7	1.3	6.7	41.3	1.3
年齢別	6歳未満	4	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	6～11歳	29	37.9	17.2	6.9	13.8	10.3	10.3	3.4	3.4	3.4	6.9	3.4	13.8	27.6	0.0
	12～14歳	14	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	64.3	7.1
	15～17歳	28	28.6	35.7	21.4	10.7	14.3	10.7	10.7	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
障害者 状況手帳別	身体障害者手帳	11	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1	27.3	9.1	9.1	9.1	18.2	0.0	9.1	54.5	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	43.2	11.4	9.1	18.2	15.9	9.1	6.8	4.5	2.3	4.5	2.3	9.1	31.8	2.3
	精神障害者保健福祉手帳	11	27.3	63.6	27.3	9.1	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
	持っていない	10	0.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	0.0

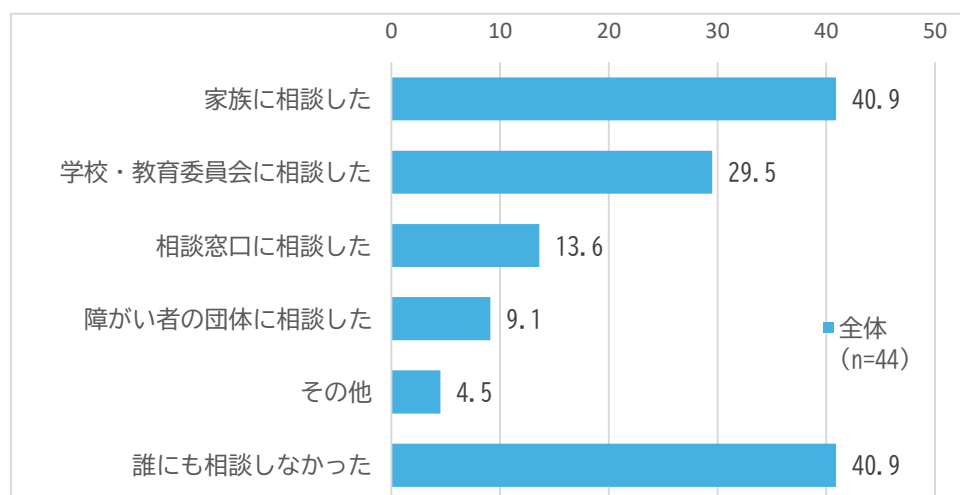
※回答者なしの選択肢は掲載を省略

年齢別にみると、「15～17 歳」の高校生年代では「学校生活」「進学するとき」とした回答がやや多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳保有者」では「家族や親戚など身内からの差別」「交通機関や建築物での配慮なさ」など、「療育手帳(知的障がい)」保有者では「まちでの人の視線」「近所づきあい」など、「精神障害者保健福祉手帳」保有者では「学校生活」「進学する時」「公共機関の窓口の応対や態度」などがやや高くなっています。

(3) 人権を損なう扱いを受けた場合の相談先

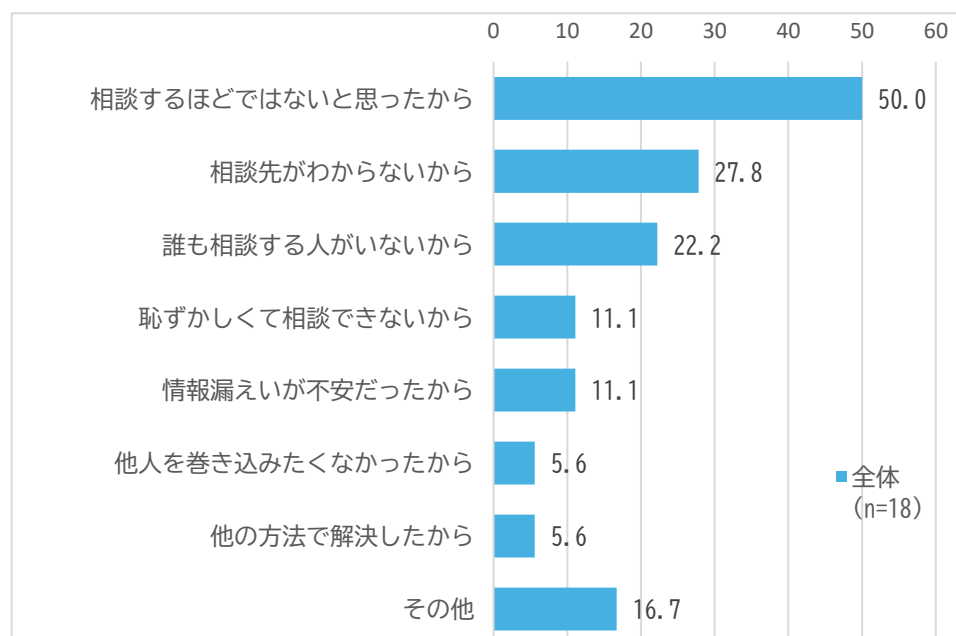
問37 問36で「1」～「15」のいずれかと答えた方にお聞きします。お子様が人権を損なう扱いを受けた場合に、誰かに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



人権を損なう扱いを受けた場合の相談先を尋ねたところ、「家族に相談した」が40.9%で最も多く、次いで「学校・教育委員会に相談した」が29.5%などとなっています。一方、「誰にも相談しなかった」は40.9%となっています。

(4) 相談しなかった理由

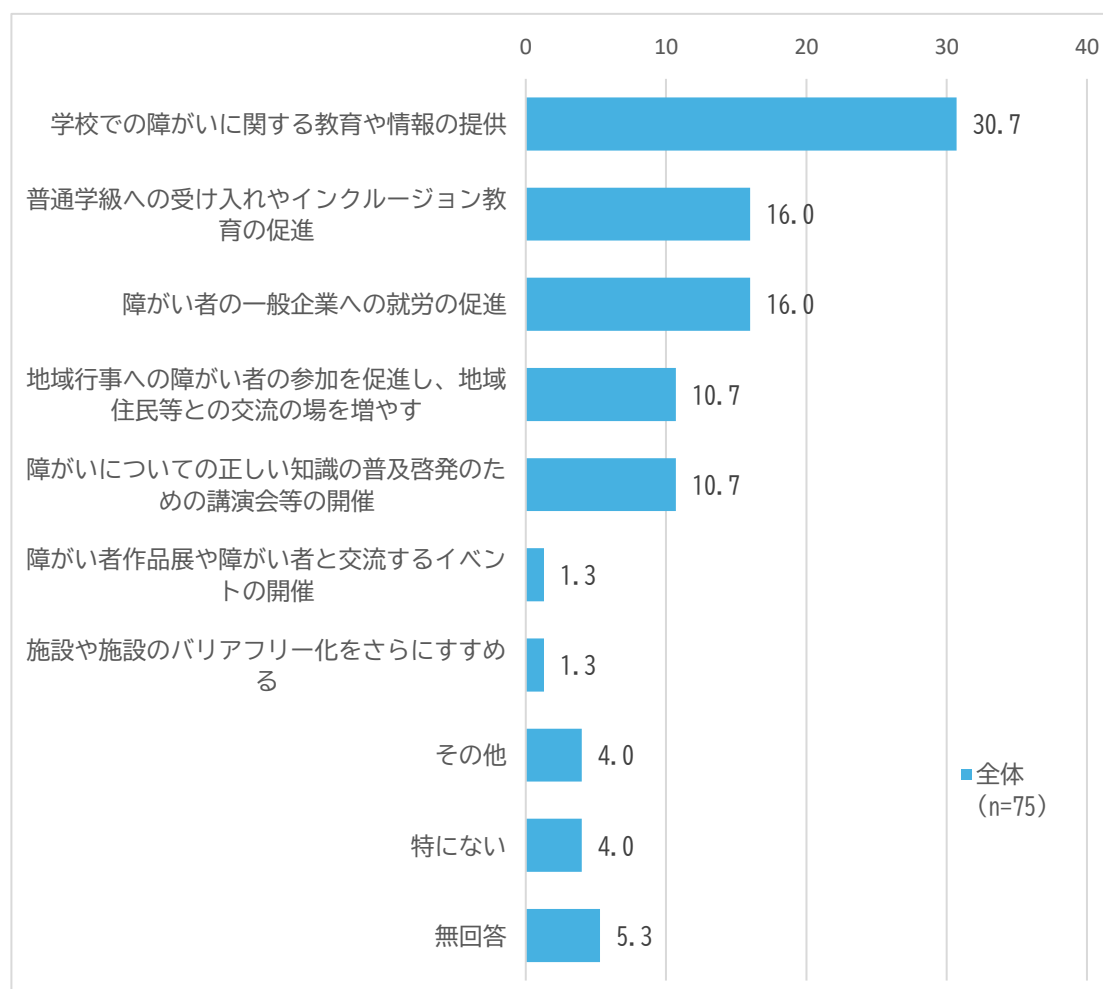
問38 問37で「6 誰にも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。相談しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



人権を損なう扱いを受けた場合に、誰にも相談しなかった理由を尋ねたところ、「相談するほどではないと思ったから」が50.0%で最も多く、次いで「相談先がわからないから」が27.8%、「誰も相談する人がいないから」が22.2%などとなっています。

(5) 地域での共生のために必要なこと

問39 障がいのある人もない人も共に地域で生活できるように必要なことは、どんなことだと考えますか。(最もあてはまるもの一つに○をつけてください)



障がいのある人、ない人が地域でともに生活するために必要なことを尋ねたところ、「学校での障がいに関する教育や情報の提供」が30.7%で最も多く、次いで「普通学級への受け入れやインクルージョン教育の促進」「障がい者の一般企業への就労の促進」がそれぞれ16.0%などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）									
			学校での障がいに関する教育や情報の提供	普通学級への受け入れやインクルージョン教育の促進	障がい者の一般企業への就労の促進	し、地域行事への障がい者の参加を促進し、地域住民等との交流の場を増やす	障がいについての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催	障がい者作品展や障がい者と交流するイベントの開催	施設や施設のバリアフリー化をさらにすすめる	その他	特にない	無回答
全体		75	30.7	16.0	16.0	10.7	10.7	1.3	1.3	4.0	4.0	5.3
年齢別	6歳未満	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	29	37.9	17.2	10.3	10.3	6.9	3.4	0.0	10.3	3.4	0.0
	12～14歳	14	21.4	7.1	21.4	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1
	15～17歳	28	25.0	14.3	21.4	10.7	14.3	0.0	3.6	0.0	0.0	10.7
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	11	9.1	36.4	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	31.8	9.1	15.9	11.4	11.4	2.3	0.0	6.8	6.8	4.5
	精神障害者保健福祉手帳	11	45.5	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2
	持っていない	10	50.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

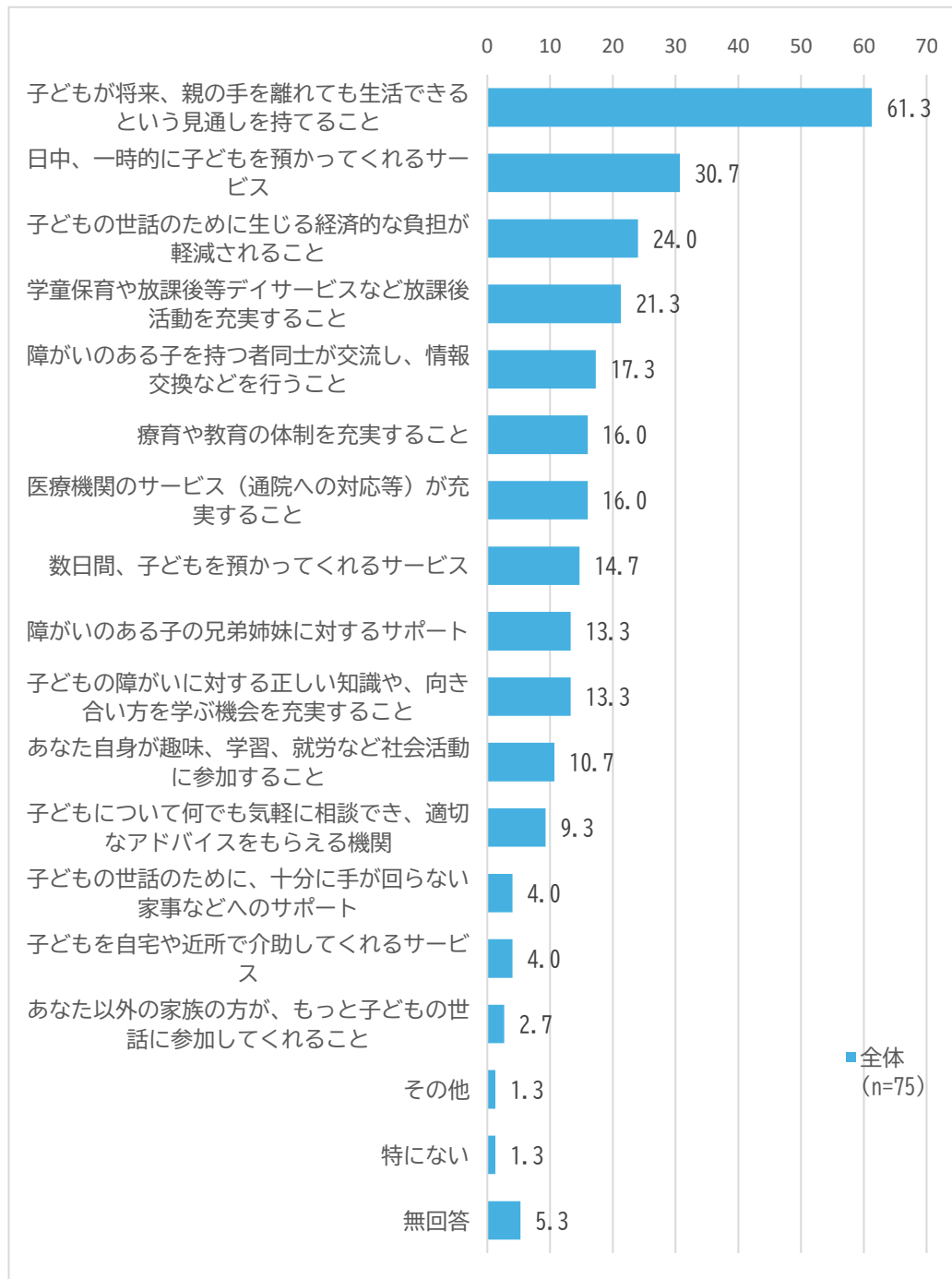
年齢別にみると、「6歳未満」「6～11歳」の低年齢層では、「学校での障がいに関する教育や情報の提供」「普通学級への受け入れやインクルージョン教育の推進」を求める回答が多く、「12～14歳」「15～17歳」の年代では、「障がい者の一般企業への就労の促進」「障がいについての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催」などがやや少なくなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」保有者では「普通学級への受け入れやインクルージョン教育の促進」「障がい者の一般企業への就労の促進」など、「精神障害者保健福祉手帳」保有者では「学校での障がいに関する教育や情報の提供」などがやや多くなっています。

9 相談について

(1) 養育の負担感軽減のために重要なこと

問40 お子様の養育の負担感やストレスを軽減させるために、あなたが重要だと考えることは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○をつけてください)



養育の負担感やストレス軽減のために重要と考えることを尋ねたところ、「子どもが将来、親の手を離れても生活できることができるという見通しを持てること」が61.3%で最も多く、次いで「日中、一時的に子どもを預かってくれるサービス」が30.7%、「子どもの世話のために生じる経済的な負担が軽減されること」が24.0%、「学童保育や放課後等デイサービスなど放課後活動を充実すること」が21.3%などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）											
			子どもが将来、親の手を離れても生活できるといふ見通しを持てること	日中、一時的に子どもを預かってくれるサービス	子どもの世話のために生じる経済的な負担が軽減されること	学童保育や放課後等デイサービスなど放課後活動を充実すること	障がいのある子を持つ者同士が交流し、情報交換などを行うこと	療育や教育の体制を充実すること	医療機関のサービス（通院への対応等）が充実すること	数日間、子どもを預かってくれるサービス	障がいのある子の兄弟姉妹に対するサポート	子どもの障がいに対する正しい知識や、向き合い方を学ぶ機会を充実すること	あなたが趣味、学習、就労など社会活動に参加すること	子どもについて何でも気軽に相談でき、適切なアドバイスをもらえる機関
全体		75	61.3	30.7	24.0	21.3	17.3	16.0	16.0	14.7	13.3	13.3	10.7	9.3
年齢別	6歳未満	4	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	75.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	29	62.1	55.2	20.7	27.6	20.7	6.9	10.3	24.1	10.3	13.8	17.2	3.4
	12～14歳	14	64.3	21.4	28.6	28.6	7.1	7.1	21.4	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0
	15～17歳	28	60.7	14.3	25.0	10.7	17.9	21.4	14.3	10.7	14.3	21.4	7.1	21.4
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	11	54.5	27.3	36.4	9.1	18.2	18.2	36.4	36.4	0.0	18.2	18.2	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	63.6	43.2	13.6	18.2	25.0	15.9	9.1	18.2	9.1	11.4	15.9	11.4
	精神障害者保健福祉手帳	11	63.6	0.0	9.1	27.3	18.2	36.4	9.1	0.0	18.2	18.2	0.0	18.2
	持っていない	10	50.0	30.0	50.0	30.0	0.0	0.0	30.0	10.0	40.0	10.0	10.0	0.0

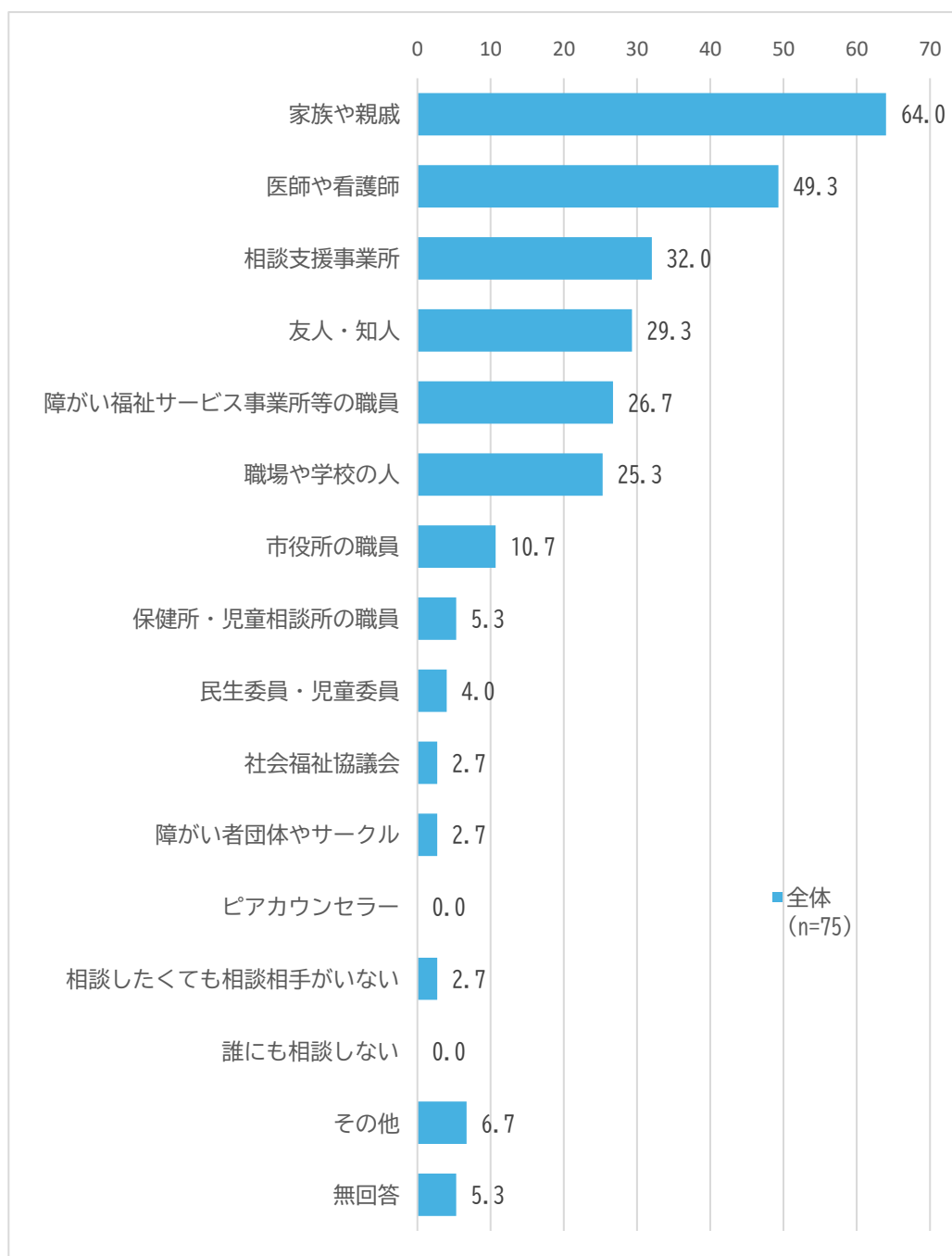
※選択肢中の「子どもの世話のために、十分に手が回らない家事などへのサポート」「子どもを自宅や近所で介助してくれるサービス」「あなた以外の家族の方が、もっと子どもの世話に参加してくれること」「その他」「特にない」「無回答」は掲載を省略

年齢別にみると、「6歳未満」では「療育や教育の体制を充実すること」「医療機関のサービス（通院への対応等）が充実すること」など、「6～11歳」では「日中、一時的に子どもを預かってくれるサービス」がやや多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」保有者では「子どもの世話のために生じる経済的な負担が軽減されること」「医療機関のサービス（通院への対応等）が充実すること」「数日間、子どもを預かってくれるサービス」など、「療育手帳(知的障がい)」保有者では「日中、一時的に子どもを預かってくれるサービス」など、「精神障害者保健福祉手帳」保有者では「療育や教育の体制を充実すること」などがやや多くなっています。

（２）悩みや困りごとに関する相談先

問41 お子様のことで悩んでいることや、困っていることについて、相談するのは誰ですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



障がいを持つ子どものことで悩んでいることや困っていることの相談先について尋ねたところ、「家族や親戚」が64.0%で最も多く、次いで「医師や看護師」が49.3%、「相談支援事業所」が32.0%、「友人・知人」が29.3%、「障がい福祉サービス事業所等の職員」が26.7%、「職場や学校の人」が25.3%などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）													
			家族や親戚	医師や看護師	相談支援事業所	友人・知人	障がい福祉サービス事業所等の職員	職場や学校の人	市役所の職員	保健所・児童相談所の職員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	障がい者団体やサークル	相談したくても相談相手がいない	その他	無回答
全体		75	64.0	49.3	32.0	29.3	26.7	25.3	10.7	5.3	4.0	2.7	2.7	2.7	6.7	5.3
年齢別	6歳未満	4	75.0	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	6～11歳	29	65.5	44.8	37.9	31.0	20.7	24.1	13.8	13.8	3.4	3.4	3.4	3.4	10.3	0.0
	12～14歳	14	71.4	42.9	28.6	28.6	28.6	21.4	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1
	15～17歳	28	57.1	50.0	28.6	32.1	32.1	32.1	7.1	0.0	3.6	3.6	3.6	3.6	0.0	10.7
居住地区別	両津地区	25	64.0	48.0	24.0	40.0	40.0	28.0	20.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	8.0
	相川地区	4	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	佐和田地区	14	78.6	42.9	28.6	14.3	14.3	21.4	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	7.1	14.3	0.0
	金井地区	15	60.0	46.7	53.3	20.0	26.7	26.7	0.0	0.0	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	新穂地区	3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	畑野地区	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	真野地区	3	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
	小木地区	6	83.3	50.0	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	羽茂地区	3	66.7	100.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	赤泊地区	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	11	63.6	81.8	18.2	18.2	36.4	18.2	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0
	療育手帳(知的障がい)	44	61.4	36.4	45.5	31.8	36.4	25.0	13.6	6.8	2.3	2.3	2.3	2.3	9.1	4.5
	精神障害者保健福祉手帳	11	63.6	63.6	18.2	27.3	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	18.2
	持っていない	10	80.0	60.0	10.0	50.0	10.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※回答がゼロであった「ピアカウンセラー」「誰にも相談しない」は掲載を省略

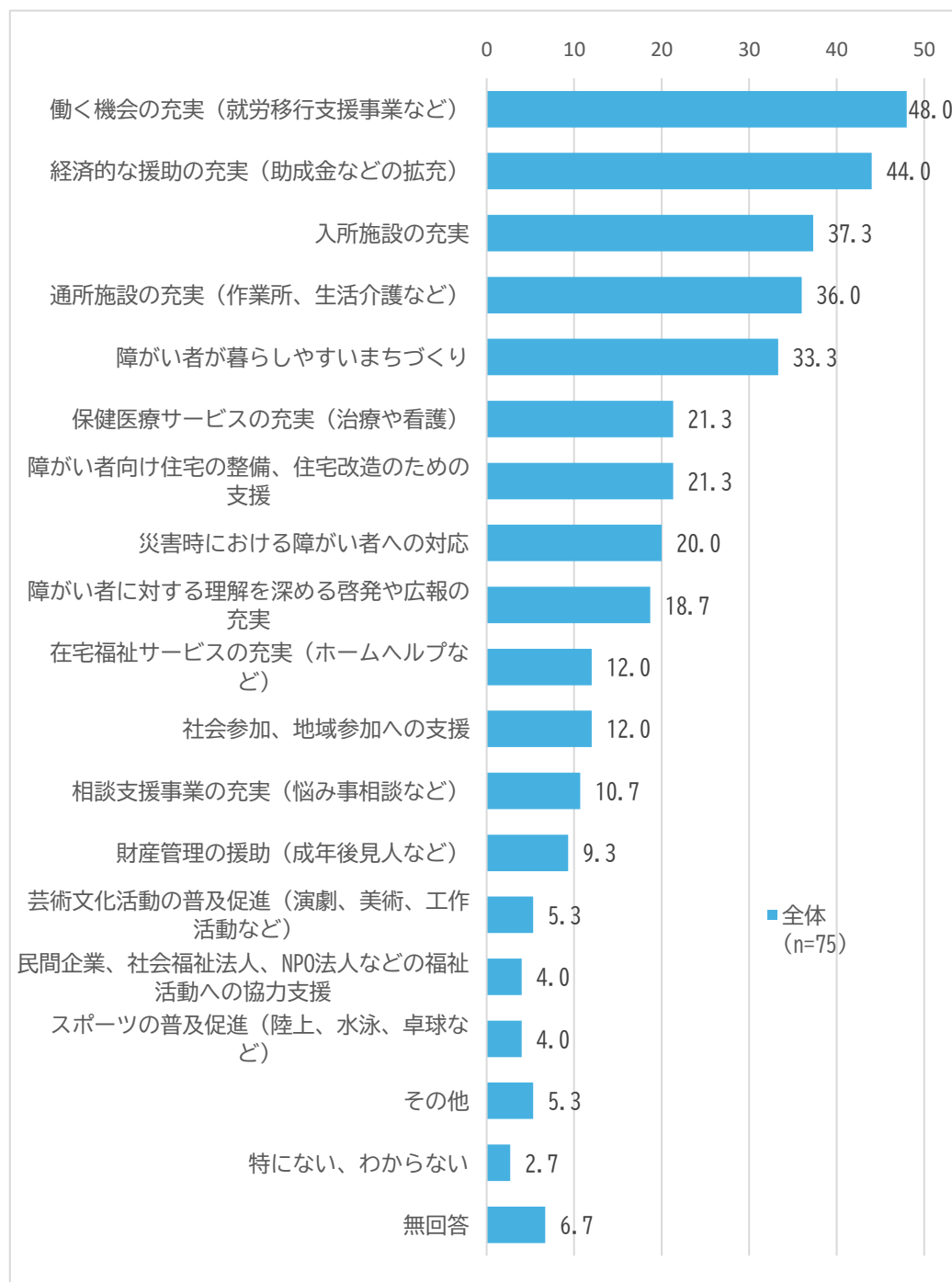
年齢別にみると、「6歳未満」では「医師や看護師」が100.0%と高くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」保有者では「医師や看護師」の割合が高く、「療育手帳（知的障がい）」保有者では「相談支援事業所」の割合が高くなっています。

10 障がい者施策について

(1) 障がい者施策への要望

問42 佐渡市で暮らしていくうえで、これからどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(5つまで選んで○をつけてください)



佐渡市の今後の障がい者施策への要望を尋ねたところ、「働く機会の充実 (就労移行支援など)」が 48.0% で最も多く、次いで「経済的な援助の充実 (助成金などの拡充)」が 44.0%、「入所施設の充実」が 37.3%、「通所施設の充実 (作業所、生活介護など)」が 36.0%、「障がい者が暮らしやすいまちづくり」が 33.3% などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）												
			働く機会の充実（就労移行支援事業など）	経済的な援助の充実（助成金などの拡充）	入所施設の充実	通所施設の充実（作業所、生活介護など）	障がい者が暮らしやすいまちづくり	保健医療サービスの充実（治療や看護）	障がい者向け住宅の整備、住宅改造のための支援	災害時における障がい者への対応	障がい者に対する理解を深める啓発や広報の充実	在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプなど）	社会参加、地域参加への支援	相談支援事業の充実（悩み事相談など）	財産管理の援助（成年後見人など）
全体		75	48.0	44.0	37.3	36.0	33.3	21.3	21.3	20.0	18.7	12.0	12.0	10.7	9.3
年齢別	6歳未満	4	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	6～11歳	29	34.5	44.8	51.7	37.9	34.5	31.0	24.1	13.8	20.7	20.7	10.3	6.9	13.8
	12～14歳	14	71.4	50.0	21.4	21.4	35.7	14.3	21.4	7.1	14.3	0.0	21.4	7.1	0.0
	15～17歳	28	53.6	39.3	28.6	39.3	28.6	10.7	21.4	32.1	21.4	10.7	10.7	14.3	10.7
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	11	18.2	54.5	54.5	54.5	9.1	63.6	36.4	27.3	0.0	18.2	27.3	9.1	9.1
	療育手帳（知的障がい）	44	52.3	40.9	54.5	47.7	38.6	13.6	27.3	15.9	20.5	15.9	13.6	6.8	11.4
	精神障害者保健福祉手帳	11	63.6	9.1	9.1	18.2	45.5	18.2	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	27.3	0.0
	持っていない	10	50.0	70.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	20.0

※回答の下位5項目（「芸術文化活動の普及促進（演劇、美術、工作活動など）」「民間企業、社会福祉法人、NPO法人などの福祉活動への協力支援」「スポーツの普及促進（陸上、水泳、卓球など）」「その他」「特になし、わからない」）及び「無回答」は掲載を省略

年齢別にみると、「6歳未満」「6～11歳」の低年齢層では「入所施設の充実」「保健医療サービスの重充実（治療や看護）」など、「12～14歳」「15～17歳」では「働く機会の充実（就労移行支援事業など）」などが比較的多くなっています。

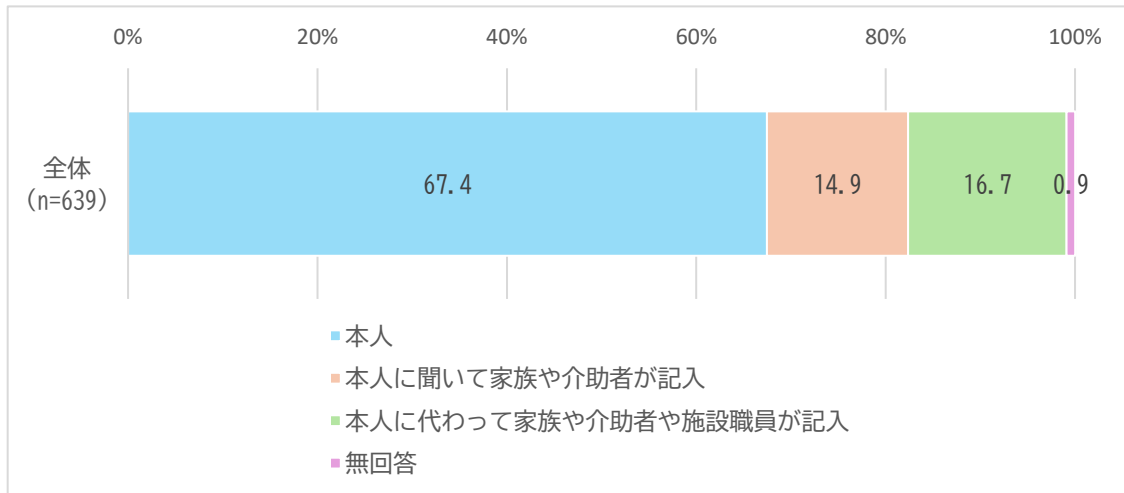
障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」保有者では「通所施設の充実（作業所、生活介護など）」「保健医療サービスの充実（治療や看護）」「障がい者向け住宅の整備、住宅改造のための支援」「社会参加、地域参加への支援」など、「精神障害者保健福祉手帳」保有者では「働く機会の充実（就労移行支援事業など）」「障がい者が暮らしやすいまちづくり」などが比較的多くなっています。

Ⅱ－ⅱ．障がい者福祉計画に関するアンケート調査＜18歳以上＞

1 回答者の基本情報について

(1) 調査の回答者

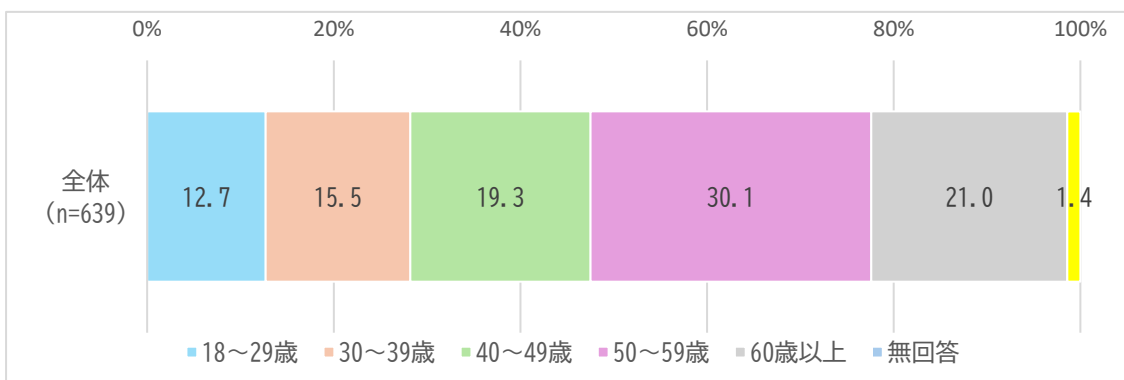
問1 この調査票にお答えいただくのはどなたですか。(1つだけ○をつけてください)



調査の回答者 639 人のうち、「本人」が 67.4%、「本人に聞いて家族や介助者が回答」が 14.9%、「本人に代わって家族や介助者や施設職員が記入」が 16.7%となっています。

(2) 年齢

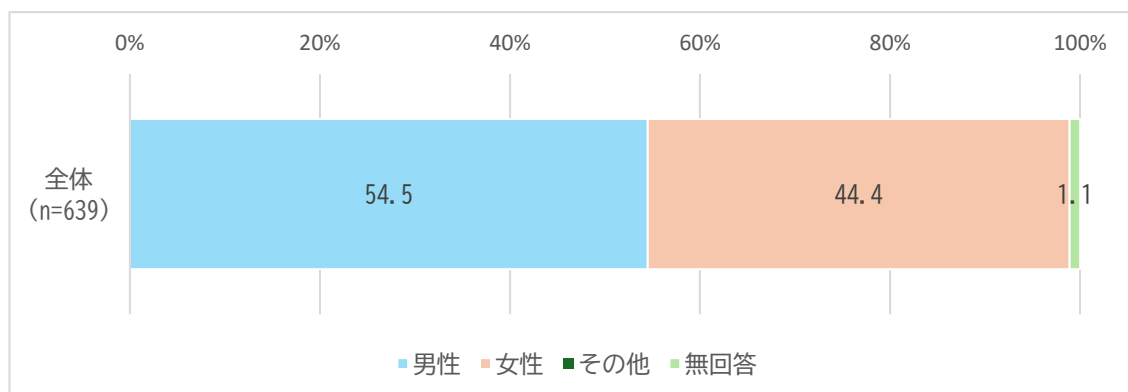
問2 あなたは何歳ですか。(令和7年4月1日現在)



年齢は、「18～29歳」が 12.7%、「30～39歳」が 15.5%、「40～49歳」が 19.3%、「50～59歳」が 30.1%、「60歳以上」が 21.0%となっています。

(3) 性別

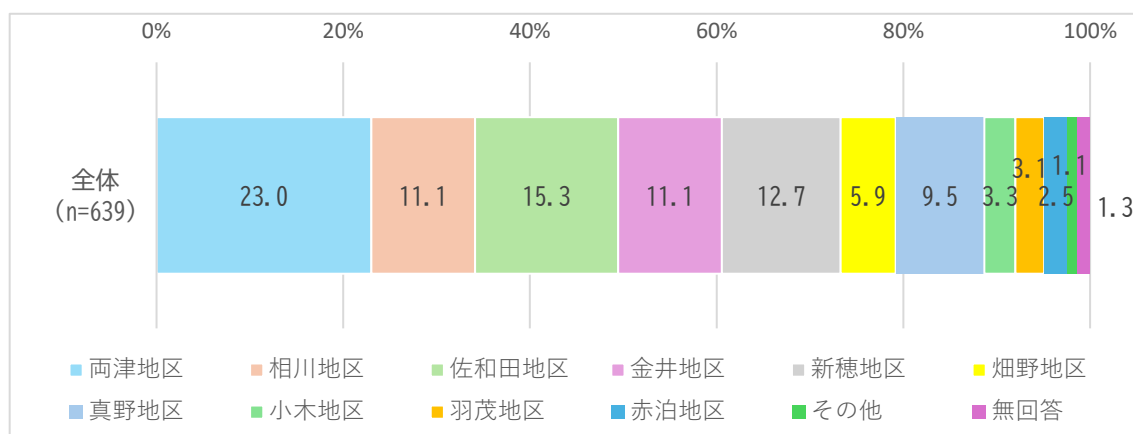
問3 あなたの性別はどちらですか。(1つだけ○をつけてください)



性別は、「男性」が54.5%、「女性」が44.4%になっています。

(4) 居住地区

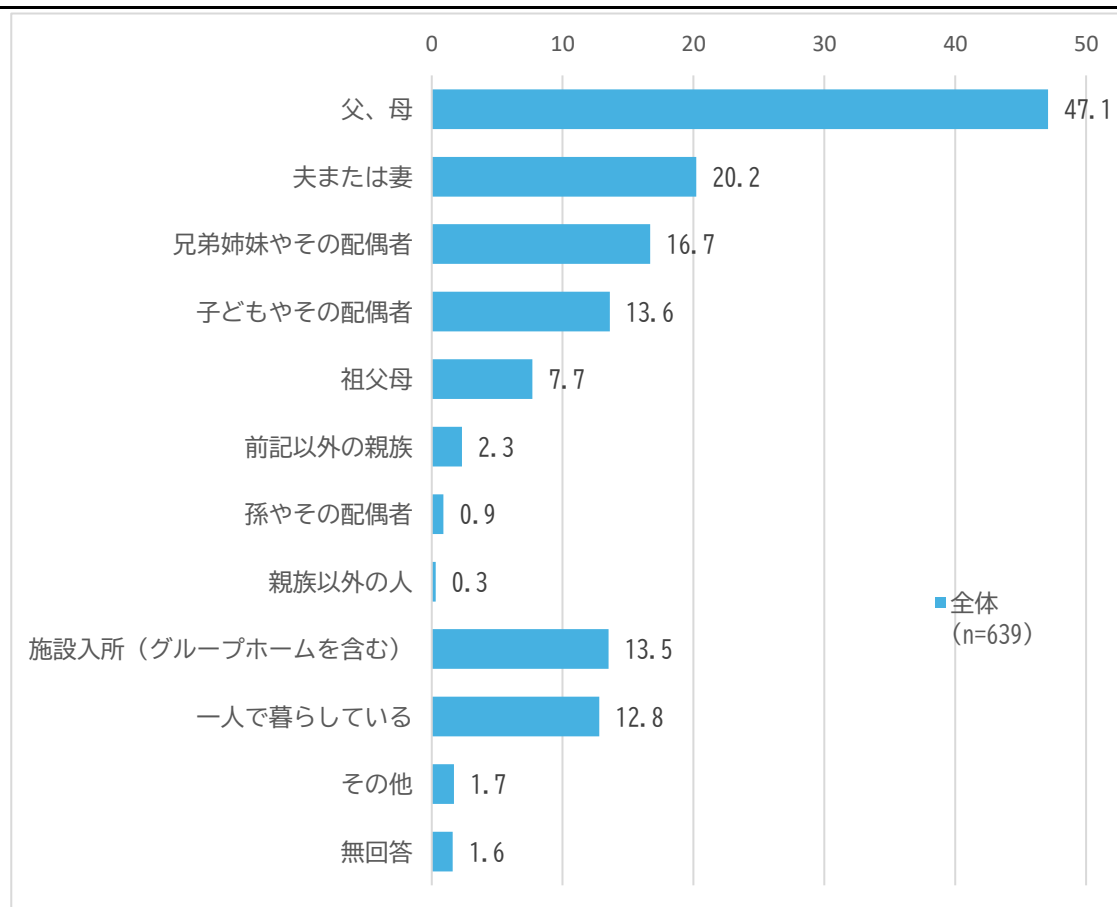
問4 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つだけ○をつけてください)



居住地区は、「両津地区」が23.0%で最も高く、次いで「佐和田地区」が15.3%、「新穂地区」(12.7%)、「相川地区」、「金井地区」がいずれも11.1%などとなっています。

（５）同居者

問５ あなたはどなたと生活していますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



一緒に生活している人を尋ねたところ、「父、母」47.1%で最も多く、次いで「夫または妻」が20.2%、「兄弟姉妹やその配偶者」が16.7%、「子どもやその配偶者」が13.6%などとなっている。

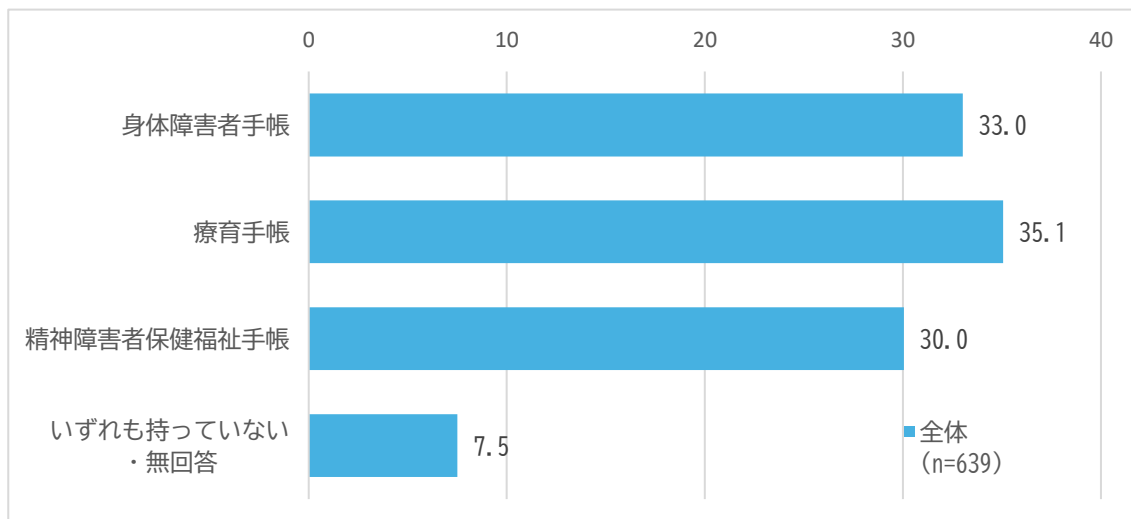
一方、「施設入所（グループホームを含む）」が13.5%、「一人で暮らしている」が12.8%など、家族などと同居していない人も一定数みられている。

2 障がい等の状況について

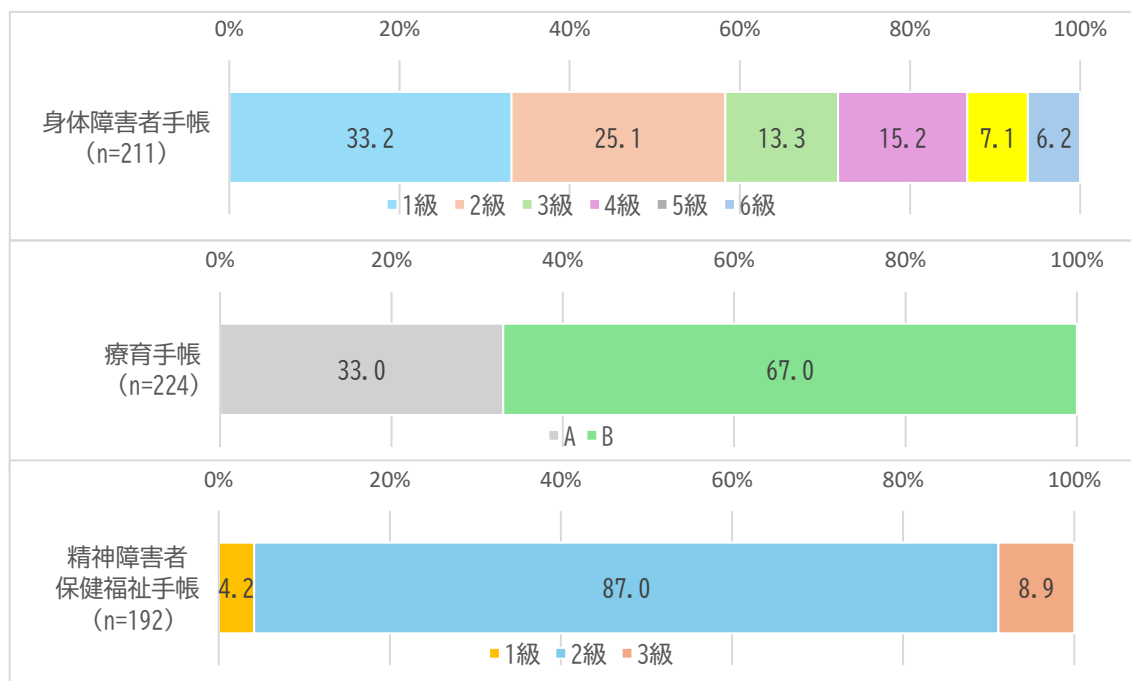
(1) 障害者手帳等の保有状況

問6 あなたがお持ちの障害者手帳等はどれですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

<障害者手帳の保有状況>



<各障害者手帳の等級内訳>



手帳の種類は、「身体障害者手帳」が33.0%、「療育手帳」が35.1%、「精神障害者保健福祉手帳」が30.0%となっています。また、各障害者手帳の等級の内訳をみると「身体障害者手帳」では「1級」(33.2%)、「2級」(25.1%)、「療育手帳」では「B」(67.0%)、「精神障害者保健福祉手帳」では「2級」(87.0%)が多くなっています。

参考結果：障害者手帳などの重複所持状況

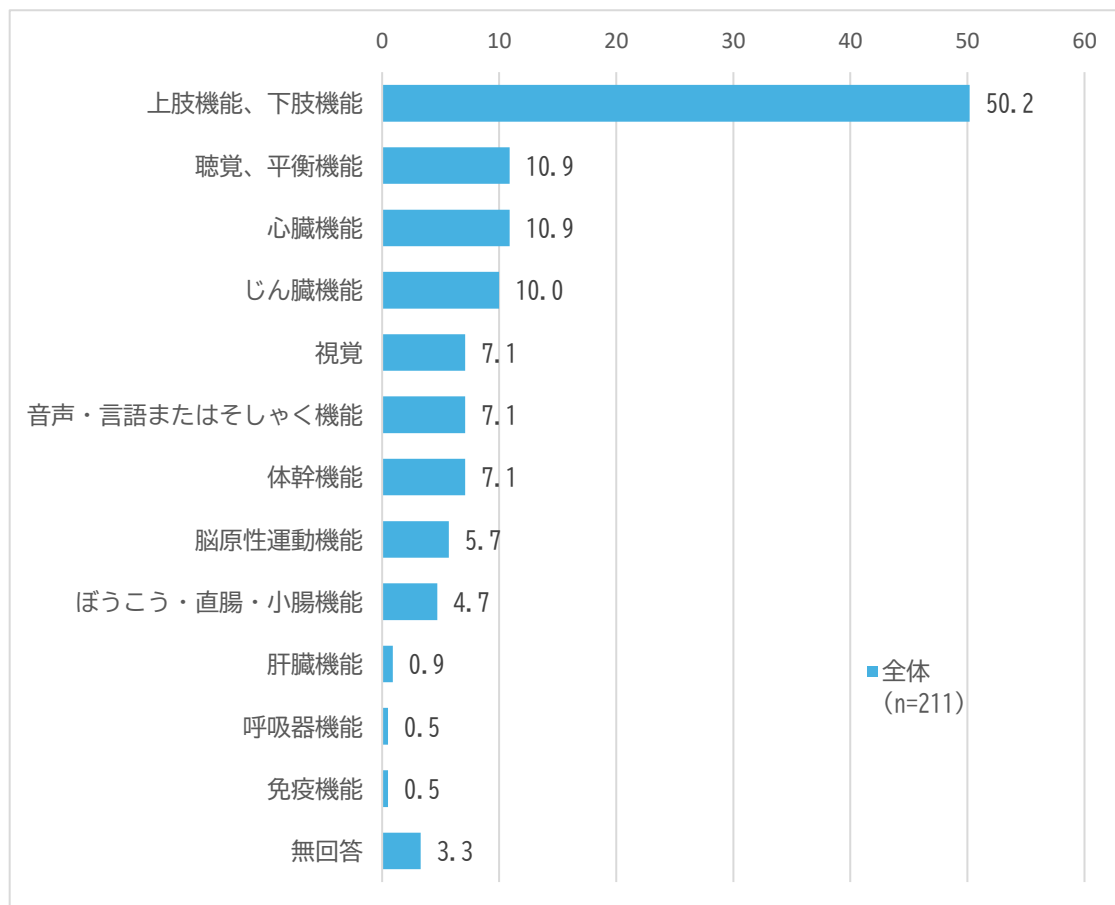
		合計	身体障害者手帳			
			有		無・無回答	
			療育手帳		療育手帳	
			有	無・無回答	有	無・無回答
合計		639	31	180	193	235
精神障害者保健福祉手帳	有	192	① 2	③ 0	④ 3	187
	無・無回答	447	② 29	180	190	48

障害者手帳などを複数所持している方の状況は以下のとおりです。

- ①身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳 3 種類の所持者は 2 人
- ②身体障害者手帳、療育手帳 2 種類の所持者は 29 人
- ③身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳 2 種類の所持者は 0 人
- ④療育手帳、精神障害者保健福祉手帳 2 種類の所持者は 3 人

（２）身体障がいの内容

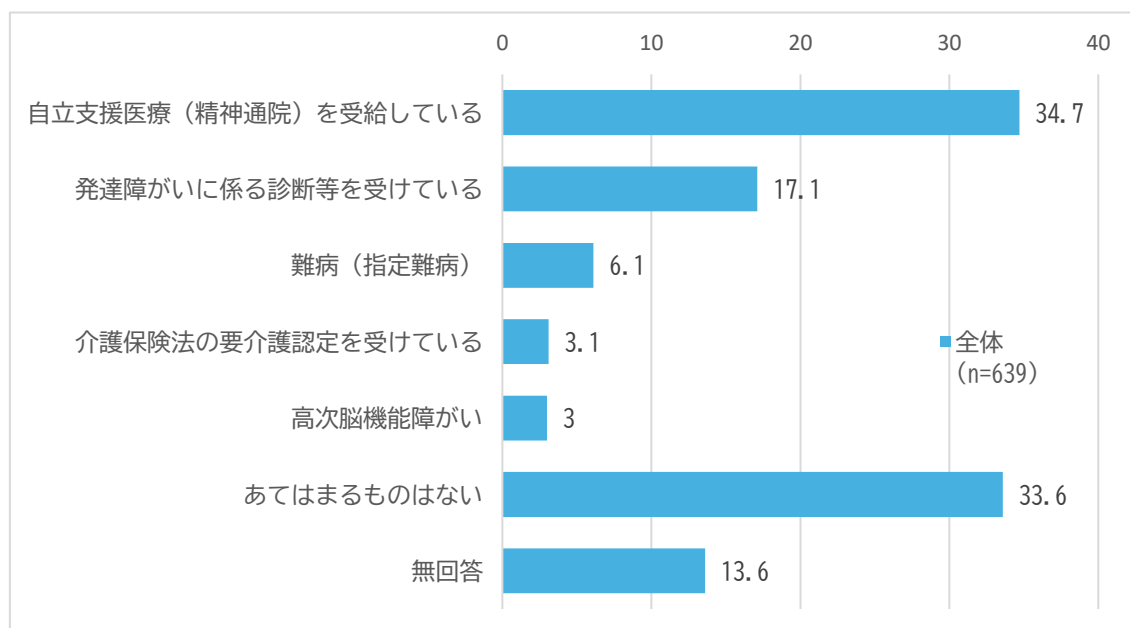
問７ 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。身体障がいの種類は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



身体障がいの内容については、「上肢機能、下肢機能」が 50.2% で最も多く、次いで「聴覚、平衡機能」「心臓機能」がそれぞれ 10.9%、「じん臓機能」が 10.0% などとなっています。

（３）障がいや病気に関する指定等の状況

問８ あなたは、次のうちあてはまるものがありますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

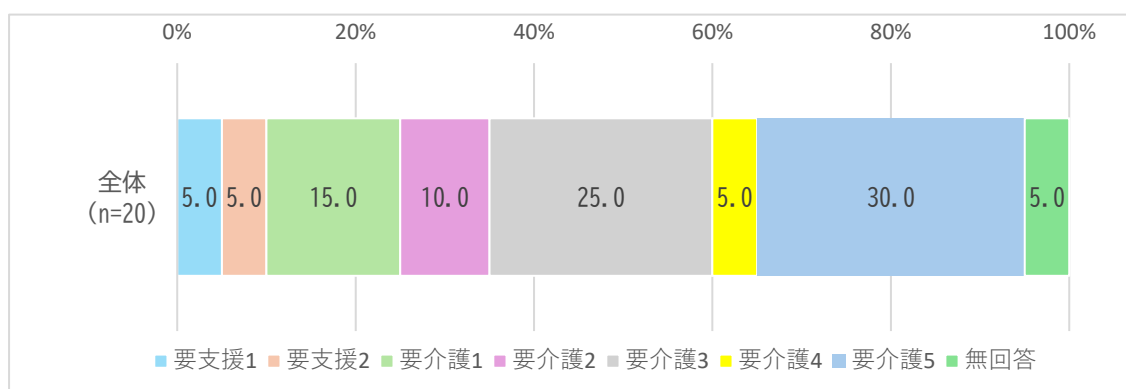


障がいや病気に関する指定等の状況について尋ねたところ、「自立支援医療（精神通院）を受給している」が 34.7% で最も多く、次いで「発達障がいに係る診断等を受けている」が 17.1% などとなっています。

一方、「あてはまるものはない」は 33.6% となっています。

（４）要介護認定等の区分

問９ 問８で「４．介護保険法の要介護認定を受けている」と答えた方にお聞きします。あなたの「要支援・要介護」の認定は次のどれですか。（１つだけ○をつけてください）



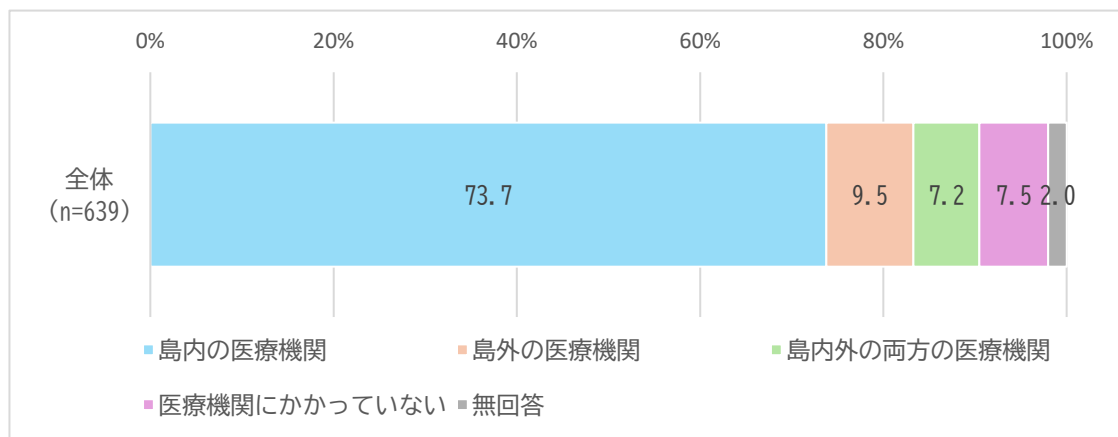
介護認定を受けている 20 名にその認定内容を尋ねたところ、「要介護 5」が 30.0% で最も多く、次いで「要介護 3」が 25.0%、「要介護 1」が 15.0% などとなっています。

3 医療機関利用状況について

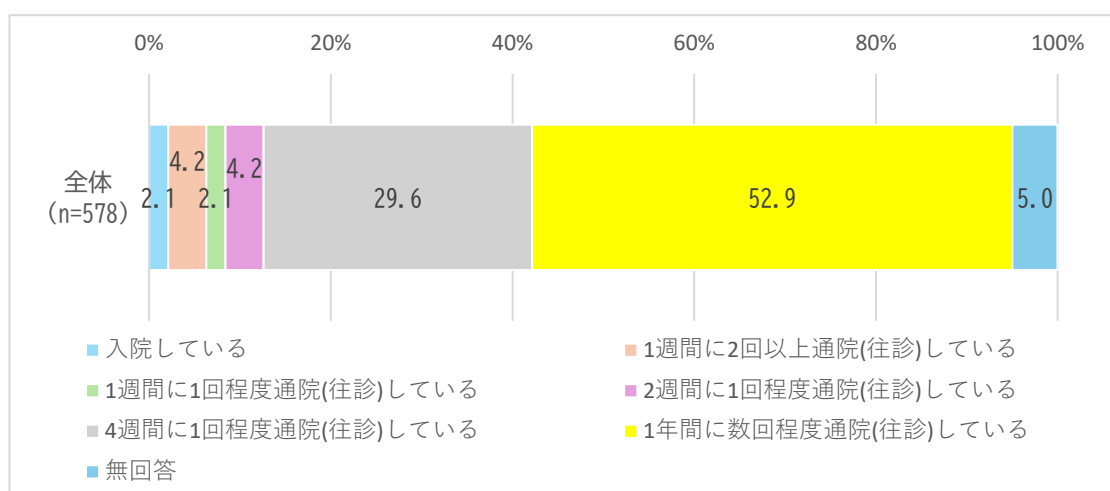
(1) 医療機関利用状況

問10 あなたの医療機関利用状況（主に定期的に利用するもの）をお答えください。
（1つだけ○をつけてください）

<場所>



<利用頻度>



通院場所は、「島内の医療機関」が73.7%で最も高く、「島外の医療機関」が9.5%、「島内外の両方の医療機関」が7.2%となっています。

利用頻度は、「1年間に数回程度通院（往診）している」が52.9%で最も多く、次いで「4週間に1回程度通院（往診）している」が29.6%などとなっています。

<クロス結果>

		場所						利用頻度							
		回答者数（n）	回答率（％）					回答者数（n）	回答率（％）						
			島内の医療機関	島外の医療機関	島内外の両方の医療機関	医療機関にかかっていない	無回答		入院している	1週間に2回以上通院（往診）している	1週間に1回程度通院（往診）している	2週間に1回程度通院（往診）している	4週間に1回程度通院（往診）している	1年間に数回程度通院（往診）している	無回答
全体		639	73.7	9.5	7.2	7.5	2.0	577	2.1	4.2	1.9	4.2	29.6	53.0	5.0
年齢別	18～29歳	81	69.1	11.1	2.5	17.3	0.0	67	1.5	0.0	0.0	9.0	29.9	56.7	3.0
	30～39歳	99	69.7	11.1	6.1	11.1	2.0	86	3.5	1.2	2.3	2.3	32.6	54.7	3.5
	40～49歳	123	78.9	6.5	5.7	6.5	2.4	112	1.8	1.8	1.8	4.5	25.0	55.4	9.8
	50～59歳	192	75.5	8.9	7.3	5.2	3.1	176	0.6	5.1	1.7	1.7	33.5	54.5	2.8
	60歳以上	134	73.1	11.2	11.9	3.0	0.7	129	3.7	8.2	3.0	5.2	25.4	45.5	5.2
居住地区別	両津地区	147	77.6	6.8	7.5	7.5	0.7	135	3.0	5.2	0.7	2.2	31.1	50.4	7.4
	相川地区	71	67.6	12.7	7.0	9.9	2.8	62	1.6	8.1	1.6	1.6	37.1	46.8	3.2
	佐和田地区	98	73.5	6.1	8.2	9.2	3.1	86	2.3	0.0	3.5	11.6	29.1	53.5	0.0
	金井地区	71	76.1	11.3	9.9	1.4	1.4	69	1.4	4.3	2.9	0.0	34.8	52.2	4.3
	新穂地区	81	80.2	2.5	9.9	6.2	1.2	75	0.0	4.0	2.7	1.3	26.7	64.0	1.3
	畑野地区	38	68.4	23.7	5.3	0.0	2.6	37	0.0	2.7	2.7	2.7	29.7	54.1	8.1
	真野地区	61	77.0	3.3	6.6	13.1	0.0	53	0.0	1.9	1.9	7.5	28.3	52.8	7.5
	小木地区	21	71.4	19.0	4.8	4.8	0.0	20	0.0	5.0	0.0	10.0	20.0	50.0	15.0
	羽茂地区	20	65.0	10.0	0.0	10.0	15.0	15	0.0	6.7	0.0	6.7	26.7	53.3	6.7
	赤泊地区	16	75.0	12.5	0.0	12.5	0.0	14	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	64.3	14.3
障害者 状況別 手帳	身体障害者手帳	211	67.8	11.4	14.7	4.7	1.4	198	2.0	10.1	3.0	4.5	24.7	52.5	3.0
	療育手帳(知的障がい)	224	75.0	4.0	3.1	14.3	3.6	184	2.2	0.5	3.3	1.6	22.8	60.9	8.7
	精神障害者保健福祉手帳	192	83.9	10.9	2.1	2.6	0.5	186	2.7	0.5	0.5	5.9	45.2	41.9	3.2
	持っていない	48	54.2	22.9	12.5	8.3	2.1	43	2.3	4.7	2.3	2.3	23.3	60.5	4.7

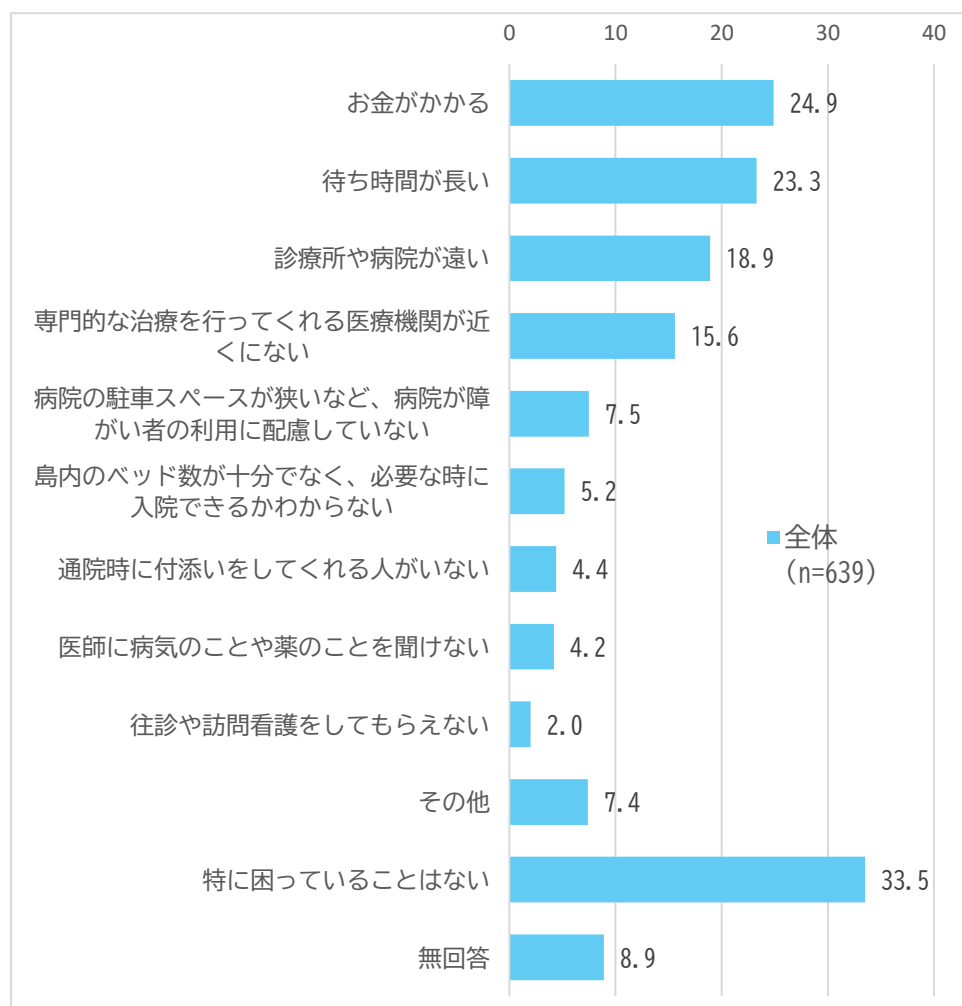
年齢別にみると、全年代で「島内の医療機関」が7割前後を占めて多くなっていますが、「18～29歳」では「医療機関にかかっていない」が2割弱とやや多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」保有者では「島内外の両方の医療機関」が、障害者手帳を「持っていない」方では「島外の医療機関」の割合がやや高くなっています。

なお、利用頻度ではいずれも「1年間に数回程度通院（往診）している」が最も多くなっています。

（２）医療に関する困りごと

問11 あなたが、医療について困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



医療機関の利用について困っていることを尋ねたところ、「お金がかかる」24.9%で最も多く、次いで「待ち時間が長い」が23.3%、「診療所や病院が遠い」が18.9%、「専門的な治療を行ってくれる医療機関が近くにない」が15.6%などとなっています。

一方、「特に困っていることはない」とする回答も33.5%と3割超に達しています。

<クロス結果>

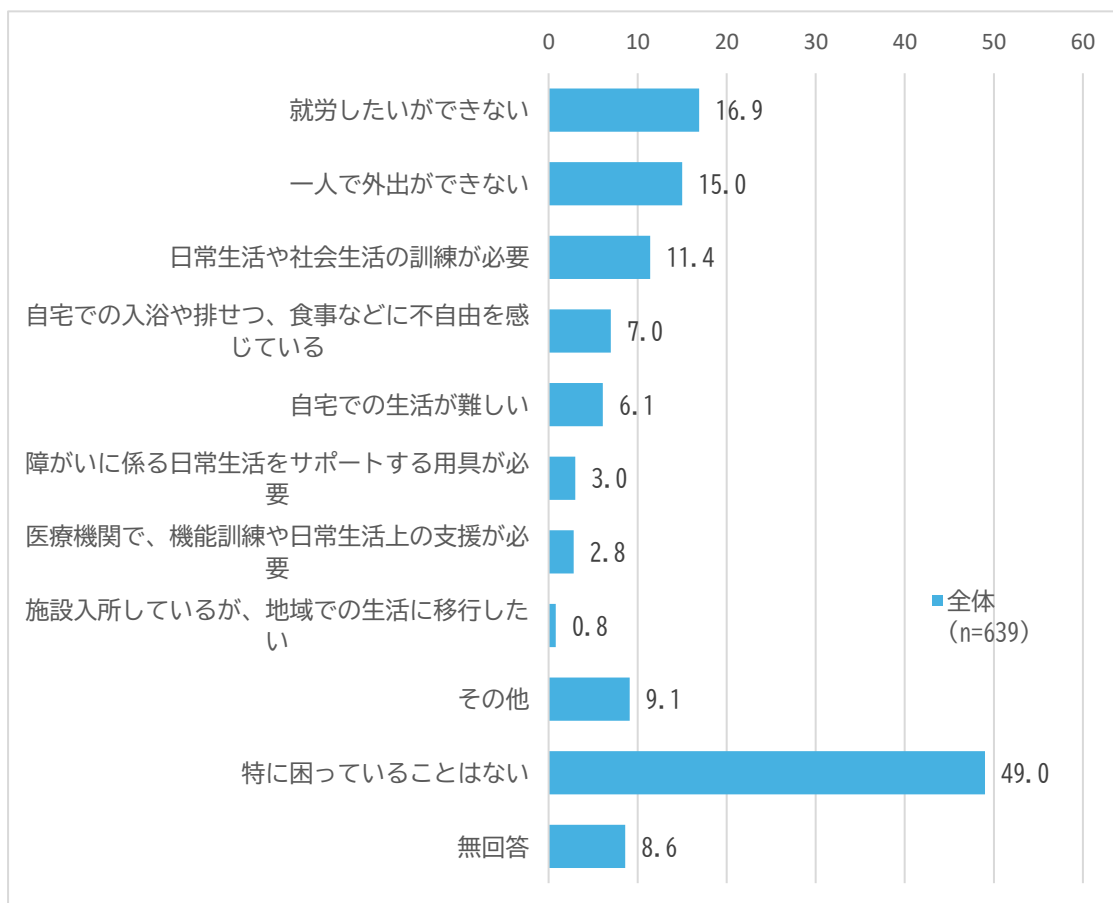
		回答者数（n）	回答率（％）											
			お金がかかる	待ち時間が長い	診療所や病院が遠い	専門的な治療を行ってくれる医療機関が近くにない	病院の駐車スペースが狭いなど、病院が障がい者の利用に配慮していない	島内のベッド数が十分でなく、必要な時に入院できるかわからない	通院時に付添いをしてくれる人がいない	医師に病気のことや薬のことを聞けない	往診や訪問看護をしてもらえない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体		639	24.9	23.3	18.9	15.6	7.5	5.2	4.4	4.2	2.0	7.4	33.5	8.9
年齢別	18～29歳	81	35.8	23.5	12.3	21.0	6.2	4.9	1.2	7.4	2.5	13.6	34.6	3.7
	30～39歳	99	20.2	16.2	18.2	15.2	3.0	6.1	4.0	3.0	1.0	5.1	47.5	5.1
	40～49歳	123	28.5	24.4	18.7	13.0	4.9	4.9	4.9	6.5	2.4	7.3	27.6	13.8
	50～59歳	192	22.9	25.5	22.4	14.1	7.8	4.7	3.1	2.6	1.6	7.8	30.2	10.9
	60歳以上	134	22.4	23.1	19.4	18.7	12.7	6.0	7.5	3.7	3.0	5.2	35.1	5.2
居住地区別	両津地区	147	29.3	23.8	24.5	17.0	9.5	6.1	3.4	2.0	2.0	8.8	32.0	4.8
	相川地区	71	14.1	19.7	28.2	21.1	11.3	1.4	2.8	7.0	1.4	5.6	40.8	7.0
	佐和田地区	98	30.6	24.5	16.3	12.2	4.1	6.1	4.1	9.2	1.0	7.1	37.8	2.0
	金井地区	71	35.2	25.4	4.2	16.9	2.8	5.6	5.6	8.5	1.4	5.6	33.8	1.4
	新穂地区	81	17.3	13.6	7.4	12.3	2.5	2.5	1.2	0.0	2.5	6.2	28.4	35.8
	畑野地区	38	18.4	31.6	21.1	21.1	7.9	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5	23.7	10.5
	真野地区	61	23.0	26.2	18.0	14.8	13.1	9.8	8.2	4.9	4.9	8.2	32.8	3.3
	小木地区	21	33.3	28.6	42.9	14.3	9.5	0.0	4.8	0.0	4.8	4.8	33.3	0.0
	羽茂地区	20	25.0	10.0	25.0	5.0	10.0	5.0	10.0	5.0	0.0	0.0	40.0	10.0
	赤泊地区	16	25.0	50.0	43.8	31.3	12.5	0.0	12.5	0.0	6.3	18.8	25.0	0.0
障害者状況手帳別	身体障害者手帳	211	20.4	27.0	20.9	16.6	11.8	4.7	3.8	2.4	1.4	9.0	33.6	5.7
	療育手帳(知的障がい)	224	21.0	21.9	15.2	12.9	4.9	4.5	4.0	5.8	2.7	4.0	36.2	18.3
	精神障害者保健福祉手帳	192	28.6	17.7	19.3	17.7	4.2	6.3	4.7	4.7	2.1	9.9	33.3	4.7
	持っていない	48	35.4	29.2	29.2	18.8	10.4	6.3	4.2	2.1	0.0	8.3	22.9	4.2

居住地域別にみると、「小木地区」「赤泊地区」では「診療所や病院が遠い」が他地区に比べ多くなっています。また、「赤泊地区」では「待ち時間が長い」「専門的な治療を行ってくれる医療機関が近くにない」の割合もやや高くなっています。

4 障がい福祉サービスの利用について

(1) 生活上で困っていること

問12 現在、生活上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



現在の生活上での困りごとを尋ねたところ、「就労したいができない」が16.9%で最も多く、次いで「一人で外出ができない」が15.0%、「日常生活や社会生活の訓練が必要」が11.4%などとなっています。

一方、「特に困っていることはない」が49.0%と半数近くを占めています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）										
			就労したいができない	一人で外出ができない	日常生活や社会生活の訓練が必要	自宅での入浴や排せつ、食事などに不自由を感じている	自宅での生活が難しい	障がいに係る日常生活をサポートする用具が必要	医療機関で、機能訓練や日常生活上の支援が必要	施設入所しているが、地域での生活に移行したい	その他	特に困っていることはない	無回答
全体		638	16.9	15.0	11.4	7.1	6.1	3.0	2.8	0.8	9.1	49.1	8.6
年齢別	18～29歳	81	32.1	24.7	28.4	7.4	7.4	0.0	2.5	0.0	12.3	42.0	2.5
	30～39歳	99	17.2	21.2	14.1	7.1	5.1	2.0	4.0	0.0	3.0	49.5	6.1
	40～49歳	123	17.9	13.0	13.8	4.9	5.7	1.6	0.8	1.6	7.3	44.7	13.0
	50～59歳	192	14.6	11.5	7.8	6.8	6.8	5.2	3.1	0.5	10.4	52.1	8.3
	60歳以上	134	9.0	11.9	3.0	9.7	5.2	3.7	3.7	1.5	11.2	53.0	9.7
居住地区別	両津地区	147	12.2	12.9	10.9	8.8	6.1	5.4	5.4	2.0	12.9	48.3	6.1
	相川地区	71	21.1	9.9	9.9	4.2	1.4	0.0	2.8	0.0	7.0	53.5	5.6
	佐和田地区	98	19.4	15.3	12.2	10.2	5.1	4.1	2.0	1.0	13.3	53.1	3.1
	金井地区	71	22.5	19.7	16.9	4.2	9.9	5.6	0.0	0.0	5.6	43.7	4.2
	新穂地区	81	9.9	18.5	7.4	6.2	7.4	2.5	3.7	0.0	7.4	33.3	32.1
	畑野地区	38	13.2	7.9	7.9	13.2	5.3	0.0	5.3	0.0	7.9	52.6	10.5
	真野地区	61	27.9	21.3	19.7	4.9	8.2	0.0	0.0	1.6	8.2	45.9	3.3
	小木地区	21	4.8	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	85.7	0.0
	羽茂地区	20	10.0	20.0	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	65.0	0.0
	赤泊地区	16	31.3	25.0	18.8	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5	43.8	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	12.3	16.6	6.6	10.9	4.3	6.2	3.3	1.4	11.4	50.7	8.1
	療育手帳(知的障がい)	224	13.8	20.5	14.3	6.7	7.1	1.3	2.7	0.9	4.0	46.0	16.1
	精神障害者保健福祉手帳	192	26.6	13.0	16.1	3.6	6.8	1.6	3.6	0.5	12.0	44.3	4.2
	持っていない	48	8.3	4.2	2.1	6.3	6.3	2.1	0.0	0.0	10.4	64.6	4.2

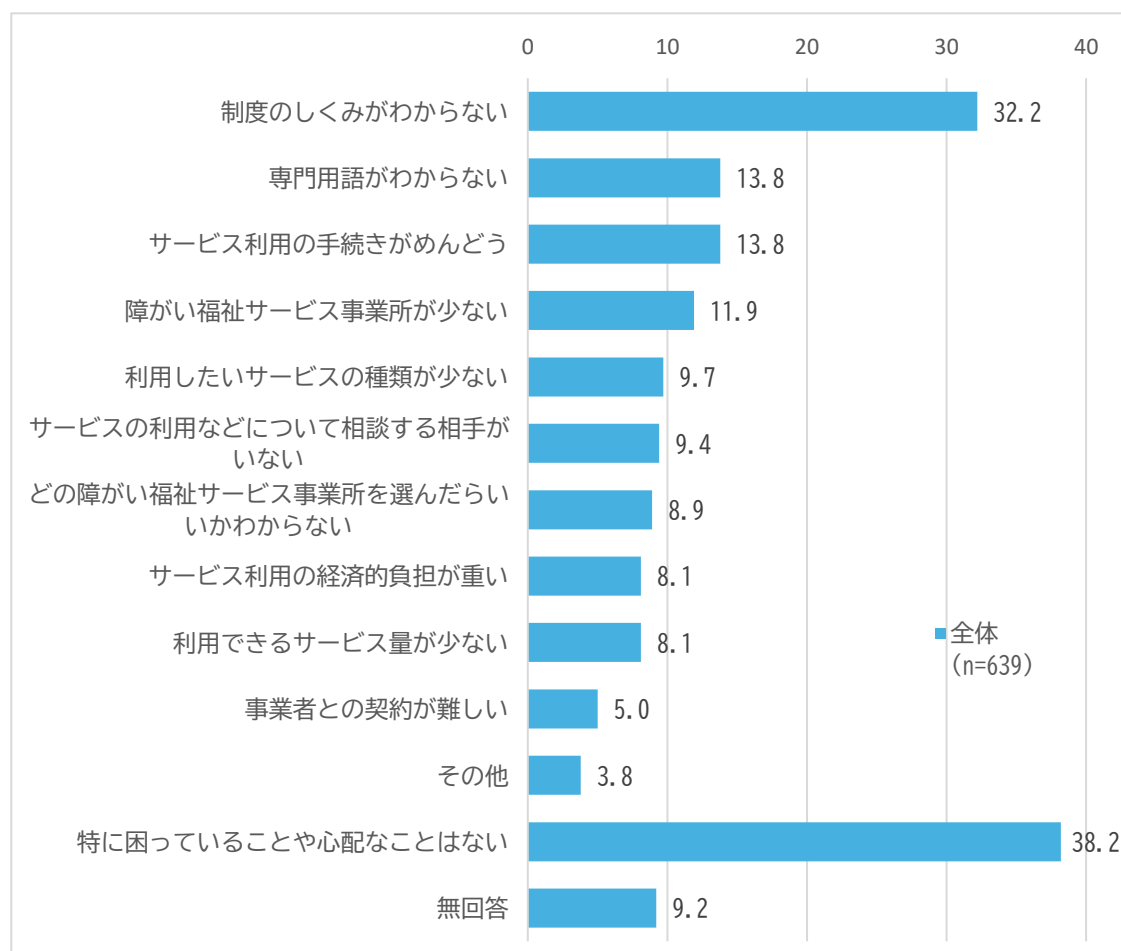
年齢別にみると、上位3つの選択肢である「就労したいができない」「一人で外出することができない」「日常生活や社会生活の訓練が必要」は年代が低いほど回答が多い一方、「特に困っていることはない」は年代が高いほど多い傾向にあります。

居住地区別にみると、「真野地区」「赤泊地区」では「就労したいができない」が他の地区に比べ高くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「精神障害者保健福祉手帳」保有者では「就労したいができない」が他に比べやや多くなっています。

（２）福祉サービスの利用で困っていること

問13 現在、障害者総合支援法に基づいた福祉サービスが行われていますが、困っていることや心配なことはありますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



福祉サービスの利用にあたって困っていることや心配なことを尋ねたところ、「制度の仕組みがわからない」が32.2%で最も多く、次いで「専門用語がわからない」「サービス利用の手続きが面倒」がそれぞれ13.8%、「障がい福祉サービス事業所が少ない」が11.9%などとなっています。

一方、「特に困っていることや心配なことはない」との回答も38.2%と4割近くを占めています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）												
			制度のしくみがわからない	専門用語がわからない	サービス利用の手続きがめんどう	障がい福祉サービス事業所が少ない	利用したいサービスの種類が少ない	サービスの利用などについて相談する相手がいない	どの障がい福祉サービス事業所を選んだらいいかわからない	サービス利用の経済的負担が重い	利用できるサービス量が少ない	事業者との契約が難しい	その他	特に困っていることや心配なことはない	無回答
全体		639	32.2	13.8	13.8	11.9	9.7	9.4	8.9	8.1	8.1	5.0	3.8	38.2	9.2
年齢別	18～29歳	81	40.7	19.8	16.0	27.2	13.6	13.6	8.6	9.9	12.3	7.4	6.2	37.0	3.7
	30～39歳	99	38.4	16.2	16.2	15.2	16.2	12.1	9.1	4.0	9.1	6.1	4.0	35.4	7.1
	40～49歳	123	30.9	17.1	17.9	13.0	8.1	8.9	11.4	8.9	8.1	5.7	1.6	33.3	11.4
	50～59歳	192	32.3	12.5	10.4	7.3	8.9	5.7	8.3	8.3	6.8	3.6	3.6	40.6	9.9
	60歳以上	134	23.9	6.7	11.9	5.2	5.2	10.4	7.5	9.0	6.7	4.5	4.5	42.5	10.4
居住地区別	両津地区	147	36.1	12.9	11.6	8.8	12.2	6.8	6.1	8.2	8.2	4.1	4.1	35.4	6.8
	相川地区	71	31.0	8.5	12.7	8.5	2.8	9.9	7.0	5.6	4.2	0.0	2.8	43.7	8.5
	佐和田地区	98	42.9	19.4	16.3	20.4	11.2	9.2	13.3	8.2	12.2	10.2	5.1	34.7	2.0
	金井地区	71	32.4	25.4	16.9	14.1	5.6	15.5	14.1	11.3	9.9	11.3	4.2	39.4	1.4
	新穂地区	81	17.3	8.6	8.6	6.2	8.6	2.5	3.7	8.6	4.9	1.2	2.5	32.1	33.3
	畑野地区	38	28.9	13.2	13.2	7.9	7.9	7.9	10.5	7.9	5.3	0.0	2.6	50.0	7.9
	真野地区	61	39.3	11.5	24.6	21.3	19.7	19.7	11.5	6.6	11.5	8.2	8.2	34.4	1.6
	小木地区	21	33.3	9.5	9.5	0.0	4.8	9.5	4.8	9.5	0.0	4.8	0.0	52.4	9.5
	羽茂地区	20	20.0	10.0	15.0	5.0	10.0	5.0	10.0	10.0	5.0	0.0	0.0	40.0	5.0
	赤泊地区	16	31.3	12.5	12.5	31.3	12.5	18.8	18.8	12.5	18.8	6.3	0.0	43.8	6.3
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	30.3	8.5	10.4	9.5	10.0	6.6	10.0	11.4	10.0	4.3	4.3	41.2	6.6
	療育手帳(知的障がい)	224	23.7	16.5	13.4	21.0	11.6	6.7	7.1	6.3	10.3	6.3	4.0	34.8	16.5
	精神障害者保健福祉手帳	192	42.2	15.6	17.2	9.9	11.5	17.2	8.9	7.3	5.2	5.7	4.2	32.8	6.3
	持っていない	48	29.2	12.5	12.5	4.2	6.3	2.1	12.5	6.3	6.3	0.0	2.1	56.3	6.3

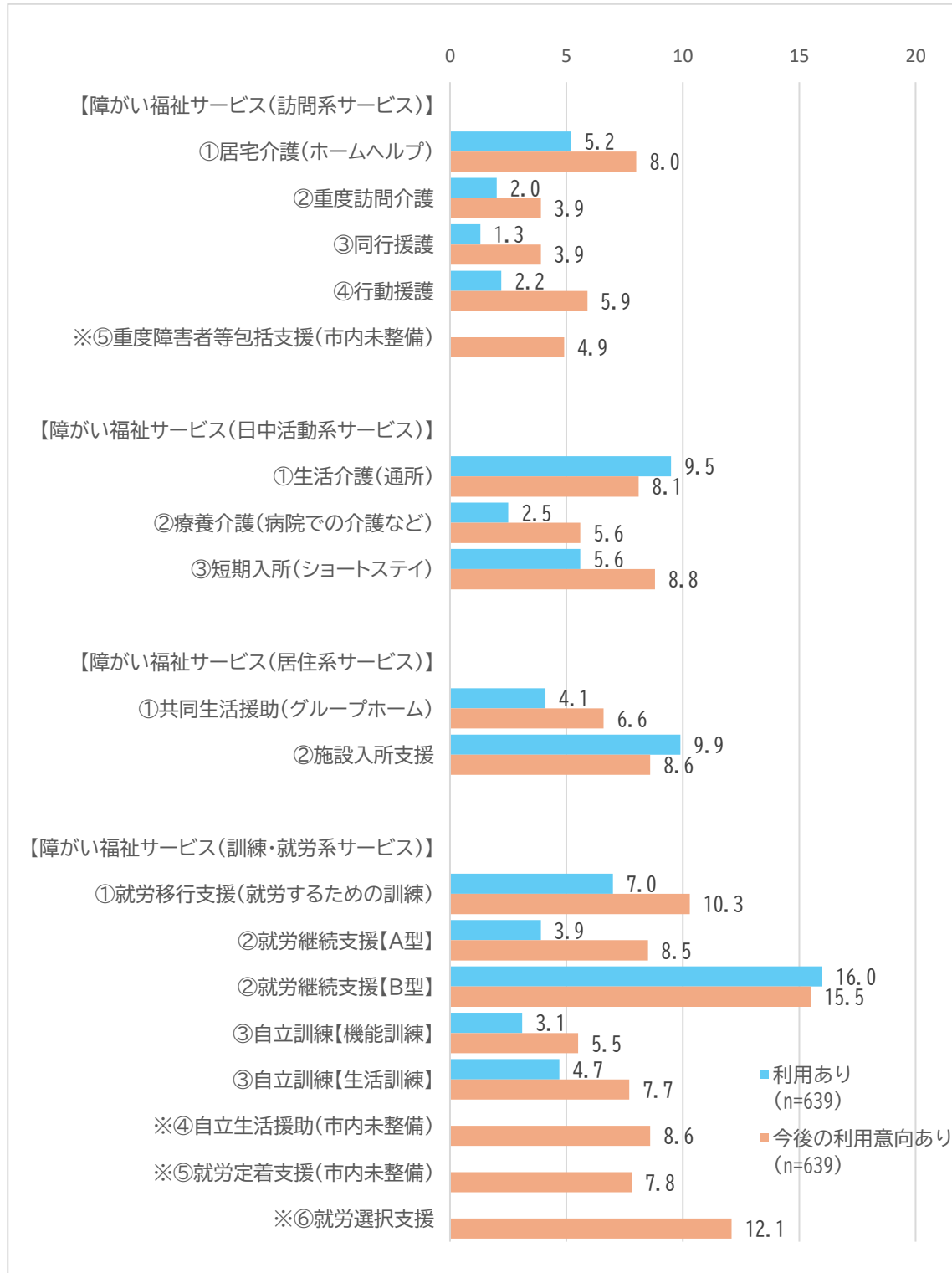
年齢別にみると、「制度のしくみがわからない」「専門用語がわからない」「福祉サービス事業所が少ない」「利用したいサービスの種類が少ない」などは年代が低いほど回答率が高い一方、「特に困っていることや心配なことはない」は年齢が高くなるほど回答率が高い傾向にあります。

居住地区別にみると、「赤泊地区」では「障がい福祉サービス事業所が少ない」「どの障がい福祉サービス事業所選んだらいいかわからない」「利用できるサービス量が少ない」などが他地区に比べやや多くなっています。

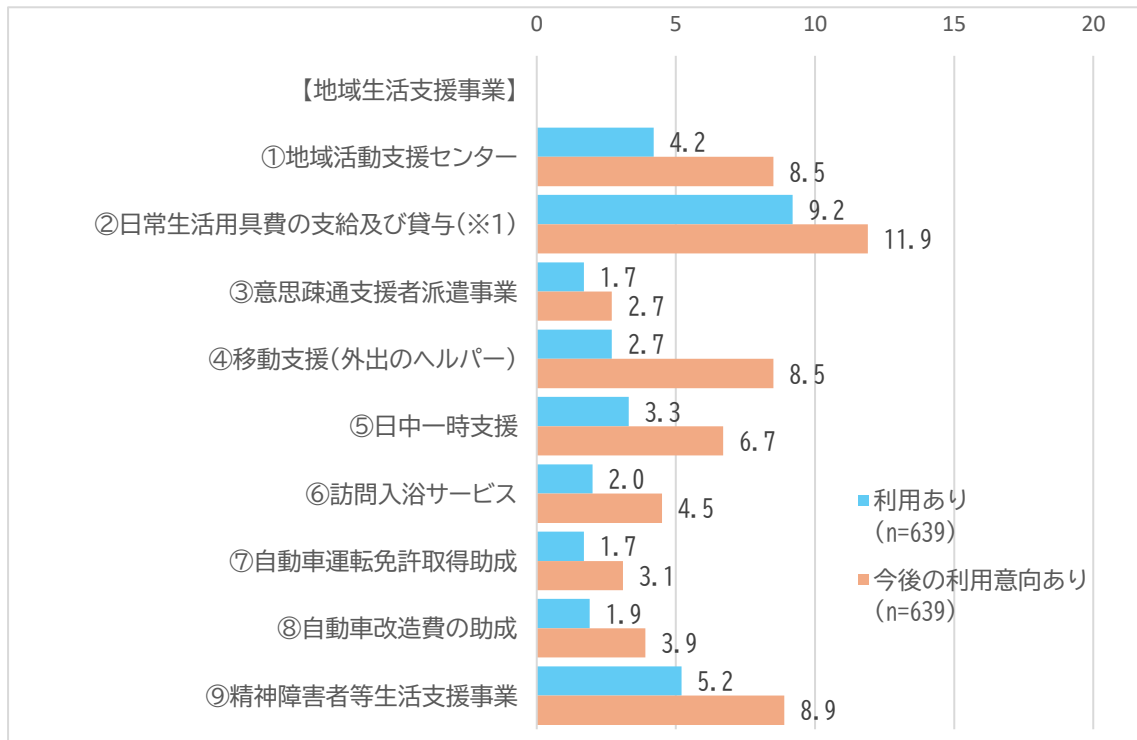
障害者手帳保有状況別にみると、「療育手帳（知的障がい）」保有者では「障がい福祉サービス事業所が少ない」など、「精神障害者保健福祉手帳」保有者では「制度のしくみがわからない」が他に比べやや多くなっています。

(3) 障がい福祉サービスの利用状況と今後の利用意向

問14 佐渡市の次の各障がい福祉サービスについて、サービスごとの利用の有無と今後の利用意向について、それぞれ該当の番号1つに○をつけてください。なお、現在佐渡市で実施していないサービスについては、今後サービスを開始した場合の利用意向をお答えください。



※「重度障害者等包括支援」「自立生活援助」「就労定着支援」は現在未実施、「就労選択支援」は令和7年10月から開始されたサービスのため、利用の有無は質問していない



現在の利用状況で「利用あり」の割合をみると、最も多い「就労継続支援【B型】」が16.0%で、以下「施設入所支援」が9.9%、「生活介護（通所）」が9.5%、「日常生活用具費の支給及び貸与」が9.2%などとなっており、23事業中全体的に利用率は低くなっています。

今後については、「就労継続支援【B型】」のほか、訓練・就労系サービスの利用意向が全般に高くなっています。

<クロス結果>

○利用の有無② - 1

		回答者数（n）	利用の有無「ある」の割合（％）											
			①居宅介護 （ホームヘルプ）	②重度訪問介護	③同行援護	④行動援護	①生活介護 （通所）	②療養介護 （病院での介護など）	③短期入所 （ショートステイ）	①共同生活援助 （グループホーム）	②施設入所支援	①就労移行支援 （就労するための訓練）	②就労継続支援〔A型〕	②就労継続支援〔B型〕
全体		639	5.2	2.0	1.3	2.2	9.5	2.5	5.6	4.1	9.9	7.0	3.9	16.0
年 齢 別	18～29歳	81	0.0	0.0	0.0	2.5	11.1	0.0	8.6	1.2	4.9	9.9	3.7	33.3
	30～39歳	99	3.0	1.0	0.0	0.0	8.1	3.0	6.1	4.0	7.1	12.1	6.1	21.2
	40～49歳	123	4.1	0.8	0.0	0.8	13.0	1.6	4.9	6.5	15.4	11.4	5.7	23.6
	50～59歳	192	6.3	2.1	2.1	4.2	10.4	2.1	4.2	4.2	11.5	3.6	2.6	9.9
	60歳以上	134	9.0	5.2	3.0	2.2	6.0	5.2	6.0	3.7	8.2	3.0	3.0	3.7
居 住 地 区 別	両津地区	147	3.4	2.0	0.7	1.4	4.1	1.4	6.1	2.0	2.0	8.2	4.1	13.6
	相川地区	71	2.8	0.0	0.0	1.4	1.4	1.4	5.6	2.8	4.2	11.3	4.2	15.5
	佐和田地区	98	8.2	2.0	2.0	2.0	7.1	4.1	7.1	5.1	8.2	10.2	7.1	15.3
	金井地区	71	7.0	2.8	2.8	4.2	8.5	4.2	7.0	12.7	5.6	8.5	5.6	23.9
	新穂地区	81	0.0	2.5	2.5	4.9	38.3	1.2	2.5	2.5	48.1	3.7	3.7	17.3
	畑野地区	38	7.9	2.6	0.0	0.0	5.3	0.0	7.9	2.6	0.0	5.3	2.6	7.9
	真野地区	61	6.6	1.6	1.6	1.6	3.3	1.6	6.6	4.9	3.3	4.9	1.6	21.3
	小木地区	21	4.8	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	9.5
	羽茂地区	20	20.0	5.0	0.0	5.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0	25.0
	赤泊地区	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	12.5
障 害 者 状 況 別 保 護	身体障害者手帳	211	6.2	5.7	2.4	1.9	10.0	3.8	8.1	2.4	8.5	3.3	0.9	4.7
	療育手帳(知的障がい)	224	4.5	0.9	1.3	3.1	21.0	3.6	10.3	8.5	21.4	11.2	4.5	31.7
	精神障害者保健福祉手帳	192	8.3	0.5	0.5	3.1	1.6	1.0	2.1	3.1	2.1	8.3	6.8	15.1
	持っていない	48	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	2.1	2.1	8.3	0.0	2.1	6.3

○利用の有無② - 2

		回答者数（n）	利用の有無「ある」の割合（％）										業⑨ 精神障害者等生活支援事
			③ 自立訓練 【機能訓練】	③ 自立訓練 【生活訓練】	① 地域活動支援センター	② 日常生活用具費の支給及び貸与	③ 意思疎通支援者派遣事業	④ 移動支援（外出のヘルパー）	⑤ 日中一時支援	⑥ 訪問入浴サービス	⑦ 自動車運転免許取得助成	⑧ 自動車改造費の助成	
全体		639	3.1	4.7	4.2	9.2	1.7	2.7	3.3	2.0	1.7	1.9	5.2
年齢別	18～29歳	81	1.2	1.2	2.5	6.2	0.0	2.5	9.9	0.0	0.0	0.0	4.9
	30～39歳	99	1.0	4.0	3.0	6.1	0.0	2.0	3.0	2.0	1.0	3.0	4.0
	40～49歳	123	3.3	5.7	6.5	7.3	2.4	1.6	2.4	0.8	2.4	0.8	8.9
	50～59歳	192	3.1	5.7	4.7	8.9	1.6	2.6	2.1	1.6	1.0	1.6	3.6
	60歳以上	134	6.0	5.2	3.7	16.4	3.7	4.5	2.2	5.2	3.0	3.0	4.5
居住地区別	両津地区	147	2.7	2.7	3.4	8.2	2.0	1.4	4.1	1.4	0.0	0.7	4.8
	相川地区	71	2.8	4.2	4.2	5.6	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	0.0	7.0
	佐和田地区	98	5.1	5.1	5.1	14.3	3.1	6.1	4.1	3.1	4.1	4.1	7.1
	金井地区	71	2.8	5.6	5.6	7.0	2.8	5.6	2.8	1.4	2.8	1.4	5.6
	新穂地区	81	6.2	8.6	4.9	9.9	2.5	3.7	6.2	1.2	1.2	1.2	3.7
	畑野地区	38	2.6	7.9	0.0	13.2	0.0	0.0	2.6	5.3	0.0	2.6	7.9
	真野地区	61	0.0	1.6	6.6	4.9	0.0	1.6	3.3	1.6	1.6	3.3	6.6
	小木地区	21	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	羽茂地区	20	0.0	5.0	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	5.0	0.0
	赤泊地区	16	6.3	12.5	12.5	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	5.7	4.7	3.3	20.9	3.3	2.8	3.8	5.2	2.8	4.3	0.5
	療育手帳(知的障がい)	224	3.1	6.3	5.8	6.7	0.9	3.6	6.3	1.8	1.3	1.3	7.1
	精神障害者保健福祉手帳	192	1.0	4.7	4.2	2.6	1.0	1.6	1.6	0.5	1.0	0.5	8.3
	持っていない	48	2.1	2.1	2.1	8.3	0.0	2.1	2.1	0.0	2.1	2.1	6.3

現在の利用状況を属性別にみると「就労継続支援【B型】」は年齢別では「18～29歳」、居住地区別では「羽茂地区」「金井地区」、障害者手帳保有状況別では「療育手帳(知的障がい)」保有者で多くなっています。また「施設入所支援」「生活介護（通所）」は年齢別では「40～49歳」、居住地区別では「新穂地区」、障害者手帳保有状況別では「療育手帳(知的障がい)」で多くなっています。

○今後の利用意向② - 1

		回答者数（n）	今後の利用意向「ある」の割合（％）													
			①居宅介護 （ホームヘルプ）	②重度訪問介護	③同行援護	④行動援護	⑤重度障害者等包括支援	①生活介護（通所）	②療養介護 （病院での介護など）	③短期入所 （ショートステイ）	①共同生活援助 （グループホーム）	②施設入所支援	①就労移行支援 （就労するための訓練）	②就労継続支援（A型）	②就労継続支援（B型）	③自立訓練（機能訓練）
全体		639	8.0	3.9	3.9	5.9	4.9	8.1	5.6	8.8	6.6	8.6	10.3	8.5	15.5	5.5
年齢別	18～29歳	81	3.7	1.2	2.5	14.8	7.4	12.3	4.9	14.8	14.8	8.6	21.0	19.8	32.1	4.9
	30～39歳	99	8.1	6.1	2.0	4.0	7.1	9.1	7.1	11.1	7.1	11.1	14.1	13.1	25.3	6.1
	40～49歳	123	5.7	1.6	1.6	4.1	2.4	5.7	4.1	6.5	4.1	5.7	10.6	6.5	17.9	1.6
	50～59歳	192	7.3	2.6	4.2	5.2	3.6	5.7	4.2	6.8	4.2	8.9	5.2	5.2	10.4	7.3
	60歳以上	134	13.4	8.2	7.5	5.2	6.0	10.4	9.0	8.2	6.7	9.7	8.2	5.2	3.7	6.7
居住地区別	両津地区	147	8.2	4.8	2.0	4.8	5.4	7.5	4.8	10.2	3.4	4.8	8.2	6.8	12.2	4.8
	相川地区	71	4.2	4.2	5.6	4.2	2.8	5.6	4.2	7.0	5.6	8.5	12.7	8.5	15.5	7.0
	佐和田地区	98	12.2	6.1	8.2	10.2	7.1	12.2	11.2	12.2	10.2	12.2	15.3	13.3	19.4	8.2
	金井地区	71	8.5	1.4	2.8	8.5	5.6	8.5	2.8	9.9	14.1	8.5	14.1	12.7	22.5	4.2
	新穂地区	81	0.0	0.0	3.7	4.9	2.5	4.9	6.2	4.9	2.5	13.6	4.9	4.9	12.3	8.6
	畑野地区	38	13.2	5.3	0.0	2.6	7.9	10.5	10.5	13.2	0.0	7.9	5.3	2.6	7.9	2.6
	真野地区	61	9.8	4.9	3.3	6.6	3.3	4.9	3.3	6.6	9.8	6.6	11.5	8.2	19.7	1.6
	小木地区	21	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	14.3	4.8	0.0
	羽茂地区	20	15.0	5.0	5.0	5.0	5.0	20.0	5.0	10.0	10.0	10.0	5.0	0.0	20.0	0.0
	赤泊地区	16	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	12.5	12.5	12.5	12.5	18.8	12.5
障害者 状況別 帳保	身体障害者手帳	211	9.5	7.1	4.7	3.3	7.1	11.4	8.5	10.4	5.2	12.3	6.2	5.2	6.6	9.0
	療育手帳(知的障がい)	224	8.5	4.5	4.0	10.7	7.1	12.1	7.1	14.7	12.1	14.3	13.8	6.7	29.0	4.9
	精神障害者保健福祉手帳	192	9.4	1.0	2.1	5.7	1.6	4.2	3.1	4.7	4.7	3.6	13.5	15.6	16.7	4.7
	持っていない	48	2.1	4.2	6.3	4.2	4.2	2.1	2.1	4.2	0.0	2.1	4.2	4.2	0.0	0.0

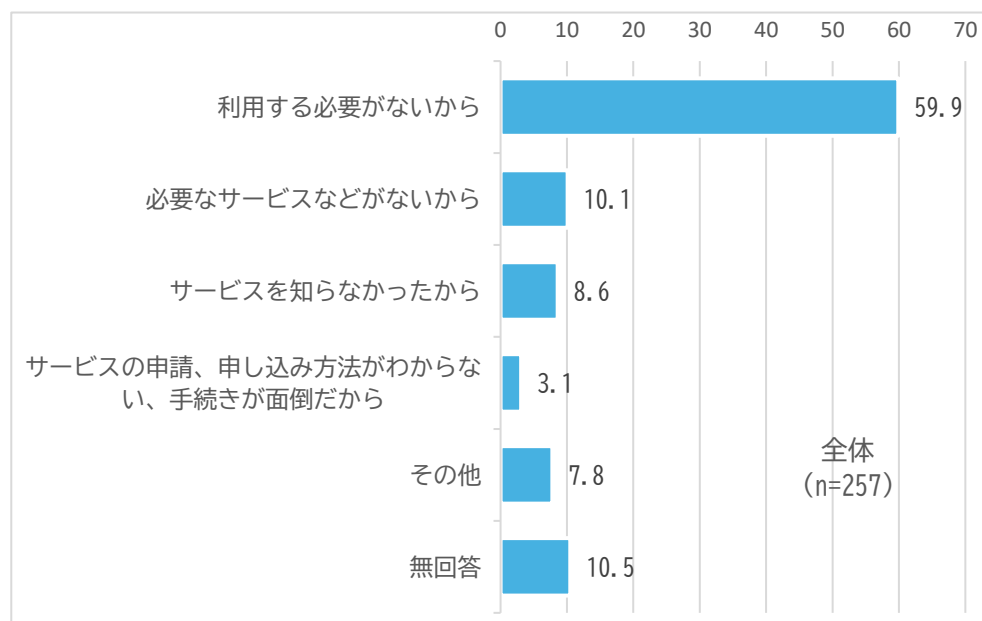
○今後の利用意向② - 2

		回答者数（n）	今後の利用意向「ある」の割合（％）												
			③自立訓練【生活訓練】	④自立生活援助	⑤就労定着支援	⑥就労選択支援	①地域活動支援センター	②日常生活用具費の支給及び貸与	③意思疎通支援者派遣事業	④移動支援（外出のヘルパー）	⑤日中一時支援	⑥訪問入浴サービス	⑦自動車運転免許取得助成	⑧自動車改造費の助成	⑨精神障害者等生活支援事業
全体		639	7.7	8.6	7.8	12.1	8.5	11.9	2.7	8.5	6.7	4.5	3.1	3.9	8.9
年齢別	18～29歳	81	17.3	14.8	17.3	28.4	16.0	7.4	2.5	14.8	16.0	3.7	2.5	1.2	17.3
	30～39歳	99	9.1	9.1	11.1	15.2	9.1	12.1	1.0	6.1	6.1	6.1	3.0	6.1	12.1
	40～49歳	123	4.1	9.8	9.8	13.0	7.3	6.5	2.4	5.7	4.1	3.3	4.1	0.8	8.9
	50～59歳	192	7.3	7.3	3.6	7.3	4.7	12.5	2.1	7.3	3.6	3.6	1.6	3.6	5.7
	60歳以上	134	5.2	5.2	3.7	6.0	9.7	19.4	5.2	10.4	8.2	6.0	3.7	6.7	6.0
居住地区別	両津地区	147	3.4	5.4	7.5	8.8	6.1	10.2	2.7	6.1	6.1	3.4	0.0	2.0	11.6
	相川地区	71	11.3	8.5	11.3	18.3	5.6	7.0	1.4	5.6	5.6	2.8	5.6	2.8	5.6
	佐和田地区	98	8.2	14.3	10.2	14.3	12.2	24.5	6.1	13.3	10.2	6.1	5.1	5.1	10.2
	金井地区	71	7.0	12.7	8.5	15.5	12.7	12.7	4.2	15.5	9.9	7.0	5.6	4.2	8.5
	新穂地区	81	11.1	3.7	1.2	6.2	7.4	11.1	1.2	3.7	6.2	2.5	1.2	1.2	4.9
	畑野地区	38	7.9	0.0	0.0	5.3	2.6	7.9	0.0	2.6	2.6	5.3	0.0	5.3	5.3
	真野地区	61	11.5	18.0	14.8	16.4	11.5	3.3	1.6	9.8	6.6	3.3	1.6	4.9	16.4
	小木地区	21	0.0	4.8	4.8	14.3	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5
	羽茂地区	20	5.0	0.0	0.0	10.0	10.0	15.0	0.0	10.0	5.0	5.0	15.0	10.0	0.0
	赤泊地区	16	12.5	18.8	18.8	25.0	18.8	25.0	0.0	18.8	6.3	12.5	6.3	18.8	6.3
障害者手帳別 状況別 保護	身体障害者手帳	211	7.1	5.7	3.8	7.6	8.1	25.6	4.7	10.4	8.1	7.6	5.2	8.5	1.9
	療育手帳(知的障がい)	224	12.5	10.3	9.8	14.7	9.8	7.1	2.2	10.7	8.9	4.5	3.1	1.8	8.9
	精神障害者保健福祉手帳	192	6.3	11.5	12.0	17.2	10.4	6.8	2.1	7.8	6.3	3.6	2.1	2.1	18.2
	持っていない	48	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	6.3	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	6.3	6.3

今後の利用意向を年齢別にみると、「18～29 歳」では訓練・就労系サービスを中心に、全般に利用意向が高くなっている一方、「50～59 歳」「60 歳以上」の世代では、サービス全般に利用意向が低くなっています。

(4) サービスを利用していない理由

問15 問14で「利用の有無」すべてに「2 ない」と答えた方にお聞きします。 利用していない理由は何ですか。(1つだけ○をつけてください)

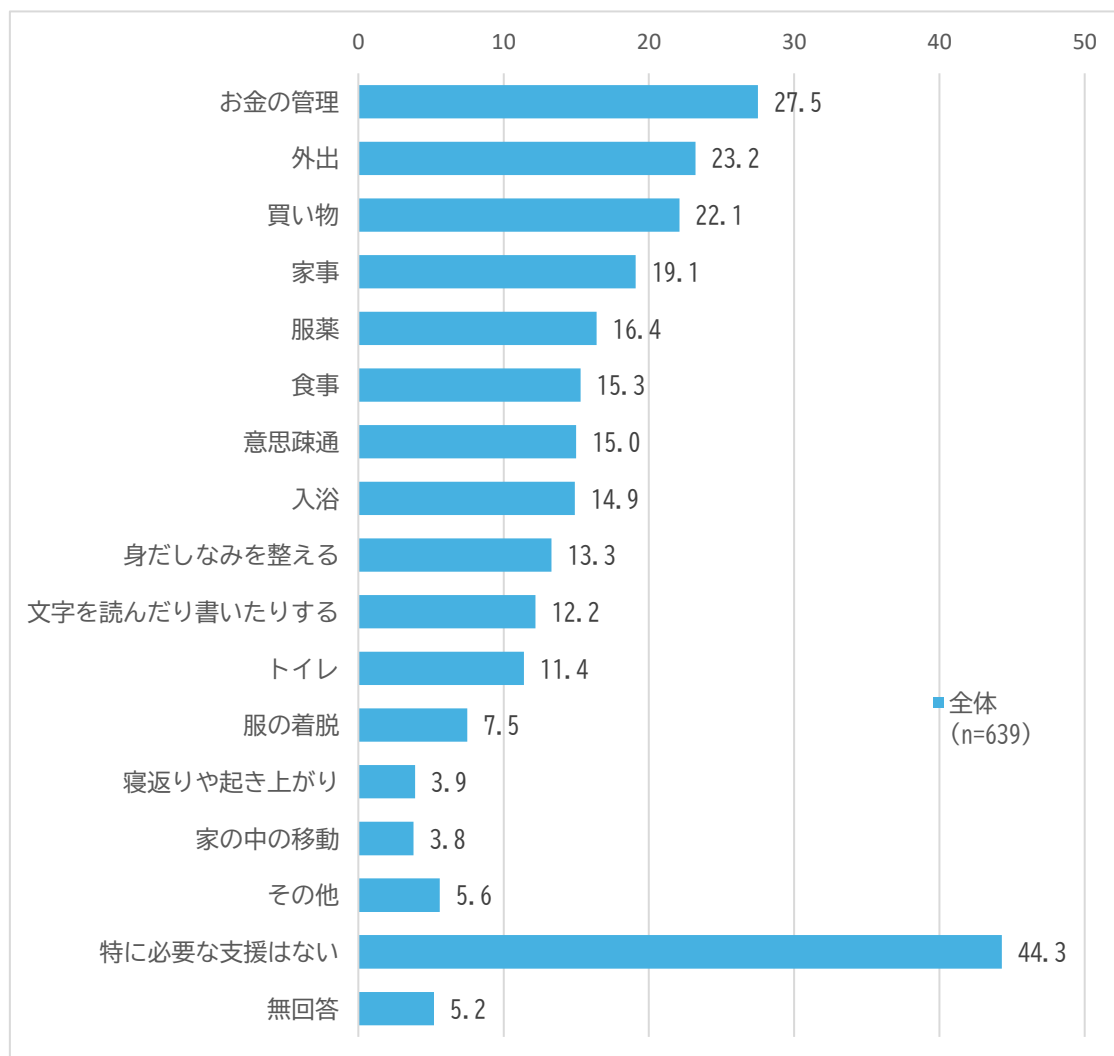


サービスを利用していない理由は、「利用する必要があるから」が59.9%で最も多く、次いで「必要なサービス等がないから」が10.1%、「サービスを知らなかったから」が8.6%などとなっています。

5 生活の状況について

(1) 現在の生活に必要な支援

問16 あなたの現在の生活で、必要な支援は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



現在の生活に必要な支援について尋ねたところ、「特に必要な支援はない」が44.3%で最も多くなっています。

一方、必要な支援の内容では「お金の管理」が27.5%、次いで「外出」が23.2%、「買い物」が22.1%、「家事」が19.1%などとなっています。

＜クロス結果＞

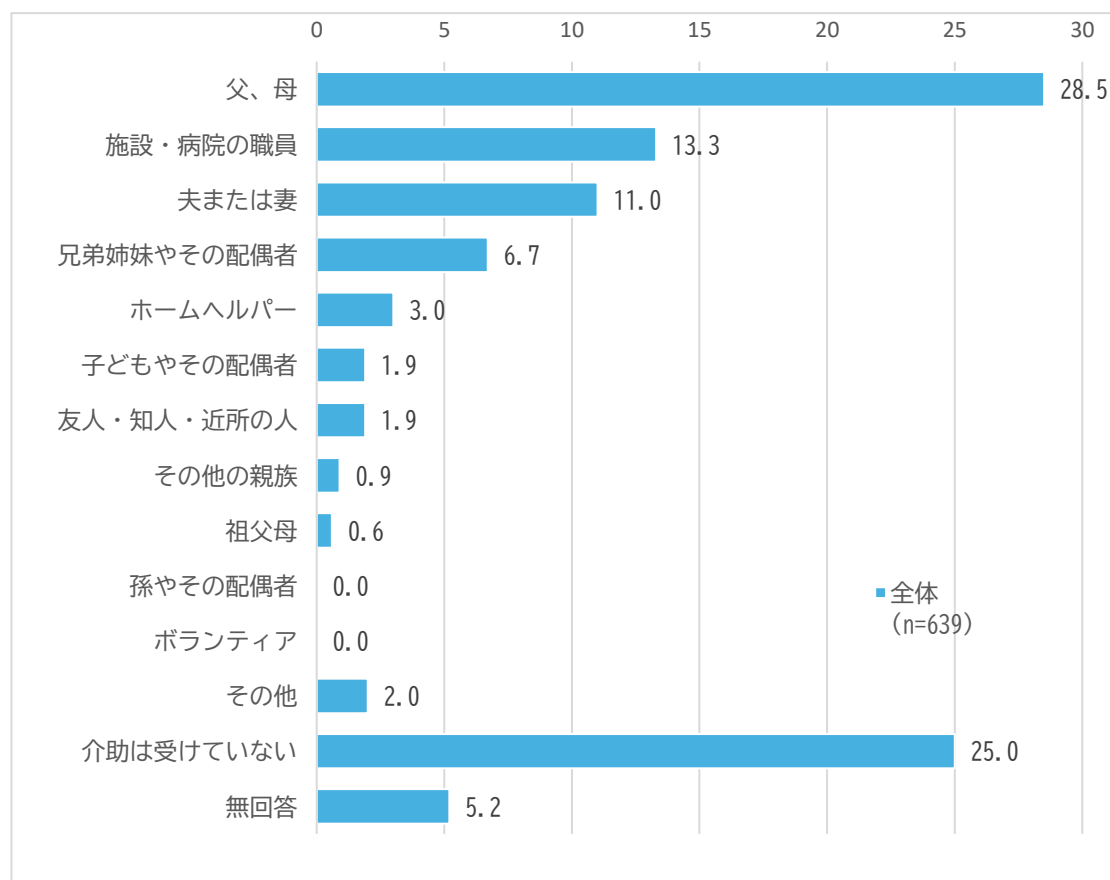
		回答者数 (n)	回答率(%)																
			お金の管理	外出	買い物	家事	服薬	食事	意思疎通	入浴	身だしなみを整える	文字を読んだり書いたりする	トイレ	服の着脱	がりがり寝返りや起き上がり	家の中の移動	その他	特に必要な支援はない	無回答
全体		639	27.5	23.2	22.1	19.1	16.4	15.3	15.0	14.9	13.3	12.2	11.4	7.5	3.9	3.8	5.6	44.3	5.2
年齢別	18～29歳	81	42.0	29.6	30.9	33.3	18.5	18.5	23.5	14.8	18.5	17.3	12.3	7.4	1.2	2.5	6.2	40.7	0.0
	30～39歳	99	30.3	25.3	16.2	24.2	17.2	14.1	20.2	12.1	13.1	15.2	8.1	5.1	3.0	4.0	6.1	47.5	4.0
	40～49歳	123	34.1	25.2	18.7	16.3	18.7	19.5	15.4	15.4	12.2	8.9	13.8	6.5	3.3	3.3	6.5	35.8	6.5
	50～59歳	192	26.0	22.9	26.6	15.1	16.1	15.1	12.0	16.1	14.1	10.9	13.0	9.9	4.7	3.6	6.8	43.8	4.7
	60歳以上	134	14.2	16.4	17.9	15.7	13.4	11.9	11.2	14.9	11.2	11.9	9.7	7.5	6.0	5.2	3.0	51.5	8.2
居住地区別	両津地区	147	21.1	18.4	18.4	21.1	12.9	10.9	9.5	12.9	8.8	11.6	9.5	7.5	2.0	4.8	8.8	47.6	4.1
	相川地区	71	19.7	15.5	11.3	15.5	9.9	8.5	16.9	7.0	5.6	14.1	1.4	1.4	0.0	1.4	1.4	47.9	5.6
	佐和田地区	98	25.5	17.3	24.5	22.4	11.2	11.2	11.2	9.2	10.2	8.2	8.2	7.1	6.1	5.1	5.1	44.9	6.1
	金井地区	71	33.8	25.4	22.5	18.3	14.1	9.9	12.7	8.5	8.5	14.1	8.5	5.6	5.6	2.8	1.4	43.7	2.8
	新穂地区	81	59.3	51.9	42.0	21.0	46.9	50.6	35.8	45.7	40.7	16.0	33.3	16.0	6.2	3.7	4.9	23.5	1.2
	畑野地区	38	15.8	10.5	10.5	15.8	5.3	2.6	13.2	7.9	10.5	7.9	10.5	5.3	5.3	5.3	7.9	52.6	10.5
	真野地区	61	26.2	23.0	24.6	21.3	11.5	11.5	11.5	8.2	11.5	14.8	6.6	4.9	1.6	1.6	6.6	42.6	8.2
	小木地区	21	9.5	4.8	4.8	9.5	9.5	4.8	14.3	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	81.0	0.0
	羽茂地区	20	25.0	30.0	25.0	20.0	15.0	10.0	5.0	15.0	5.0	20.0	10.0	10.0	5.0	0.0	0.0	50.0	5.0
	赤泊地区	16	25.0	25.0	25.0	12.5	18.8	12.5	12.5	18.8	12.5	18.8	18.8	12.5	0.0	12.5	18.8	31.3	6.3
	障害者手帳保有状況別																		
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	16.1	26.5	23.2	17.5	13.3	14.2	12.3	19.4	13.7	13.3	16.6	14.2	10.4	8.5	6.6	49.8	5.2
	療育手帳(知的障がい)	224	53.1	35.7	32.1	26.8	29.5	27.2	22.8	25.0	22.3	22.8	20.1	11.6	4.5	4.9	2.7	30.8	6.3
	精神障害者保健福祉手帳	192	20.8	15.1	15.1	16.1	11.5	9.9	15.1	5.7	9.9	3.1	3.6	1.6	0.5	1.0	8.9	45.8	3.6
	持っていない	48	12.5	10.4	14.6	18.8	6.3	6.3	2.1	6.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	58.3	6.3

年齢別にみると、「18～29 歳」では「お金の管理」「家事」などが他の年代に比べ多くなっています。

居住地区別にみると、「新穂地区」で、障害者手帳保有状況別では「療育手帳（知的障がい）」保有者で、「お金の管理」「外出」をはじめとして、大半の項目で支援が必要との回答が多くなっています。

(2) 主な介助者

問17 あなたの主な介助者（支援者）は、どなたですか。（1つだけ○をつけてください）



主な介助者については、「父、母」が28.5%で最も多く、次いで「施設・病院の職員」が13.3%、「夫または妻」が11.0%となっています。

また、「介助は受けていない」も25.0%と比較的多くなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）											
			父、母	施設・病院の職員	夫または妻	配偶者 兄弟姉妹やその	ホームヘルパー	子どもやその配偶者	友人・知人・近所の人	その他の親族	祖父母	その他	介護は受けていない	無回答
全体		639	28.5	13.3	11.0	6.7	3.0	1.9	1.9	0.9	0.6	2.0	25.0	5.2
年齢別	18～29歳	81	59.3	6.2	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.7	1.2	24.7	0.0
	30～39歳	99	46.5	12.1	3.0	2.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	27.3	7.1
	40～49歳	123	35.0	15.4	8.1	7.3	1.6	1.6	3.3	0.8	0.0	4.1	18.7	4.1
	50～59歳	192	18.2	16.7	10.9	7.8	5.7	3.1	0.5	1.0	0.5	2.6	27.1	5.7
	60歳以上	134	5.2	12.7	23.9	10.4	3.7	3.0	4.5	1.5	0.0	1.5	28.4	5.2
居住地区別	両津地区	147	32.0	6.8	12.9	5.4	0.7	2.0	2.7	1.4	0.7	4.1	26.5	4.8
	相川地区	71	23.9	4.2	9.9	11.3	7.0	1.4	1.4	1.4	1.4	2.8	29.6	5.6
	佐和田地区	98	31.6	10.2	6.1	6.1	7.1	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	29.6	6.1
	金井地区	71	35.2	8.5	14.1	4.2	1.4	2.8	2.8	1.4	1.4	0.0	25.4	2.8
	新穂地区	81	18.5	53.1	9.9	6.2	1.2	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	7.4	1.2
	畑野地区	38	28.9	2.6	13.2	2.6	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	31.6	15.8
	真野地区	61	37.7	6.6	11.5	4.9	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	3.3	24.6	4.9
	小木地区	21	19.0	4.8	9.5	9.5	0.0	0.0	9.5	0.0	4.8	4.8	38.1	0.0
	羽茂地区	20	25.0	5.0	15.0	25.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	赤泊地区	16	18.8	6.3	12.5	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3	31.3	6.3
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	19.0	11.4	17.5	5.7	1.4	4.7	2.4	0.9	0.5	2.4	30.8	3.3
	療育手帳(知的障がい)	224	36.6	25.0	2.2	6.7	1.3	0.9	0.9	1.3	1.3	1.8	14.3	7.6
	精神障害者保健福祉手帳	192	36.5	6.8	11.5	7.8	5.7	0.0	2.6	1.0	0.5	1.6	22.4	3.6
	持っていない	48	10.4	12.5	12.5	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	45.8	8.3

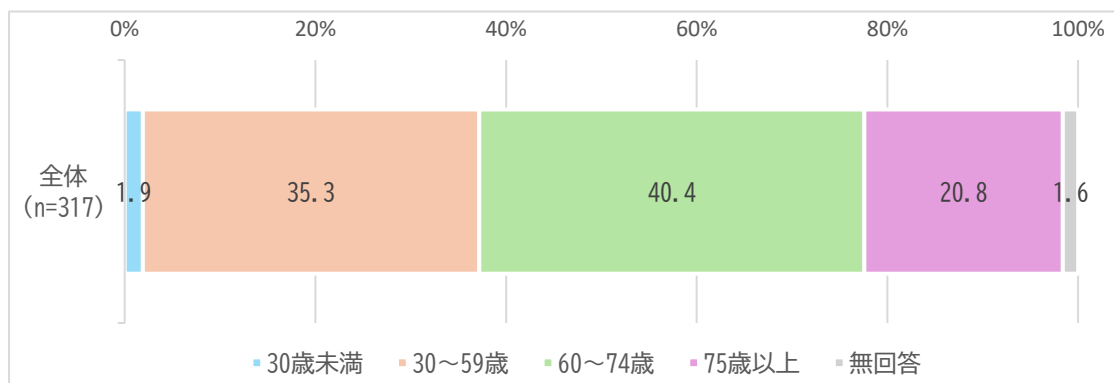
年齢別にみると、年代が若いほど「父、母」の割合が高く、年代が高くなるほど「夫または妻」「兄弟姉妹やその配偶者」などの割合が高くなっています。

居住地区別にみると、「新穂地区」で「施設・病院の職員」の割合が53.1%と特に多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「療育手帳（知的障がい）」保有者で「施設・病院の職員」の割合がやや高くなっています。

（３）主な介助者の年齢

問18 問17で「１～７」のいずれかと答えた方にお聞きします。主な介助者（支援者）は何歳ですか。（1つだけ○をつけてください）



主な介助者（支援者）の年齢については、「60～74歳」が40.4%で最も多く、「75歳以上」（20.8%）と合わせ、60歳以上の割合が約6割となっています。一方、「30～59歳」は35.3%、「30歳未満」は1.9%で、59歳以下は4割弱となっています。

<クロス結果>

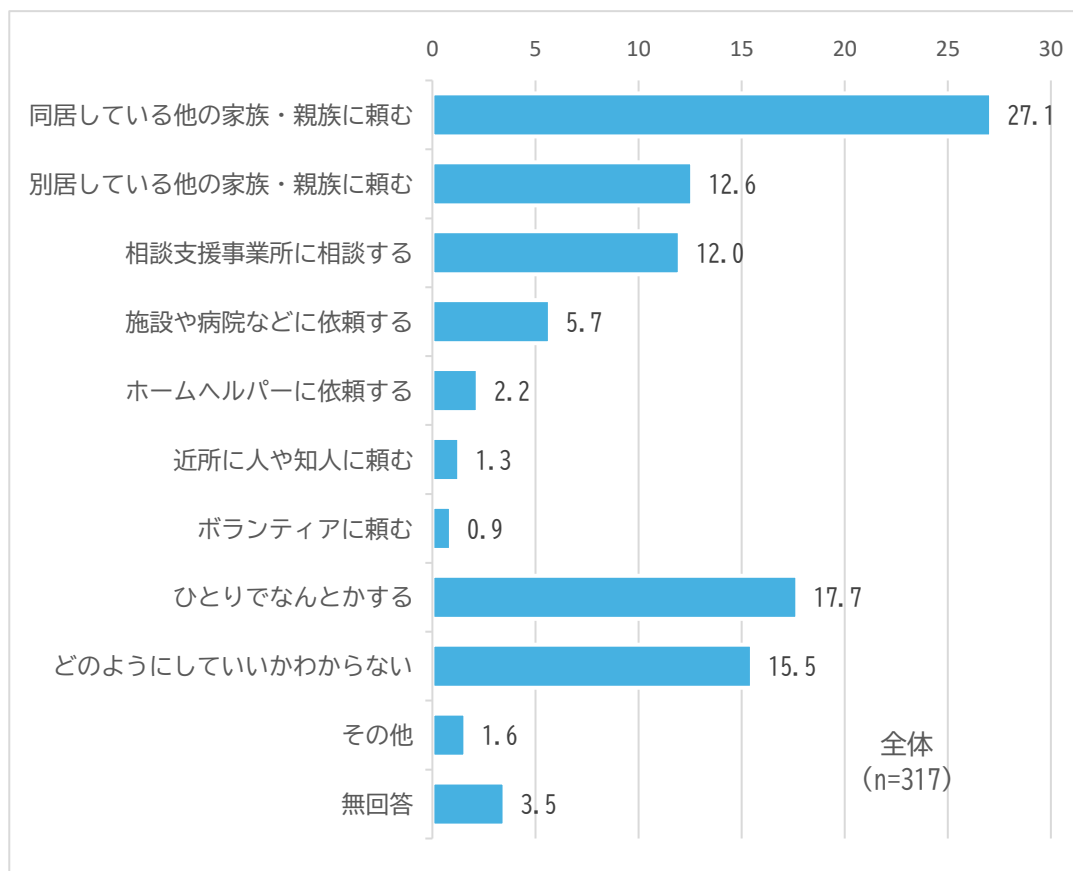
		回答者数 (n)	回答率(%)				
			30歳未満	30～59歳	60～74歳	75歳以上	無回答
全体		317	1.9	35.3	40.4	20.8	1.6
年齢別	18～29歳	55	3.6	60.0	29.1	5.5	1.8
	30～39歳	51	0.0	19.6	78.4	0.0	2.0
	40～49歳	65	1.5	29.2	32.3	35.4	1.5
	50～59歳	80	2.5	45.0	16.3	33.8	2.5
	60歳以上	59	1.7	16.9	62.7	18.6	0.0
居住地区別	両津地区	80	2.5	28.8	42.5	23.8	2.5
	相川地区	35	2.9	28.6	31.4	34.3	2.9
	佐和田地区	44	2.3	36.4	38.6	20.5	2.3
	金井地区	42	0.0	47.6	35.7	16.7	0.0
	新穂地区	30	0.0	46.7	33.3	20.0	0.0
	畑野地区	17	0.0	35.3	47.1	17.6	0.0
	真野地区	35	2.9	34.3	48.6	14.3	0.0
	小木地区	9	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	羽茂地区	13	0.0	23.1	69.2	0.0	7.7
	赤泊地区	8	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0
保障 有害 状況 者 況 手 別 帳	身体障害者手帳	102	2.9	36.3	42.2	17.6	1.0
	療育手帳(知的障がい)	110	0.0	34.5	43.6	20.0	1.8
	精神障害者保健福祉手帳	110	1.8	33.6	40.9	21.8	1.8
	持っていない	13	7.7	30.8	30.8	30.8	0.0

年齢別にみると、「30～39歳」「60歳以上」の年代では「60～74歳」の割合が多くなっています。また、「40～49歳」「50～59歳」の年代では「75歳以上」の割合が3割台半ばと比較的多くなっています。

居住地区別にみると、「相川地区」「小木地区」で「75歳以上」の割合が比較的多くなっています。

(4) 主な介助者が介助できないときの対応

問19 問17で「1～7」のいずれかと答えた方にお聞きします。主な介助者（支援者）が介助（支援）できないときはどうしますか。（1つだけ○をつけてください）



主な介助者（支援者）が介助（支援）できないときの対応については、「同居している他の家族・親族に頼む」が27.1%で最も多く、次いで「別居している他の家族・親族に頼む」（12.6%）、「相談支援事業所に相談する」（12.0%）などとなっています。

一方、他に頼める介助者（支援者）がおらず、「ひとりでなんとかする」（17.7%）、「どのようにしていいかわからない」（15.5%）とする回答も比較的多くなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（%）										
			族同居・親族に頼む	別居している他の家族・親族に頼む	相談支援事業所に相談する	施設や病院などに依頼する	ホームヘルパーに依頼する	近所に人や知人に頼む	ボランティアに頼む	ひとりでなんとかする	どのようなにしていかわからない	その他	無回答
全体		317	27.1	12.6	12.0	5.7	2.2	1.3	0.9	17.7	15.5	1.6	3.5
年齢別	18～29歳	55	32.7	16.4	16.4	7.3	0.0	0.0	0.0	16.4	7.3	1.8	1.8
	30～39歳	51	29.4	13.7	11.8	7.8	0.0	0.0	0.0	13.7	13.7	2.0	7.8
	40～49歳	65	24.6	13.8	16.9	6.2	1.5	3.1	1.5	12.3	18.5	0.0	1.5
	50～59歳	80	21.3	5.0	7.5	2.5	3.8	1.3	1.3	31.3	18.8	3.8	3.8
	60歳以上	59	30.5	15.3	10.2	6.8	3.4	1.7	1.7	10.2	16.9	0.0	3.4
居住地区別	両津地区	80	26.3	7.5	13.8	10.0	2.5	0.0	0.0	20.0	12.5	3.8	3.8
	相川地区	35	20.0	14.3	17.1	8.6	2.9	2.9	0.0	11.4	20.0	0.0	2.9
	佐和田地区	44	18.2	11.4	11.4	6.8	0.0	2.3	2.3	29.5	13.6	0.0	4.5
	金井地区	42	33.3	19.0	7.1	7.1	0.0	2.4	0.0	19.0	11.9	0.0	0.0
	新穂地区	30	30.0	16.7	10.0	3.3	3.3	3.3	3.3	10.0	20.0	0.0	0.0
	畑野地区	17	35.3	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	23.5	17.6	0.0	0.0
	真野地区	35	28.6	20.0	11.4	0.0	0.0	0.0	2.9	5.7	22.9	2.9	5.7
	小木地区	9	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0
	羽茂地区	13	23.1	0.0	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	15.4	7.7	15.4
	赤泊地区	8	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5
障害者 状況別 手帳保	身体障害者手帳	102	33.3	13.7	11.8	2.9	2.9	1.0	2.0	16.7	11.8	2.0	2.0
	療育手帳(知的障がい)	110	34.5	12.7	16.4	8.2	1.8	0.9	0.0	4.5	14.5	0.9	5.5
	精神障害者保健福祉手帳	110	14.5	12.7	10.9	5.5	2.7	1.8	0.9	29.1	16.4	2.7	2.7
	持っていない	13	38.5	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	30.8	0.0	0.0

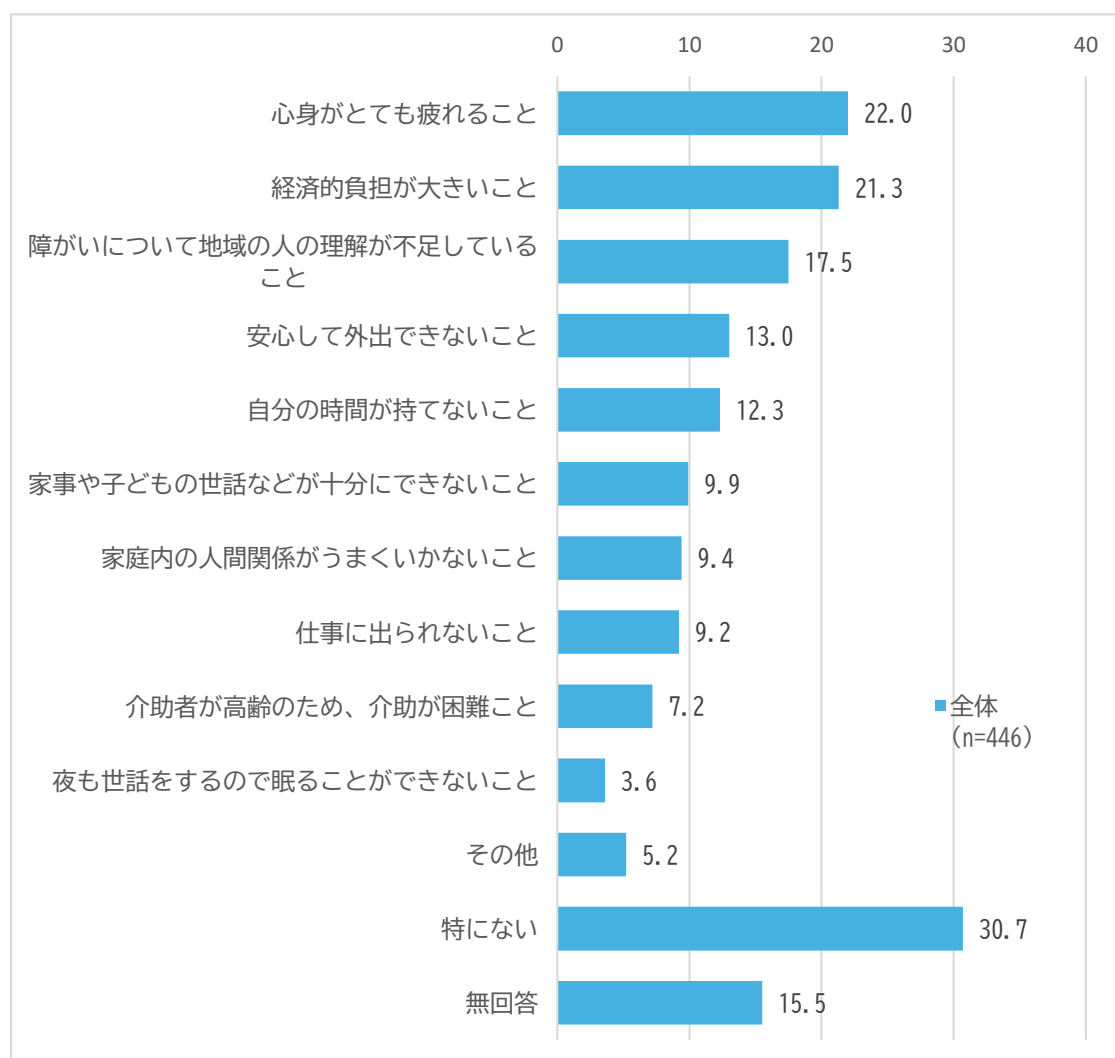
年齢別にみると、「50～59 歳」では「ひとりでなんとかする」が他の年代に比べ多くなっています。

居住地区別にみると、「小木地区」「佐和田地区」では「ひとりでなんとかする」がやや高くなっています。

障害者手帳保有者別にみると、「精神障害者保健福祉手帳」保有者で「ひとりでなんとかする」がやや高くなっています。

（５）主な介助者が困っていると思うこと

問20 問17で「１～12」のいずれかと答えた方にお聞きします。あなたは、主な介助者（支援者）がどんなことで困っていると思いますか。障がいのあるご本人代わって家族や介助者の方がお答えいただく場合は、ご自分の感想でご記入ください。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



主な介助者（支援者）がどのようなことで困っていると思うかを尋ねたところ、「特にない」が30.7%最も多くなっています。

一方、困っていると思う内容については、「心身がとても疲れること」が22.0%で最も多く、次いで「経済的負担が大きいこと」が21.3%、「障がいについて地域の人の理解が不足していること」が17.5%などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）												
			心身がとても疲れること	経済的負担が大きいこと	障がいについて地域の人の理解が不足していること	安心して外出できないこと	自分の時間が持てないこと	家事や子どもの世話などが十分にできないこと	家庭内の人間関係がうまくいかないこと	仕事に出られないこと	介助者が高齢のため、介助が困難なこと	夜も世話をするので眠ることができないこと	その他	特にない	無回答
全体		446	22.0	21.3	17.5	13.0	12.3	9.9	9.4	9.2	7.2	3.6	5.2	30.7	15.5
年齢別	18～29歳	61	29.5	29.5	23.0	16.4	18.0	14.8	9.8	13.1	3.3	3.3	8.2	21.3	4.9
	30～39歳	65	24.6	21.5	15.4	26.2	15.4	16.9	10.8	13.8	7.7	4.6	7.7	24.6	12.3
	40～49歳	95	23.2	20.0	18.9	10.5	9.5	7.4	11.6	6.3	10.5	2.1	5.3	24.2	25.3
	50～59歳	129	17.8	20.9	16.3	11.6	10.9	7.8	7.0	6.2	7.8	3.1	3.1	34.9	15.5
	60歳以上	89	20.2	16.9	14.6	6.7	12.4	6.7	9.0	10.1	5.6	5.6	4.5	43.8	13.5
居住地区別	両津地区	101	22.8	21.8	16.8	16.8	14.9	8.9	11.9	8.9	8.9	5.0	6.9	40.6	8.9
	相川地区	46	13.0	17.4	15.2	6.5	10.9	13.0	4.3	8.7	17.4	2.2	6.5	34.8	10.9
	佐和田地区	63	27.0	25.4	14.3	12.7	14.3	14.3	14.3	9.5	6.3	3.2	0.0	34.9	9.5
	金井地区	51	25.5	23.5	17.6	15.7	11.8	5.9	7.8	7.8	7.8	3.9	7.8	19.6	11.8
	新穂地区	74	16.2	14.9	12.2	5.4	6.8	6.8	9.5	2.7	2.7	2.7	2.7	24.3	40.5
	畑野地区	20	25.0	35.0	25.0	20.0	20.0	10.0	5.0	15.0	0.0	10.0	10.0	35.0	0.0
	真野地区	43	34.9	23.3	25.6	20.9	14.0	9.3	7.0	9.3	2.3	2.3	2.3	23.3	11.6
	小木地区	13	30.8	15.4	38.5	7.7	15.4	15.4	7.7	15.4	15.4	0.0	7.7	15.4	7.7
	羽茂地区	16	6.3	12.5	12.5	18.8	6.3	6.3	6.3	12.5	0.0	6.3	6.3	37.5	12.5
	赤泊地区	10	20.0	50.0	40.0	10.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	10.0	20.0	10.0
障害者 状況別 手帳保	身体障害者手帳	139	22.3	25.2	14.4	12.2	15.1	12.2	6.5	12.9	10.1	7.2	6.5	33.1	12.2
	療育手帳(知的障がい)	175	18.9	11.4	16.0	14.9	10.3	8.6	7.4	9.7	5.7	4.0	6.3	29.1	21.7
	精神障害者保健福祉手帳	142	26.8	27.5	21.8	11.3	10.6	9.2	15.5	5.6	5.6	0.7	3.5	30.3	10.6
	持っていない	22	18.2	18.2	4.5	9.1	13.6	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	27.3	27.3

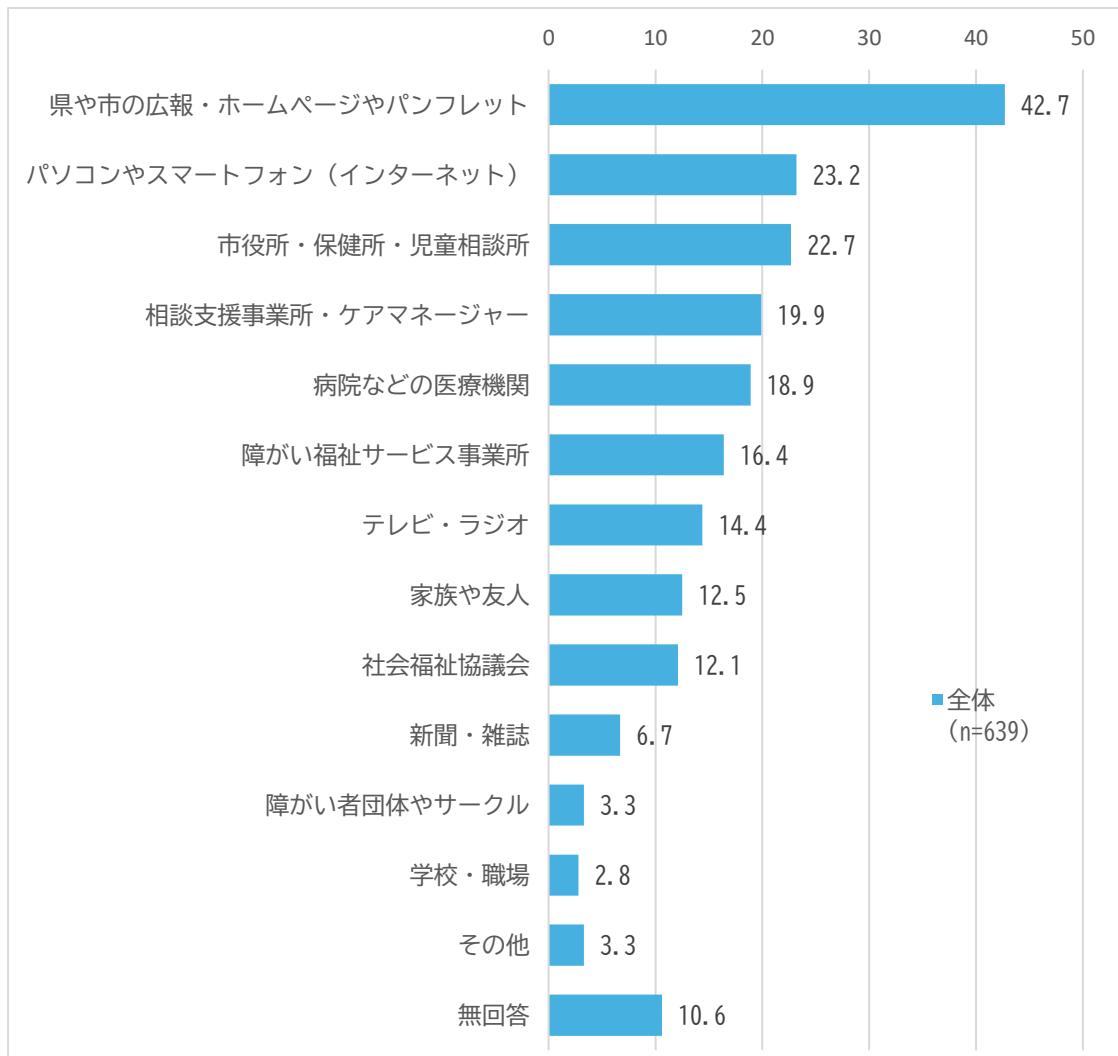
年齢別にみると、「特にない」の回答割合は年齢が高くなるほど総じて多くなっています。一方、「心身がとても疲れること」「経済的負担が大きいこと」「障がいについて地域の人の理解が不足していること」などは年代が若いほど回答割合が高い傾向がみられます。

居住地区別にみると、「赤泊地区」では「経済的負担が大きいこと」「障がいについて地域の人の理解が不足していること」「仕事に出られないこと」などが他の地区に比べて多くなっています。

6 情報や相談について

(1) 福祉に関する情報の入手方法

問21 福祉に関する情報をどこで得ますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



福祉に関する情報の入手方法については、「県や市の広報・ホームページやパンフレット」が 42.7%で最も多く、次いで「パソコンやスマートフォン (インターネット)」が 23.2%、「市役所・保健所・児童相談所」が 22.7%などとなっています。

<クロス結果>

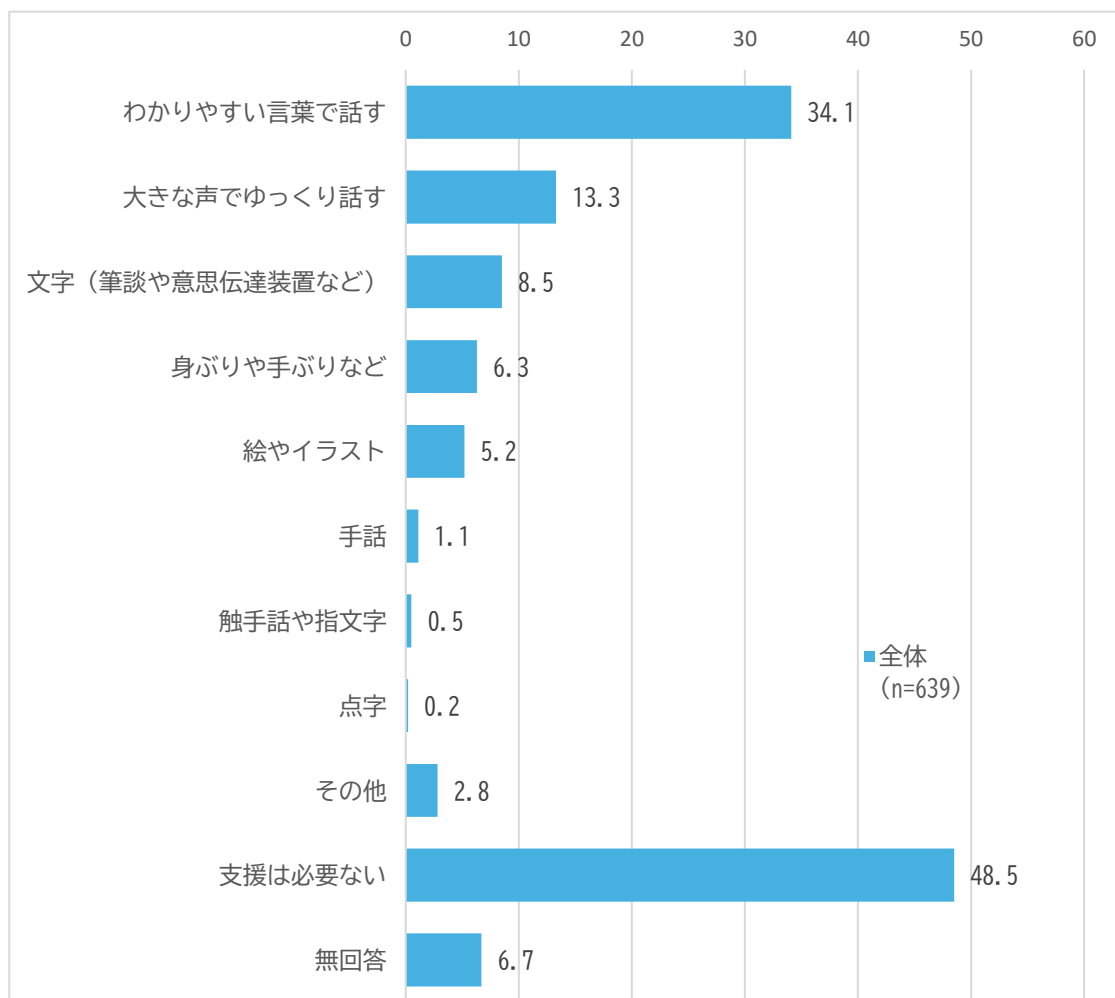
		回答者数（n）	回答率（%）													
			県や市の広報・ホームページやパンフレット	パソコンやスマートフォン（インターネット）	談所役所・保健所・児童相談所	相談支援事業所・ケアマネジャー	病院などの医療機関	障がい福祉サービス事業所	テレビ・ラジオ	家族や友人	社会福祉協議会	新聞・雑誌	障がい者団体やサークル	学校・職場	その他	無回答
全体		639	42.7	23.2	22.7	19.9	18.9	16.4	14.4	12.5	12.1	6.7	3.3	2.8	3.3	10.6
年齢別	18～29歳	81	37.0	35.8	19.8	25.9	16.0	29.6	14.8	21.0	8.6	11.1	2.5	8.6	4.9	4.9
	30～39歳	99	51.5	26.3	23.2	18.2	19.2	19.2	15.2	14.1	9.1	6.1	1.0	3.0	0.0	8.1
	40～49歳	123	30.9	20.3	24.4	22.0	16.3	18.7	11.4	9.8	14.6	3.3	4.1	0.8	1.6	13.8
	50～59歳	192	44.3	20.8	23.4	21.4	20.8	13.5	14.6	10.4	10.4	5.2	2.6	2.1	3.6	12.0
	60歳以上	134	49.3	20.1	22.4	14.2	19.4	9.7	15.7	11.2	17.2	9.0	6.0	2.2	6.0	9.0
居住地区別	両津地区	147	41.5	25.9	23.1	19.0	20.4	13.6	11.6	15.0	11.6	5.4	3.4	2.0	3.4	8.2
	相川地区	71	38.0	15.5	28.2	16.9	9.9	16.9	4.2	5.6	21.1	2.8	0.0	1.4	7.0	11.3
	佐和田地区	98	49.0	24.5	19.4	28.6	24.5	18.4	20.4	14.3	13.3	7.1	4.1	4.1	5.1	2.0
	金井地区	71	45.1	22.5	23.9	18.3	25.4	19.7	18.3	11.3	5.6	5.6	4.2	5.6	4.2	5.6
	新穂地区	81	30.9	13.6	12.3	17.3	6.2	21.0	6.2	7.4	7.4	4.9	3.7	2.5	0.0	30.9
	畑野地区	38	44.7	21.1	21.1	18.4	18.4	7.9	7.9	10.5	7.9	2.6	0.0	0.0	2.6	10.5
	真野地区	61	52.5	24.6	27.9	26.2	18.0	23.0	18.0	13.1	14.8	13.1	6.6	4.9	1.6	4.9
	小木地区	21	38.1	42.9	28.6	4.8	28.6	4.8	9.5	23.8	9.5	14.3	0.0	4.8	0.0	19.0
	羽茂地区	20	30.0	25.0	30.0	20.0	20.0	25.0	40.0	15.0	25.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0
	赤泊地区	16	75.0	43.8	37.5	18.8	25.0	0.0	43.8	31.3	12.5	12.5	6.3	0.0	6.3	6.3
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	50.7	26.5	19.4	18.0	19.9	9.0	16.1	14.2	11.8	5.7	5.2	2.4	3.3	9.0
	療育手帳(知的障がい)	224	31.3	13.4	17.9	28.1	8.9	27.7	16.1	8.5	17.4	7.1	4.0	2.7	1.8	17.9
	精神障害者保健福祉手帳	192	46.9	29.2	27.1	18.8	27.6	15.1	13.5	14.6	8.3	5.7	1.6	2.6	4.2	6.3
	持っていない	48	39.6	22.9	31.3	2.1	22.9	8.3	14.6	14.6	6.3	12.5	0.0	6.3	4.2	10.4

年齢別にみると、「18～29 歳」では「パソコンやスマートフォン（インターネット）」「障がい福祉サービス事業所」が他の年代に比べ多くなっています。また「30～39 歳」では「県や市の広報・ホームページやパンフレット」がやや多くなっています。

居住地区別にみると、「赤泊地区」では「県や市の広報・ホームページ、パンフレット」「パソコンやスマートフォン（インターネット）」「テレビ・ラジオ」などをはじめとして、全般に回答率が高くなっています。

（２）コミュニケーションに必要な支援

問22 あなたが、コミュニケーションをとるとき、必要な支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



コミュニケーションをとるときに必要な支援を尋ねたところ、「支援は必要ない」が48.5%で最も高く、5割近くを占めています。

一方、必要な支援の内容では「わかりやすい言葉で話す」が34.1%、「大きな声でゆっくり話す」が13.3%などとなっています。

<クロス結果>

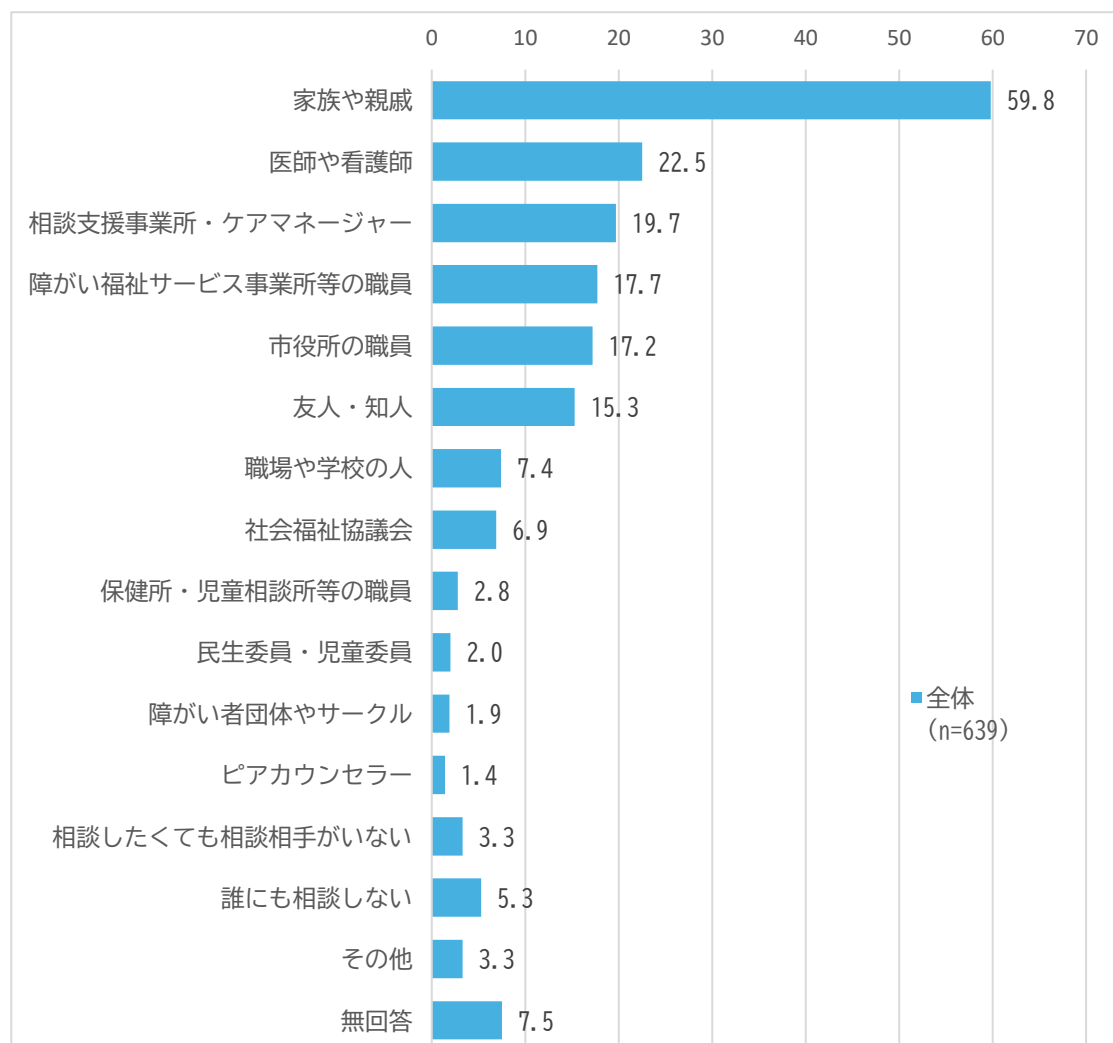
		回答者数（n）	回答率（％）										
			わかりやすい言葉で話す	大きな声でゆっくり話す	置文字（筆談や意思伝達装など）	身ぶりや手ぶりなど	絵やイラスト	手話	触手話や指文字	点字	その他	支援は必要ない	無回答
全体		639	34.1	13.3	8.5	6.3	5.2	1.1	0.5	0.2	2.8	48.5	6.7
年齢別	18～29歳	81	56.8	18.5	9.9	9.9	14.8	0.0	0.0	0.0	3.7	32.1	2.5
	30～39歳	99	38.4	10.1	9.1	3.0	7.1	1.0	0.0	0.0	4.0	45.5	5.1
	40～49歳	123	29.3	13.8	7.3	5.7	6.5	0.8	0.0	0.0	3.3	48.0	8.1
	50～59歳	192	33.3	11.5	6.8	8.9	2.6	1.0	0.5	0.5	1.6	54.7	5.7
	60歳以上	134	25.4	15.7	11.2	3.7	0.7	2.2	1.5	0.0	2.2	51.5	9.0
居住地区別	両津地区	147	26.5	12.2	9.5	8.2	5.4	1.4	0.7	0.0	0.7	55.8	5.4
	相川地区	71	26.8	14.1	8.5	1.4	1.4	1.4	1.4	0.0	2.8	50.7	12.7
	佐和田地区	98	32.7	8.2	11.2	2.0	4.1	1.0	0.0	0.0	3.1	53.1	6.1
	金井地区	71	38.0	15.5	8.5	4.2	5.6	0.0	0.0	0.0	2.8	46.5	4.2
	新穂地区	81	55.6	17.3	9.9	14.8	11.1	1.2	0.0	0.0	1.2	34.6	1.2
	畑野地区	38	31.6	21.1	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	47.4	10.5
	真野地区	61	37.7	14.8	6.6	4.9	6.6	1.6	1.6	1.6	9.8	37.7	8.2
	小木地区	21	28.6	14.3	9.5	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	57.1	9.5
	羽茂地区	20	50.0	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	40.0	5.0
	赤泊地区	16	25.0	18.8	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.3	6.3
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	22.3	15.6	10.0	5.7	3.3	2.8	0.9	0.0	3.3	56.4	6.2
	療育手帳(知的障がい)	224	55.4	16.1	10.3	11.2	9.8	0.9	0.4	0.4	1.8	25.9	8.5
	精神障害者保健福祉手帳	192	32.8	12.5	5.7	3.6	3.1	0.0	0.0	0.0	4.2	55.7	4.2
	持っていない	48	14.6	8.3	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	70.8	12.5

年齢別にみると、「わかりやすい言葉で話す」は総じて年代が若いほど多くなっています。一方、年代が高い層では「支援は必要ない」とする回答がやや多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「療育手帳（知的障がい）」保有者では「わかりやすい言葉で話す」が多くなっています。

(3) 困りごとなどの相談先

問23 あなたは、困ったことや相談したいとき、どこ（誰）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



困りごとなどの相談先については、「家族や親族」が59.8%で最も高くなっています。以下では「医師や看護師」(22.5%)、「相談支援事業所・ケアマネージャー」(19.7%)、「障がい福祉サービス事業所等の職員」(17.7%)、「市役所の職員」(17.2%) など、医療・福祉・行政機関が多くなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）															
			家族や親戚	医師や看護師	相談支援事業所・ケアマネージャー	障がい福祉サービス事業所等の職員	市役所の職員	友人・知人	職場や学校の人	社会福祉協議会	保健所・児童相談所等の職員	民生委員・児童委員	障がい者団体やサークル	ピアカウンセラー	相談したくても相談相手がいない	誰にも相談しない	その他	無回答
全体		639	59.8	22.5	19.7	17.7	17.2	15.3	7.4	6.9	2.8	2.0	1.9	1.4	3.3	5.3	3.3	7.5
年齢別	18～29歳	81	75.3	24.7	21.0	24.7	4.9	17.3	18.5	2.5	1.2	0.0	0.0	0.0	4.9	3.7	6.2	2.5
	30～39歳	99	62.6	20.2	17.2	17.2	12.1	12.1	4.0	2.0	1.0	0.0	0.0	1.0	3.0	9.1	0.0	7.1
	40～49歳	123	56.9	17.1	27.6	17.1	18.7	13.0	7.3	12.2	6.5	0.8	4.9	3.3	1.6	4.9	1.6	12.2
	50～59歳	192	49.5	24.0	21.4	18.2	21.9	14.6	7.8	8.9	3.6	3.6	2.6	0.5	4.7	6.8	4.2	7.8
	60歳以上	134	65.7	25.4	11.9	14.9	21.6	20.1	3.0	6.0	0.7	3.7	0.7	2.2	2.2	2.2	4.5	4.5
居住地区別	両津地区	147	66.0	18.4	19.7	19.7	17.0	18.4	6.1	6.1	2.0	2.0	1.4	2.0	2.7	7.5	3.4	2.7
	相川地区	71	60.6	25.4	14.1	18.3	21.1	8.5	4.2	9.9	5.6	4.2	1.4	1.4	5.6	5.6	4.2	5.6
	佐和田地区	98	57.1	30.6	29.6	21.4	24.5	18.4	8.2	12.2	4.1	1.0	2.0	4.1	0.0	5.1	5.1	3.1
	金井地区	71	60.6	33.8	21.1	15.5	15.5	23.9	14.1	2.8	1.4	1.4	1.4	0.0	4.2	2.8	1.4	2.8
	新穂地区	81	39.5	6.2	18.5	25.9	9.9	3.7	3.7	6.2	0.0	0.0	2.5	1.2	4.9	2.5	1.2	28.4
	畑野地区	38	65.8	34.2	13.2	0.0	28.9	18.4	5.3	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	10.5
	真野地区	61	62.3	24.6	21.3	18.0	13.1	13.1	11.5	8.2	6.6	3.3	4.9	0.0	4.9	6.6	4.9	4.9
	小木地区	21	52.4	23.8	14.3	4.8	9.5	28.6	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	4.8	4.8
	羽茂地区	20	85.0	5.0	15.0	25.0	15.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
	赤泊地区	16	62.5	12.5	25.0	6.3	18.8	6.3	12.5	6.3	6.3	12.5	6.3	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	64.9	24.6	16.6	13.3	21.3	17.1	4.7	5.7	2.4	2.4	3.3	0.9	2.4	6.2	2.4	6.2
	療育手帳(知的障がい)	224	47.8	9.8	29.5	31.3	13.8	6.7	8.0	11.6	3.1	1.3	2.2	0.4	2.2	2.7	2.7	15.2
	精神障害者保健福祉手帳	192	65.1	33.9	20.3	14.1	17.2	22.9	8.3	4.2	2.1	2.6	0.5	2.6	5.2	6.3	4.2	1.6
	持っていない	48	60.4	27.1	0.0	10.4	12.5	10.4	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	2.1	2.1	10.4	4.2	8.3

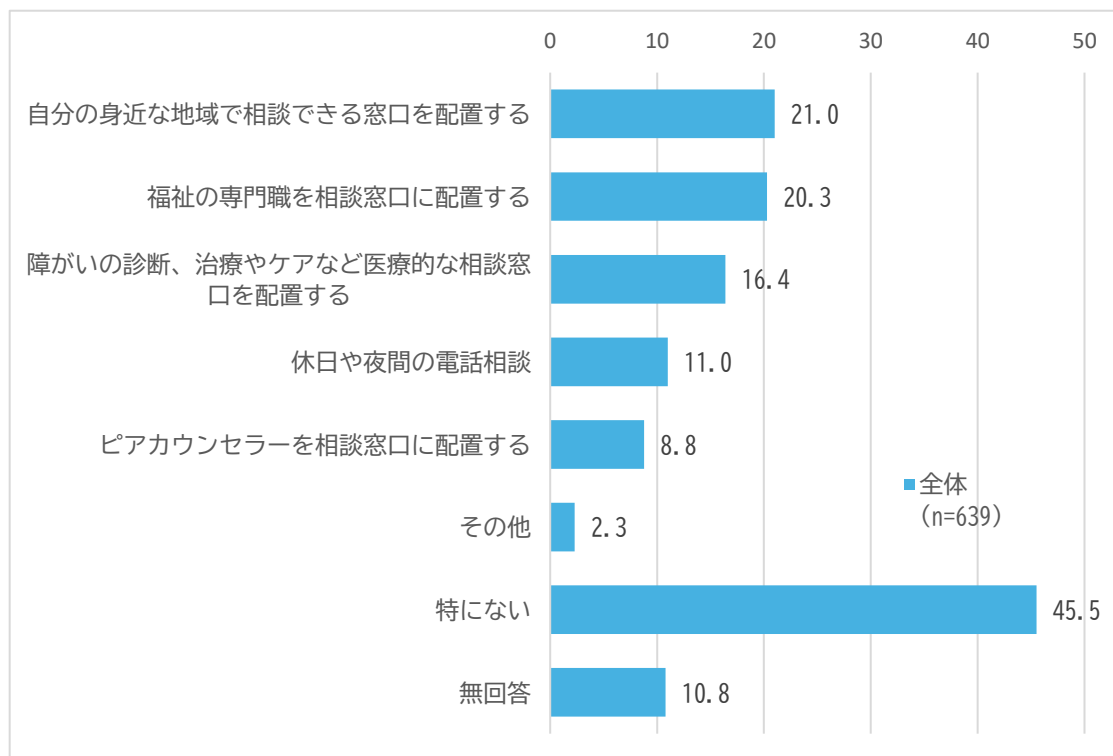
年齢別にみると、いずれの年代も「家族や親戚」が最も多くなっていますが、それ以外では「18～29歳」で「職場や学校の人」がやや多くなっています。

居住地区別でみると、「家族や親戚」以外では「金井地区」「畑野地区」で「医師や看護師」、「畑野地区」で「市役所の職員」などが多くなっています。

また、障害者手帳保有状況別にみると、「家族や親戚」以外では「療育手帳（知的障がい）」保有者で「障がい福祉サービス事業所等の職員」、「精神障害者保健福祉手帳」保有者で「医師や看護師」などが多くなっています。

(4) 相談支援体制への要望事項

問24 あなたが、相談支援体制について、希望することはなんですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



相談支援体制に対する要望を尋ねたところ、「特にない」が45.5%で最も多くなっています。

一方、要望事項の内容では、「自分の身近な地域で相談できる窓口を配置する」(21.0%)、「福祉の専門職を相談窓口配置する」(20.3%)、「障がいの診断、治療やケアなど医療的な相談窓口を配置する」(16.4%)などが多くなっています。

<クロス結果>

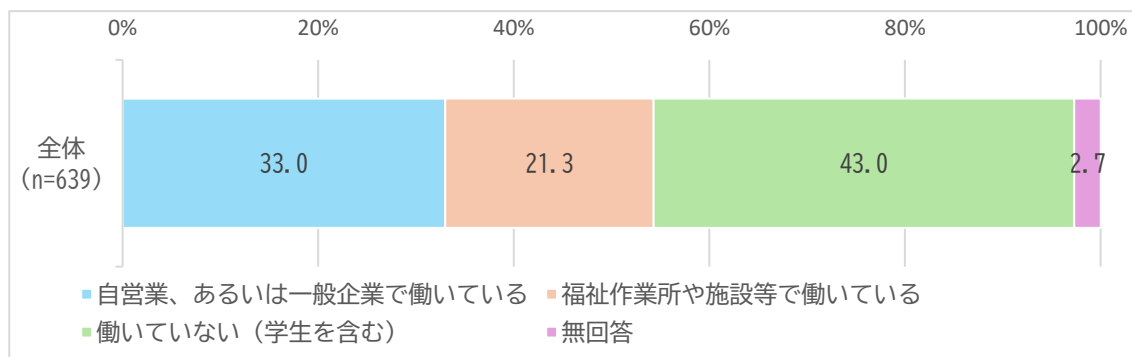
		回答者数（n）	回答率（％）							
			窓口を配置する	自分の身近な地域で相談できる	福祉の専門職を相談窓口配置する	障がい診断、治療やケアなど医療的な相談窓口を配置する	休日や夜間の電話相談	ピアカウンセラーを相談窓口配置する	その他	特にない
全体		639	21.0	20.3	16.4	11.0	8.8	2.3	45.5	10.8
年齢別	18～29歳	81	27.2	24.7	21.0	11.1	9.9	4.9	40.7	4.9
	30～39歳	99	21.2	18.2	19.2	16.2	10.1	4.0	47.5	7.1
	40～49歳	123	21.1	21.1	20.3	11.4	8.9	0.8	39.8	17.1
	50～59歳	192	22.4	18.8	14.1	9.4	7.8	1.6	47.9	10.9
	60歳以上	134	14.9	21.6	12.7	9.7	9.0	2.2	49.3	9.7
居住地区別	両津地区	147	17.0	19.7	12.2	14.3	6.8	2.7	49.0	6.1
	相川地区	71	25.4	15.5	16.9	8.5	9.9	1.4	46.5	12.7
	佐和田地区	98	24.5	23.5	17.3	13.3	14.3	2.0	49.0	6.1
	金井地区	71	21.1	21.1	22.5	11.3	8.5	0.0	43.7	4.2
	新穂地区	81	14.8	13.6	18.5	1.2	7.4	1.2	37.0	33.3
	畑野地区	38	10.5	31.6	18.4	10.5	10.5	2.6	34.2	10.5
	真野地区	61	26.2	29.5	21.3	18.0	6.6	8.2	39.3	8.2
	小木地区	21	33.3	19.0	9.5	0.0	4.8	0.0	61.9	4.8
	羽茂地区	20	35.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	赤泊地区	16	25.0	18.8	31.3	12.5	18.8	6.3	43.8	6.3
障害者状況別 手帳保有	身体障害者手帳	211	14.7	19.0	12.8	7.1	6.6	3.3	52.6	8.5
	療育手帳(知的障がい)	224	23.2	21.0	15.2	14.7	8.9	0.4	38.4	20.1
	精神障害者保健福祉手帳	192	26.0	22.9	24.0	14.1	12.0	3.6	41.1	4.7
	持っていない	48	12.5	12.5	4.2	2.1	2.1	2.1	62.5	10.4

居住地区別にみると、「羽茂地区」「小木地区」では「自分の身近な地域で相談できる窓口を配置する」が、「畑野地区」では「福祉の専門職を相談窓口配置する」が、「赤泊地区」では「障がいの診断、治療やケアなど医療的な相談窓口を配置する」がやや多くなっています。

7 就労状況について

(1) 現在の就労状況

問25 あなたの就労の状況について、お答えください。(1つだけ○をつけてください)



現在の就労状況については、「働いていない (学生を含む)」が43.0%で最も多く、次いで「自営業、あるいは一般企業で働いている」が33.0%、「福祉作業所や施設等で働いている」が21.3%となっています。

<クロス結果>

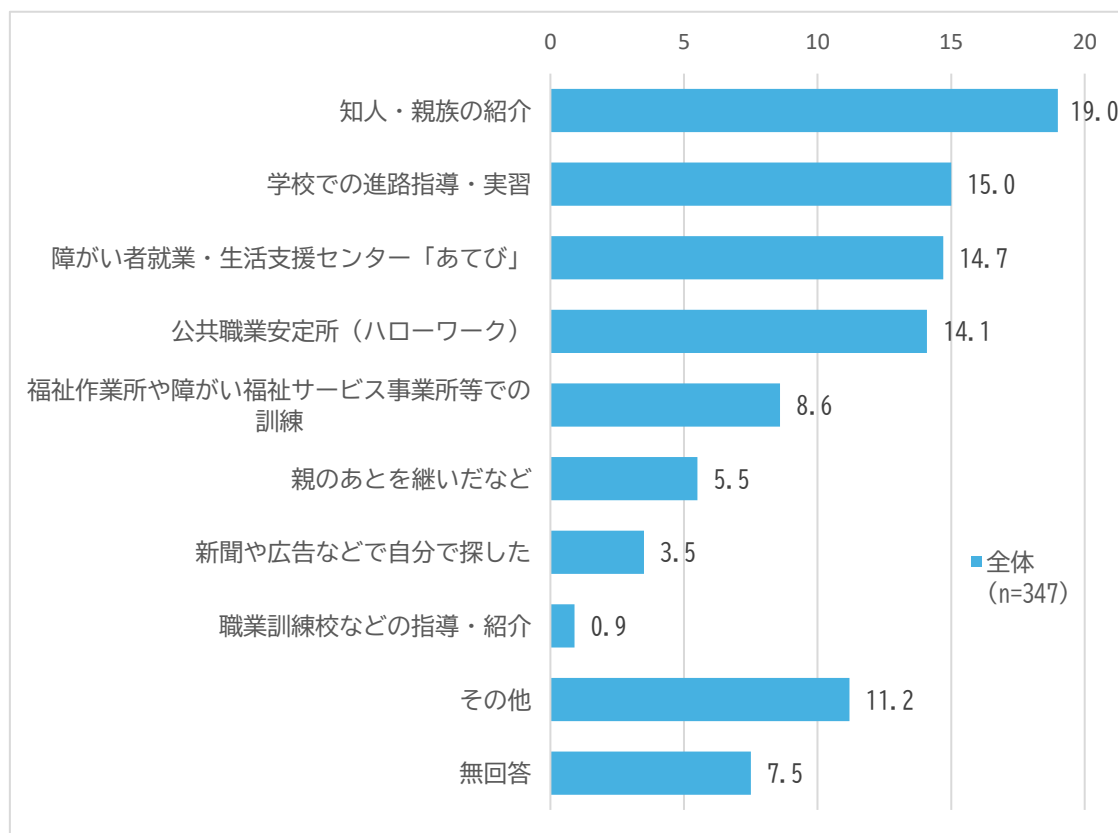
		回答者数 (n)	回答率(%)			
			自営業、 あるいは一般 企業で働いて いる	福祉作業所 や施設等で 働いている	働いていない (学生を含む)	無回答
全体		639	33.0	21.3	43.0	2.7
居住地区別	両津地区	147	37.4	20.4	38.8	3.4
	相川地区	71	31.0	22.5	42.3	4.2
	佐和田地区	98	36.7	18.4	41.8	3.1
	金井地区	71	35.2	31.0	33.8	0.0
	新穂地区	81	12.3	21.0	66.7	0.0
	畑野地区	38	42.1	15.8	34.2	7.9
	真野地区	61	27.9	27.9	41.0	3.3
	小木地区	21	66.7	9.5	23.8	0.0
	羽茂地区	20	30.0	30.0	40.0	0.0
	赤泊地区	16	37.5	12.5	43.8	6.3
障害者 状況別 手帳	身体障害者手帳	211	38.9	8.1	49.8	3.3
	療育手帳(知的障がい)	224	18.3	38.8	40.6	2.2
	精神障害者保健福祉手帳	192	36.5	20.8	40.6	2.1
	持っていない	48	43.8	10.4	39.6	6.3

居住地区別にみると、「小木地区」では「自営業、あるいは一般企業で働いている」、「新穂地区」では「働いていない (学生を含む)」がやや多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「療育手帳 (知的障がい)」保有者では「福祉作業所や施設等で働いている」の割合が多くなっています。

（２）現在の仕事に就いたきっかけ

問26 問25で「１ 自営業、あるいは一般企業で働いている」または「２ 福祉事業所や施設等で働いている」と答えた方にお聞きします。現在の仕事に就く主なきっかけは何ですか。（１つだけ○をつけてください）



現在の仕事に就いた主なきっかけとしては「知人・親族の紹介」が 19.0%で最も多く、次いで「学校での進路指導・実習」が 15.0%、「障がい者就業・生活支援センター『あてび』」が 14.7%、「公共職業安定所（ハローワーク）」が 14.1%などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）									
			知人・親族の紹介	学校での進路指導・実習	障がい者就業・生活支援センター「あてび」	公共職業安定所（ハローワーク）	福祉作業所や障がい福祉サービス事業所等での訓練	親のあとを継いだなど	新聞や広告などで自分で探した	職業訓練校などの指導・紹介	その他	無回答
全体		347	19.0	15.0	14.7	14.1	8.6	5.5	3.5	0.9	11.2	7.5
年齢別	18～29歳	55	7.3	47.3	10.9	12.7	3.6	1.8	3.6	1.8	7.3	3.6
	30～39歳	59	16.9	25.4	15.3	11.9	6.8	5.1	3.4	0.0	8.5	6.8
	40～49歳	71	16.9	11.3	23.9	8.5	19.7	2.8	2.8	0.0	8.5	5.6
	50～59歳	100	26.0	1.0	16.0	18.0	7.0	8.0	3.0	2.0	12.0	7.0
	60歳以上	60	23.3	3.3	3.3	18.3	5.0	6.7	5.0	0.0	20.0	15.0
居住地区別	両津地区	85	20.0	10.6	17.6	11.8	8.2	4.7	7.1	1.2	9.4	9.4
	相川地区	38	26.3	10.5	10.5	13.2	5.3	7.9	0.0	2.6	15.8	7.9
	佐和田地区	54	14.8	14.8	16.7	13.0	7.4	5.6	5.6	0.0	20.4	1.9
	金井地区	47	12.8	14.9	23.4	12.8	8.5	0.0	4.3	2.1	10.6	10.6
	新穂地区	27	22.2	7.4	14.8	18.5	18.5	0.0	3.7	0.0	0.0	14.8
	畑野地区	22	18.2	9.1	4.5	22.7	13.6	18.2	0.0	0.0	13.6	0.0
	真野地区	34	17.6	26.5	14.7	14.7	8.8	2.9	0.0	0.0	8.8	5.9
	小木地区	16	18.8	25.0	6.3	25.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	12.5
	羽茂地区	12	16.7	33.3	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3
	赤泊地区	8	37.5	25.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	99	20.2	10.1	3.0	25.3	4.0	7.1	3.0	2.0	21.2	4.0
	療育手帳（知的障がい）	128	9.4	30.5	19.5	7.8	17.2	3.1	1.6	0.0	0.0	10.9
	精神障害者保健福祉手帳	110	22.7	5.5	18.2	12.7	7.3	6.4	6.4	0.9	13.6	6.4
	持っていない	26	42.3	7.7	11.5	11.5	0.0	3.8	0.0	0.0	11.5	11.5

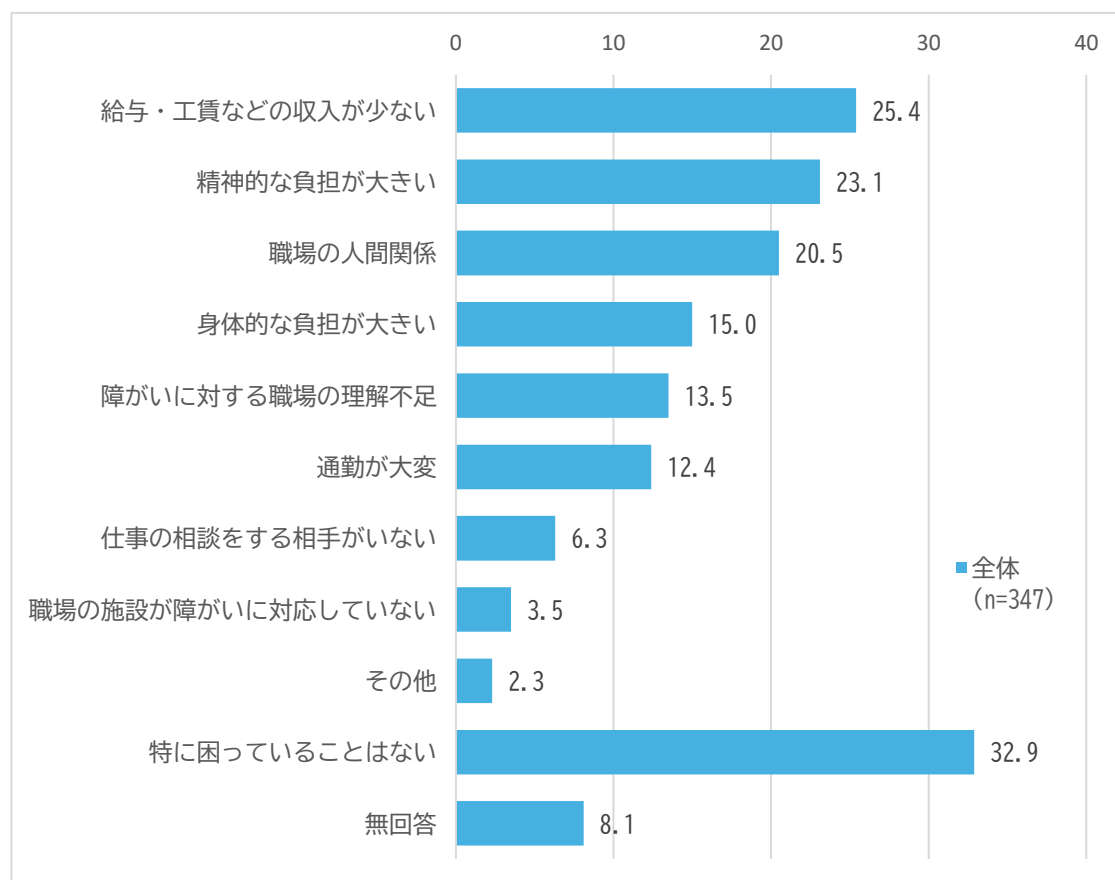
年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」では「学校での進路指導・実習」が多く、「40～49歳」では「障がい者就業・生活支援センター『あてび』」「福祉作業所や障がい福祉サービス事業所等での訓練」がやや多くなっています。

居住地区別にみると、「赤泊地区」では「知人・親族の紹介」「公共職業安定所（ハローワーク）」が、「羽茂地区」では「学校での進路指導・実習」が、「真野地区」など、「小木地区」では「公共職業安定所（ハローワーク）」などがやや多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」保有者では「公共職業安定所（ハローワーク）」が、「療育手帳（知的障がい）」では「学校での指導・実習」がやや多くなっています。

(3) 仕事をするうえでの困りごと

問27 問25で「1 自営業、あるいは一般企業で働いている」または「2 福祉事業所や施設等で働いている」と答えた方にお聞きします。仕事をする上で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



仕事をする上での困りごとについて尋ねたところ、「特に困っていることはない」が32.9%で最も多くなっています。

一方、困りごとの内容としては、「給与・工賃などの収入が少ない」(25.4%)、「精神的な負担が大きい」(23.1%)、「職場の人間関係」(20.5%)などが多くなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）										
			入が少 ない	給与・工賃などの収	精神的な負担が大きい	職場の人間関係	身体的な負担が大きい	障がいに対する職場の理解不足	通勤が大変	仕事の相談をする相手がいない	職場の施設が障がいに対応していない	その他	特に困っていること はない
全体		347	25.4	23.1	20.5	15.0	13.5	12.4	6.3	3.5	2.3	32.9	8.1
年齢別	18～29歳	55	36.4	25.5	23.6	7.3	18.2	16.4	5.5	7.3	1.8	20.0	5.5
	30～39歳	59	20.3	39.0	23.7	15.3	18.6	13.6	10.2	6.8	0.0	30.5	6.8
	40～49歳	71	33.8	16.9	25.4	18.3	12.7	23.9	7.0	4.2	2.8	29.6	4.2
	50～59歳	100	20.0	19.0	20.0	16.0	7.0	4.0	4.0	1.0	2.0	36.0	12.0
	60歳以上	60	20.0	18.3	10.0	16.7	16.7	8.3	5.0	0.0	5.0	45.0	10.0
居住地区別	両津地区	85	23.5	22.4	20.0	20.0	15.3	11.8	8.2	4.7	2.4	31.8	8.2
	相川地区	38	23.7	13.2	18.4	13.2	10.5	15.8	5.3	5.3	5.3	34.2	5.3
	佐和田地区	54	20.4	25.9	22.2	18.5	9.3	7.4	3.7	3.7	1.9	38.9	3.7
	金井地区	47	31.9	25.5	21.3	6.4	10.6	10.6	2.1	2.1	2.1	29.8	10.6
	新穂地区	27	25.9	22.2	29.6	11.1	14.8	7.4	3.7	3.7	0.0	29.6	18.5
	畑野地区	22	27.3	31.8	9.1	13.6	18.2	13.6	4.5	0.0	4.5	31.8	9.1
	真野地区	34	35.3	26.5	20.6	17.6	23.5	11.8	11.8	5.9	0.0	20.6	8.8
	小木地区	16	25.0	18.8	25.0	12.5	18.8	25.0	12.5	0.0	6.3	37.5	0.0
	羽茂地区	12	16.7	8.3	16.7	8.3	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	25.0	16.7
	赤泊地区	8	25.0	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	99	21.2	15.2	13.1	22.2	14.1	9.1	3.0	2.0	4.0	44.4	4.0
	療育手帳(知的障がい)	128	25.0	18.0	21.9	7.0	8.6	18.8	5.5	4.7	0.0	30.5	14.1
	精神障害者保健福祉手帳	110	31.8	34.5	25.5	14.5	20.9	11.8	7.3	5.5	2.7	21.8	6.4
	持っていない	26	19.2	23.1	19.2	23.1	7.7	3.8	15.4	0.0	3.8	46.2	3.8

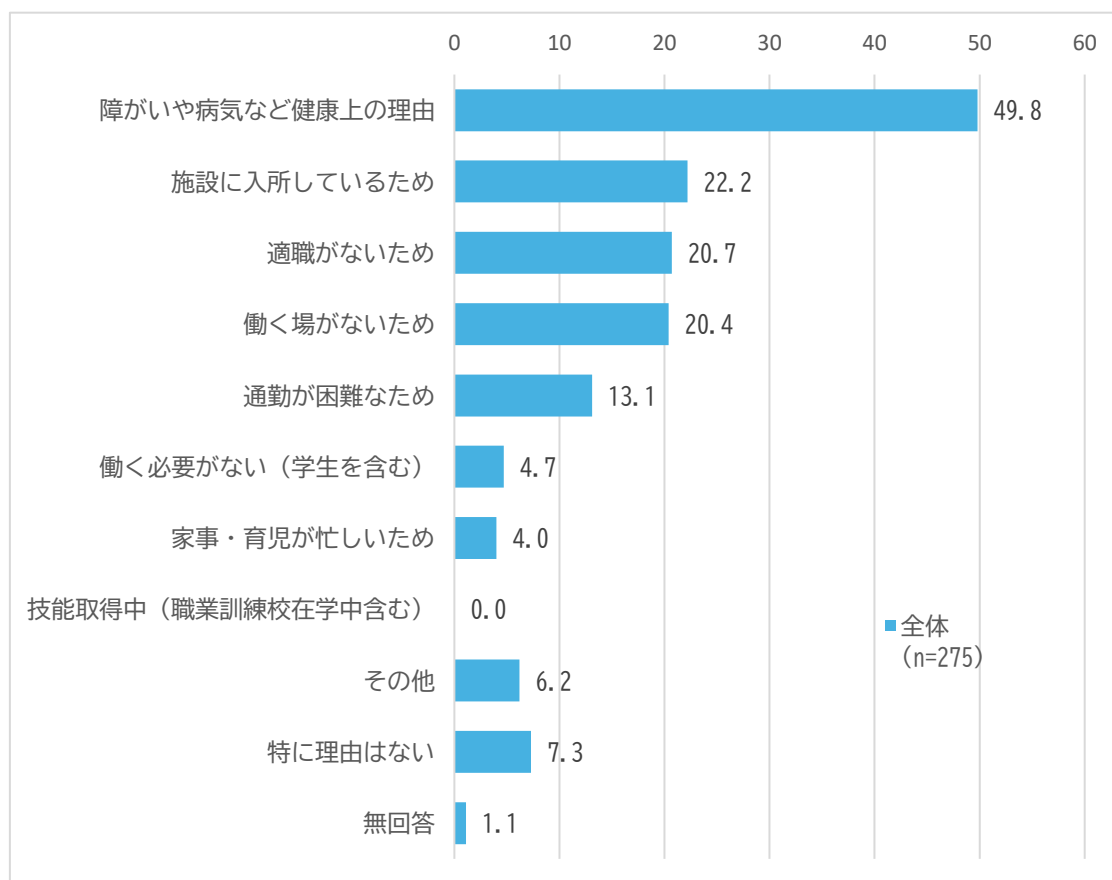
年齢別にみると、「18～29 歳」では「給与・工賃などの収入が少ない」が、「30～39 歳」では「精神的な負担が大きい」が、「40～49 歳」では「通勤が大変」が他の年代に比べて多くなっています。一方、「60 歳以上」では「特に困っていることはない」が多くなっています。

居住地区別にみると、「小木地区」「羽茂地区」では「通勤が大変」が、「赤泊地区」では「精神的な負担が大きい」が他の地区に比べて高くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「精神障害者保健福祉手帳」保有者で「精神的な負担が大きい」がやや多くなっています。

(4) 働いていない理由

問28 問25で「3 働いていない（学生を含む）」と答えた方にお聞きします。働いていない理由は何ですか。（3つまで選んで○をつけてください）



働いていない理由については、「障がいや病気など健康上の理由」が 49.8%で5割近くを占めています。以下では、「施設に入所しているため」（22.2%）、「適職がないため」（20.7%）、「働く場がないため」（20.4%）などが多くなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）										
			障がいや病気など健康上の理由	施設に入所しているため	適職がないため	働く場がないため	通勤が困難なため	働く必要がない（学生を含む）	家事・育児が忙しいため	技能取得中（職業訓練校在学中含む）	その他	特に理由はない	無回答
全体		275	49.8	22.2	20.7	20.4	13.1	4.7	4.0	0.0	6.2	7.3	1.1
年齢別	18～29歳	25	60.0	4.0	40.0	40.0	24.0	8.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	30～39歳	38	65.8	15.8	26.3	23.7	18.4	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
	40～49歳	48	39.6	31.3	25.0	16.7	6.3	0.0	8.3	0.0	4.2	10.4	0.0
	50～59歳	88	51.1	28.4	14.8	17.0	12.5	2.3	3.4	0.0	9.1	5.7	1.1
	60歳以上	69	44.9	20.3	14.5	18.8	11.6	10.1	4.3	0.0	8.7	13.0	1.4
居住地区別	両津地区	57	57.9	8.8	29.8	24.6	10.5	3.5	3.5	0.0	8.8	8.8	0.0
	相川地区	30	46.7	10.0	13.3	13.3	13.3	10.0	6.7	0.0	6.7	16.7	3.3
	佐和田地区	41	63.4	14.6	24.4	22.0	12.2	7.3	4.9	0.0	14.6	2.4	0.0
	金井地区	24	62.5	0.0	29.2	37.5	12.5	12.5	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0
	新穂地区	54	29.6	74.1	7.4	3.7	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	畑野地区	13	30.8	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	30.8	0.0
	真野地区	25	52.0	4.0	32.0	32.0	32.0	4.0	8.0	0.0	4.0	4.0	0.0
	小木地区	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	羽茂地区	8	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5
	赤泊地区	7	71.4	14.3	42.9	85.7	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	105	54.3	18.1	13.3	20.0	8.6	7.6	5.7	0.0	4.8	9.5	1.0
	療育手帳（知的障がい）	91	27.5	47.3	18.7	18.7	14.3	2.2	3.3	0.0	4.4	5.5	1.1
	精神障害者保健福祉手帳	78	71.8	3.8	32.1	24.4	16.7	1.3	1.3	0.0	6.4	5.1	1.3
	持っていない	19	31.6	21.1	10.5	15.8	5.3	10.5	5.3	0.0	15.8	10.5	5.3

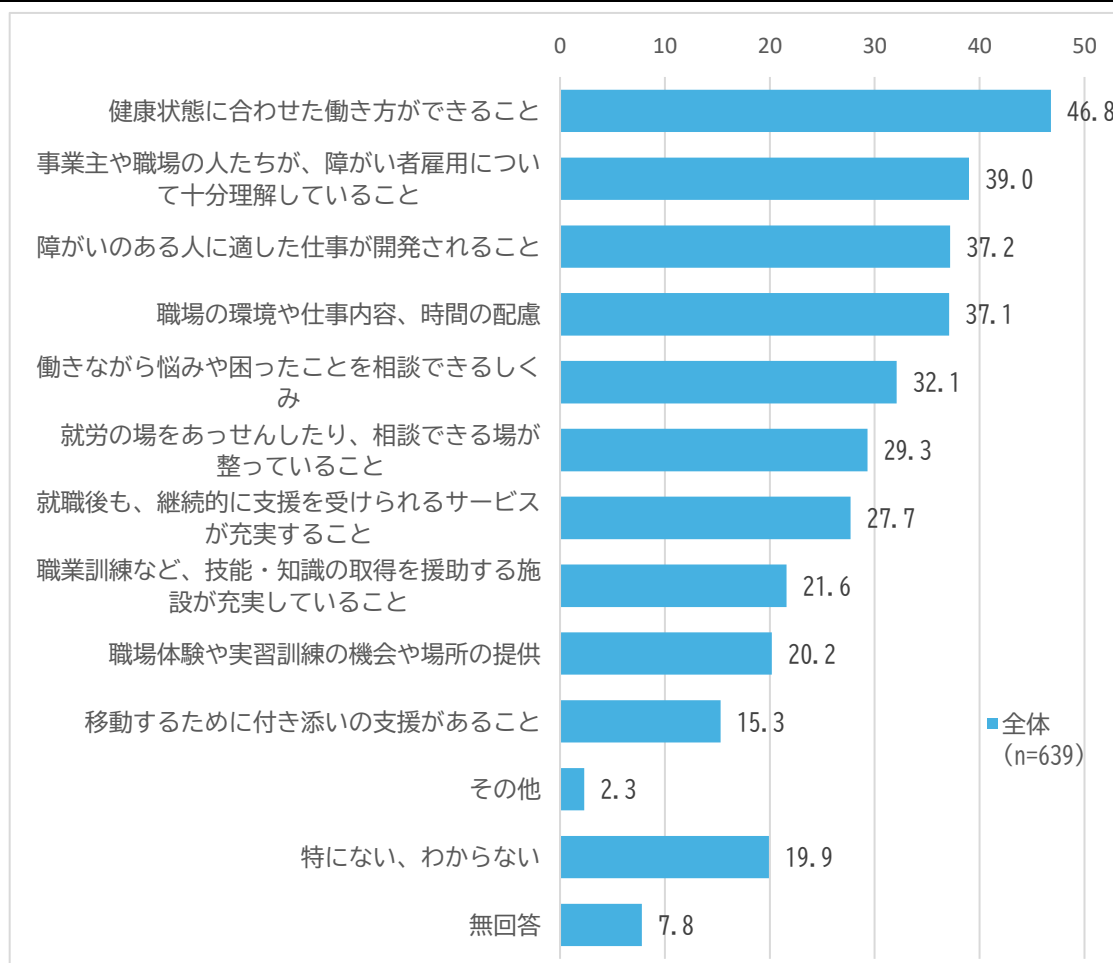
年齢別にみると、「18～20 歳」では「適職がないため」「働く場がないため」が、「30～39 歳」では「障がいや病気など健康上の理由」が他の年代に比べ多くなっています。

居住地区別にみると、「赤泊地区」「真野地区」では「適職がないため」「働く場がないため」「通勤が困難なため」が他の地区に比べ多くなっています。また、「新穂地区」では「施設に入所しているため」が多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「療育手帳（知的障がい）」保有者では「施設に入所しているため」が、「精神障害者保健福祉手帳」保有者では「障がいや病気など健康上の理由」「適職がないため」が多くなっています。

（５）障がいのある人が働くために必要な環境

問29 あなたは障がいのある人が働くためにはどのような環境が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



障がいのある人が働くために必要な環境については、「健康状態に合わせた働き方ができること」が46.8%で最も多く、次いで「事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること」が39.0%、「障がいのある人に適した仕事が開発されること」が37.2%、「職場の環境や仕事内容、時間の配慮」が37.1%などとなり、障がいのある人が働きやすい職場環境が求められています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）												
			健康状態に合わせた働き方ができること	事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること	障がいのある人に適した仕事が開発されること	職場の環境や仕事内容、時間の配慮	働きながら悩みや困ったことを相談できるしくみ	就労の場をあつせんしたり、相談できる場が整っていること	就職後も、継続的に支援を受けられるサービスが充実すること	職業訓練など、技能・知識の取得を援助する施設が充実していること	職場体験や実習訓練の機会や場所の提供	移動するために付き添いの支援があること	その他	特にない、わからない	無回答
全体		639	46.8	39.0	37.2	37.1	32.1	29.3	27.7	21.6	20.2	15.3	2.3	19.9	7.8
年齢別	18～29歳	81	48.1	48.1	49.4	45.7	46.9	45.7	44.4	35.8	32.1	18.5	1.2	12.3	2.5
	30～39歳	99	53.5	47.5	44.4	41.4	36.4	31.3	32.3	24.2	25.3	16.2	3.0	10.1	7.1
	40～49歳	123	49.6	39.0	40.7	37.4	39.0	29.3	31.7	21.1	26.0	18.7	0.8	11.4	11.4
	50～59歳	192	45.3	38.0	32.3	35.4	26.6	28.1	24.0	18.8	14.6	11.5	4.7	25.0	9.4
	60歳以上	134	42.5	31.3	28.4	32.8	23.1	20.9	17.9	16.4	11.9	14.9	0.7	32.8	6.0
居住地区別	両津地区	147	49.7	32.7	34.0	36.7	34.7	26.5	29.9	15.6	16.3	13.6	4.1	21.1	4.8
	相川地区	71	45.1	42.3	32.4	33.8	32.4	31.0	25.4	14.1	9.9	9.9	1.4	26.8	7.0
	佐和田地区	98	58.2	49.0	52.0	49.0	33.7	31.6	27.6	28.6	25.5	19.4	1.0	13.3	4.1
	金井地区	71	46.5	46.5	38.0	38.0	35.2	33.8	25.4	31.0	26.8	18.3	0.0	21.1	2.8
	新穂地区	81	29.6	33.3	32.1	24.7	18.5	13.6	17.3	9.9	13.6	17.3	1.2	19.8	27.2
	畑野地区	38	44.7	31.6	36.8	39.5	31.6	34.2	26.3	26.3	10.5	7.9	0.0	21.1	7.9
	真野地区	61	52.5	37.7	39.3	39.3	39.3	42.6	34.4	36.1	31.1	9.8	4.9	8.2	8.2
	小木地区	21	52.4	61.9	28.6	52.4	42.9	33.3	47.6	19.0	42.9	23.8	0.0	14.3	0.0
	羽茂地区	20	25.0	15.0	30.0	15.0	15.0	20.0	15.0	5.0	10.0	5.0	5.0	60.0	0.0
	赤泊地区	16	68.8	68.8	43.8	50.0	56.3	50.0	68.8	50.0	43.8	50.0	12.5	6.3	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	49.3	37.4	33.6	37.9	25.6	28.9	25.1	18.0	17.1	17.1	2.8	23.2	5.2
	療育手帳(知的障がい)	224	29.0	33.9	37.9	26.3	29.9	23.2	28.1	22.8	23.2	19.6	0.4	20.1	15.2
	精神障害者保健福祉手帳	192	60.9	45.8	42.2	51.6	43.8	36.5	32.3	27.1	21.9	11.5	4.7	13.0	5.2
	持っていない	48	50.0	31.3	25.0	25.0	22.9	22.9	18.8	10.4	14.6	4.2	0.0	37.5	6.3

年齢別にみると、年代が若いほど各項目とも総じて回答率が高い傾向にあり、特に「18～29歳」では「働きながら悩みや困ったことを相談できるしくみ」「就労の場があっせんしたり、相談できる場が整っていること」「就職後も、継続的に支援を受けられるサービスが充実すること」などが他の年代に比べ多くなっています。

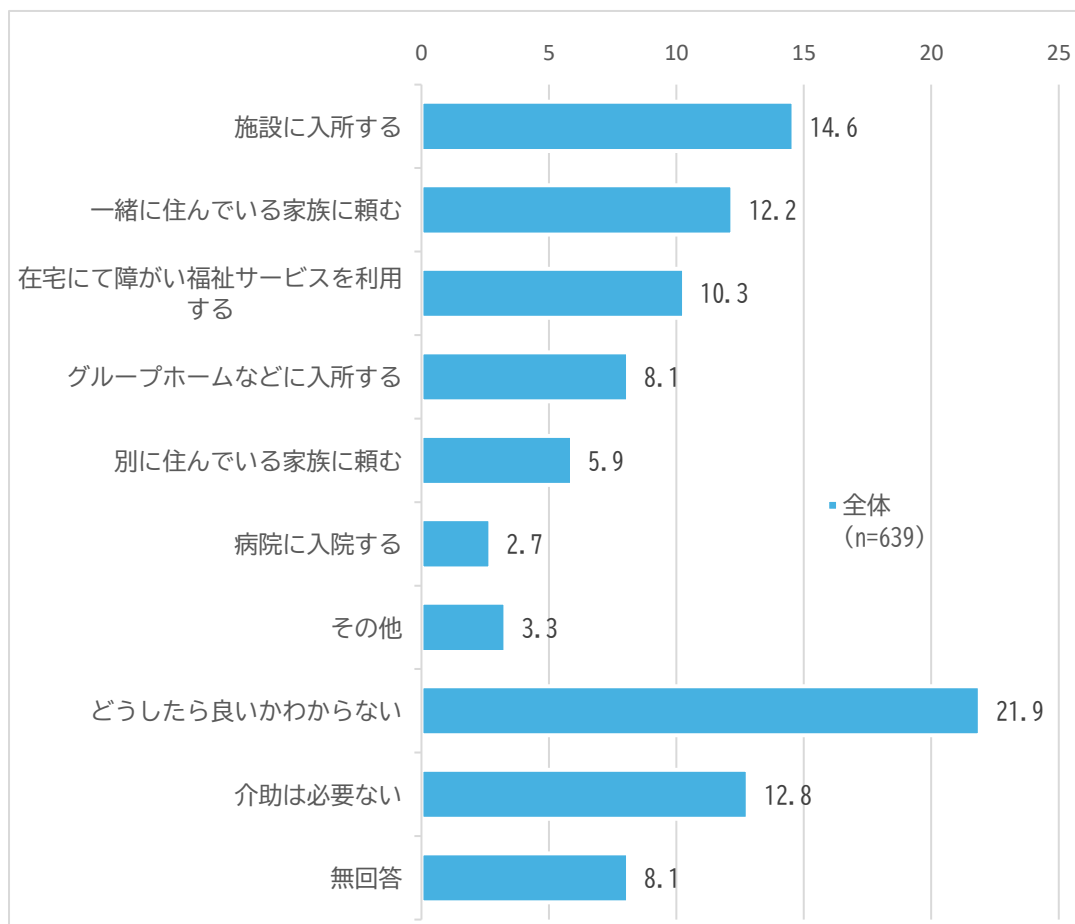
居住地区別にみると、「赤泊地区」では各項目ともに他の地区に比べ総じて回答率が高くなっており、「健康状態に合わせた働き方ができること」「事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること」「就職後も、継続的に支援を受けられるサービスが充実すること」は7割近くの回答率となっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「精神障害者保健福祉手帳」保有者で「職場の環境や仕事内容、時間の配慮」「働きながら悩みや困ったことを相談できるしくみ」がやや多くなっています。

8 将来の生活について

(1) 主な介助者が介助・支援できなくなった場合の対応

問30 将来、主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。
(1つだけ○をつけてください)



主な介助者が介助・支援できなくなった場合の対応を尋ねたところ、「どうしたら良いかわからない」が21.9%で最も多くなっています。

一方、現時点で想定している対応方法では、「施設に入所する」(14.6%)、「一緒に住んでいる家族に頼む」(12.2%)、「在宅にて障がい福祉サービスを利用する」(10.3%)などが多くなっています。

<クロス結果>

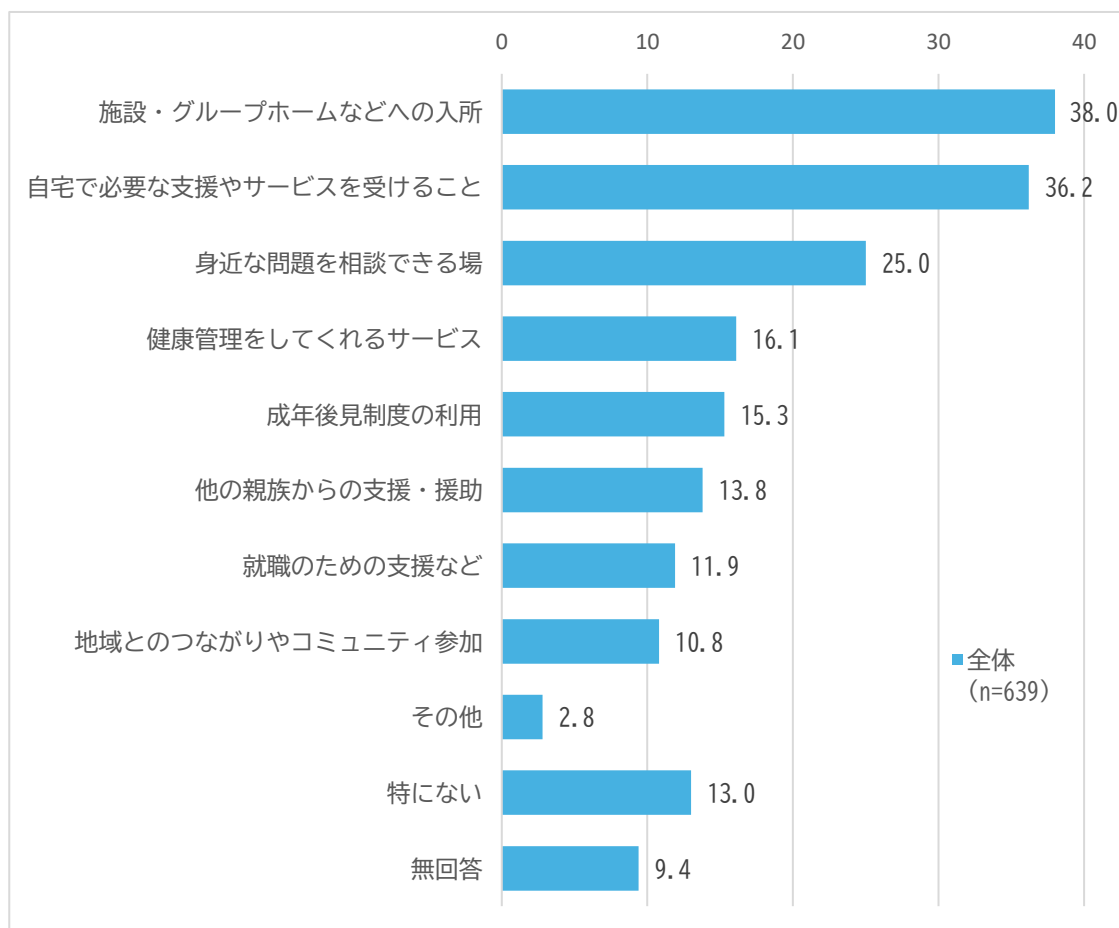
		回答者数（n）	回答率（％）									
			施設に入所する	一緒に住んでいる家族に頼む	在宅にて障がい福祉サービスを利用する	グループホームなどに入所する	頼む別に住んでいる家族に	病院に入院する	その他	どうしたら良いかわからない	介助は必要ない	無回答
全体		639	14.6	12.2	10.3	8.1	5.9	2.7	3.3	21.9	12.8	8.1
年齢別	18～29歳	81	11.1	16.0	6.2	12.3	3.7	1.2	1.2	32.1	13.6	2.5
	30～39歳	99	11.1	9.1	9.1	10.1	9.1	3.0	2.0	21.2	19.2	6.1
	40～49歳	123	12.2	10.6	10.6	9.8	5.7	3.3	3.3	21.1	10.6	13.0
	50～59歳	192	12.5	11.5	8.9	6.8	5.7	2.1	4.7	21.4	17.2	9.4
	60歳以上	134	23.1	14.2	15.7	5.2	6.0	3.7	3.0	18.7	3.7	6.7
居住地区別	両津地区	147	16.3	12.9	9.5	7.5	5.4	2.0	3.4	21.8	15.0	6.1
	相川地区	71	8.5	11.3	11.3	11.3	7.0	0.0	1.4	28.2	16.9	4.2
	佐和田地区	98	9.2	10.2	10.2	7.1	9.2	4.1	6.1	24.5	16.3	3.1
	金井地区	71	9.9	18.3	7.0	11.3	8.5	4.2	2.8	23.9	12.7	1.4
	新穂地区	81	17.3	7.4	6.2	4.9	4.9	2.5	1.2	14.8	6.2	34.6
	畑野地区	38	23.7	2.6	18.4	5.3	2.6	2.6	0.0	26.3	10.5	7.9
	真野地区	61	14.8	14.8	11.5	13.1	3.3	1.6	6.6	21.3	9.8	3.3
	小木地区	21	9.5	19.0	14.3	4.8	9.5	4.8	4.8	9.5	23.8	0.0
	羽茂地区	20	30.0	15.0	10.0	10.0	5.0	0.0	0.0	25.0	5.0	0.0
	赤泊地区	16	0.0	18.8	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	31.3	12.5	6.3
障害者 状況 手帳 別保	身体障害者手帳	211	21.3	14.7	11.8	4.7	4.7	4.7	5.7	13.3	12.8	6.2
	療育手帳(知的障がい)	224	14.7	13.4	3.1	15.2	5.4	1.3	2.7	21.9	5.8	16.5
	精神障害者保健福祉手帳	192	7.8	5.7	15.6	7.3	7.3	2.1	2.1	30.7	18.2	3.1
	持っていない	48	10.4	16.7	10.4	4.2	4.2	4.2	2.1	18.8	18.8	10.4

年齢別にみると、「18～29歳」では「どうしたら良いかわからない」が他の年代に比べやや多くなっています。

居住地区別にみると、「羽茂地区」では「施設に入所する」が、「赤泊地区」では「在宅にて障がい福祉サービスを利用する」が、「小木地区」では「介助は必要ない」が他の地区に比べやや多くなっています。

（２）主な介助者の介助が困難になったときに必要なこと

問31 自分を介助してくれる人（親、兄弟、親族など）が亡くなったり、高齢になって介助することが難しくなったときに、あなたが必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



主な介助者の介助が困難となったときに必要なことについては、「施設・グループホームなどへの入所」が 38.0% で最も多く、次いで「自宅で必要な支援やサービスを受けること」が 36.2%、「身近な問題を相談できる場」が 25.0% などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）										
			施設・グループホームなどへの入所	自宅で必要な支援やサービスを受けること	身近な問題を相談できる場	健康管理をしてくれるサービス	成年後見制度の利用	他の親族からの支援・援助	就職のための支援など	地域とのつながりやコミュニティ参加	その他	特にない	無回答
全体		639	38.0	36.2	25.0	16.1	15.3	13.8	11.9	10.8	2.8	13.0	9.4
年齢別	18～29歳	81	39.5	33.3	43.2	19.8	28.4	22.2	25.9	16.0	3.7	16.0	2.5
	30～39歳	99	38.4	39.4	28.3	21.2	18.2	14.1	15.2	14.1	6.1	12.1	5.1
	40～49歳	123	36.6	34.1	24.4	17.1	13.8	10.6	15.4	11.4	0.8	12.2	16.3
	50～59歳	192	34.9	32.8	24.0	10.4	13.5	13.5	9.4	10.4	1.0	16.1	10.9
	60歳以上	134	44.0	43.3	15.7	18.7	10.4	11.2	2.2	6.0	3.7	8.2	7.5
居住地区別	両津地区	147	38.8	36.7	21.1	13.6	13.6	10.9	9.5	10.9	3.4	20.4	6.1
	相川地区	71	31.0	31.0	26.8	9.9	15.5	16.9	11.3	7.0	2.8	16.9	9.9
	佐和田地区	98	34.7	48.0	33.7	18.4	15.3	15.3	18.4	16.3	4.1	10.2	2.0
	金井地区	71	39.4	31.0	25.4	23.9	14.1	16.9	14.1	5.6	1.4	16.9	4.2
	新穂地区	81	39.5	21.0	16.0	12.3	14.8	8.6	6.2	6.2	1.2	6.2	32.1
	畑野地区	38	28.9	36.8	23.7	21.1	10.5	13.2	5.3	13.2	5.3	7.9	10.5
	真野地区	61	42.6	54.1	29.5	23.0	21.3	13.1	19.7	14.8	3.3	11.5	8.2
	小木地区	21	33.3	33.3	38.1	23.8	9.5	19.0	14.3	14.3	0.0	19.0	0.0
	羽茂地区	20	60.0	40.0	15.0	10.0	25.0	15.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	赤泊地区	16	50.0	37.5	37.5	12.5	25.0	18.8	18.8	25.0	6.3	0.0	6.3
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	211	41.7	33.6	20.9	13.7	10.0	14.2	9.0	10.4	2.8	15.2	7.1
	療育手帳(知的障がい)	224	45.1	25.0	23.2	16.1	23.7	14.3	9.4	8.5	3.1	9.8	18.3
	精神障害者保健福祉手帳	192	29.7	49.0	31.8	19.3	15.1	14.1	17.2	14.1	4.2	12.5	3.6
	持っていない	48	31.3	29.2	18.8	10.4	10.4	10.4	8.3	4.2	0.0	18.8	8.3

年齢別にみると、「18～29歳」では「身近な問題を相談できる場」「成年後見制度の利用」などが、一方「60歳以上」では「施設・グループホームなどへの入所」「自宅で必要な支援やサービスを受けること」が他の年代に比べ多々多くなっています。

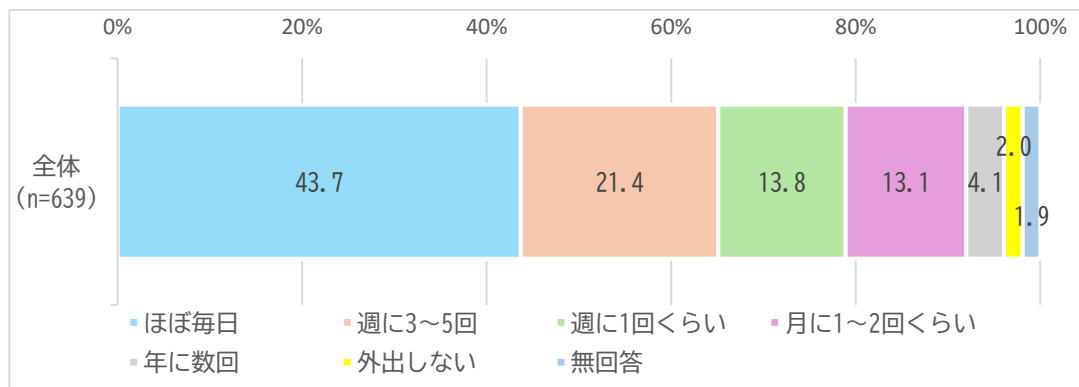
居住地区別にみると、「羽茂地区」「赤泊地区」で「施設・グループホームなどへの入所」が、「真野地区」「佐和田地区」で「自宅で必要な支援やサービスを受けること」が他の地区に比べ多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「精神障害者保健福祉手帳」保有者で「自宅で必要な支援やサービスを受けること」がやや多くなっています。

9 外出について

(1) 外出頻度

問32 あなたはどのくらい外出しますか。(1つだけ○をつけてください)



外出頻度は、「ほぼ毎日」が43.7%、「週に3～5回」が21.4%、「週に1回くらい」が13.8%となっており、8割近くが週1回以上外出しています。

<クロス結果>

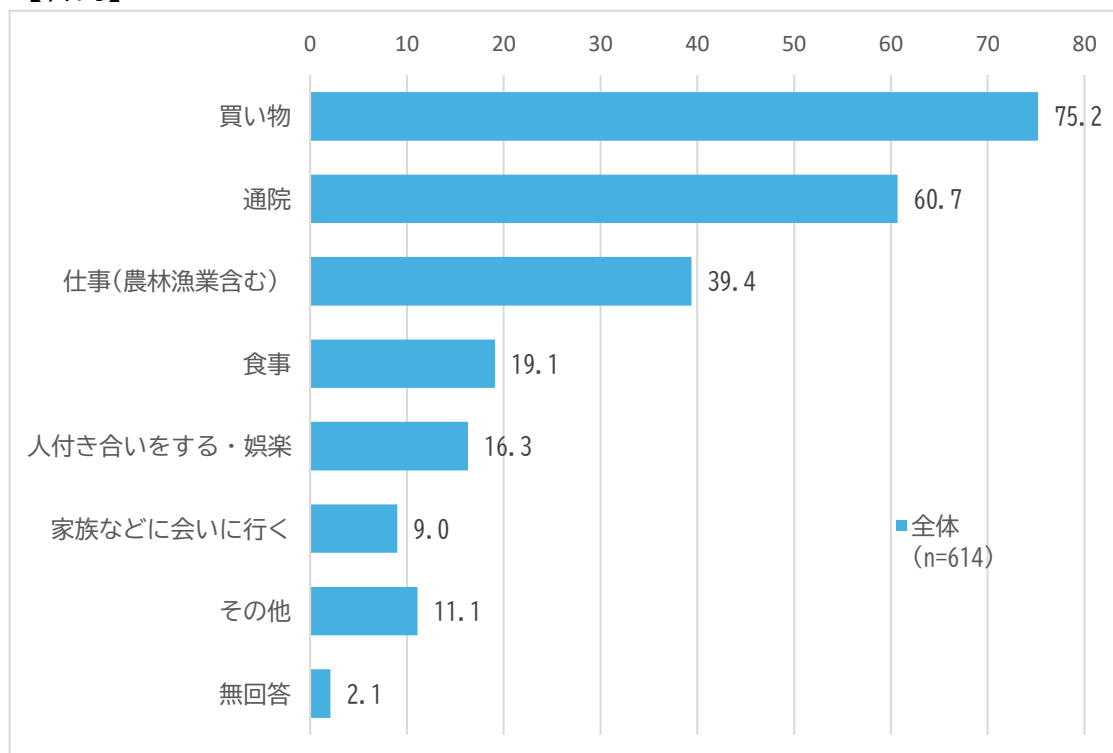
		回答者数 (n)	回答率(%)						
			ほぼ毎日	週に3～5回	週に1回くらい	月に1～2回くらい	年に数回	外出しない	無回答
全体		639	43.7	21.4	13.8	13.1	4.1	2.0	1.9
年齢別	18～29歳	81	48.1	28.4	11.1	6.2	3.7	1.2	1.2
	30～39歳	99	38.4	19.2	20.2	15.2	5.1	1.0	1.0
	40～49歳	123	47.2	15.4	14.6	14.6	4.9	1.6	1.6
	50～59歳	192	45.3	20.8	10.9	14.6	3.6	1.6	3.1
	60歳以上	134	39.6	24.6	12.7	13.4	3.7	4.5	1.5
居住地区別	両津地区	147	51.7	20.4	12.9	9.5	1.4	2.0	2.0
	相川地区	71	38.0	25.4	15.5	8.5	5.6	4.2	2.8
	佐和田地区	98	53.1	14.3	15.3	10.2	5.1	1.0	1.0
	金井地区	71	53.5	23.9	9.9	5.6	2.8	1.4	2.8
	新穂地区	81	14.8	16.0	18.5	37.0	12.3	0.0	1.2
	畑野地区	38	34.2	28.9	15.8	18.4	0.0	0.0	2.6
	真野地区	61	41.0	27.9	16.4	9.8	1.6	0.0	3.3
	小木地区	21	71.4	14.3	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0
	羽茂地区	20	40.0	25.0	10.0	15.0	5.0	5.0	0.0
	赤泊地区	16	50.0	37.5	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0
保障 有 害 状 者 況 手 別 帳	身体障害者手帳	211	43.1	24.6	8.5	11.8	4.7	3.8	3.3
	療育手帳(知的障がい)	224	40.6	15.2	16.5	19.6	4.5	1.8	1.8
	精神障害者保健福祉手帳	192	43.8	25.0	14.1	10.9	3.1	1.6	1.6
	持っていない	48	52.1	14.6	18.8	10.4	2.1	2.1	0.0

居住地区別にみると、「新穂地区」では「毎日」の割合が他の地区より低く、「月に1～2回くらい」「年に数回」の割合が高くなっています。

（２）外出目的・外出先・外出方法

問33 問32で「１～５」のいずれかと答えた方にお聞きします。あなたは普段、ご自宅から外出する際に、こういった目的で、どのような方法で出かけていますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

【目的】



外出の目的については、「買い物」が75.2%で最も多く、次いで「通院」が60.7%、「仕事（農林漁業含む）」が39.4%などとなっています。

なお、外出の目的先として具体的な回答があった施設は下記の通りとなります。

<具体的な施設等（複数の回答があった施設）>

施設名	回答数	施設名	回答数
佐渡総合病院	10	さわやか	5
そよかぜ	9	愛らんど畑野	3
あんずの家	8	まつはらの家	3

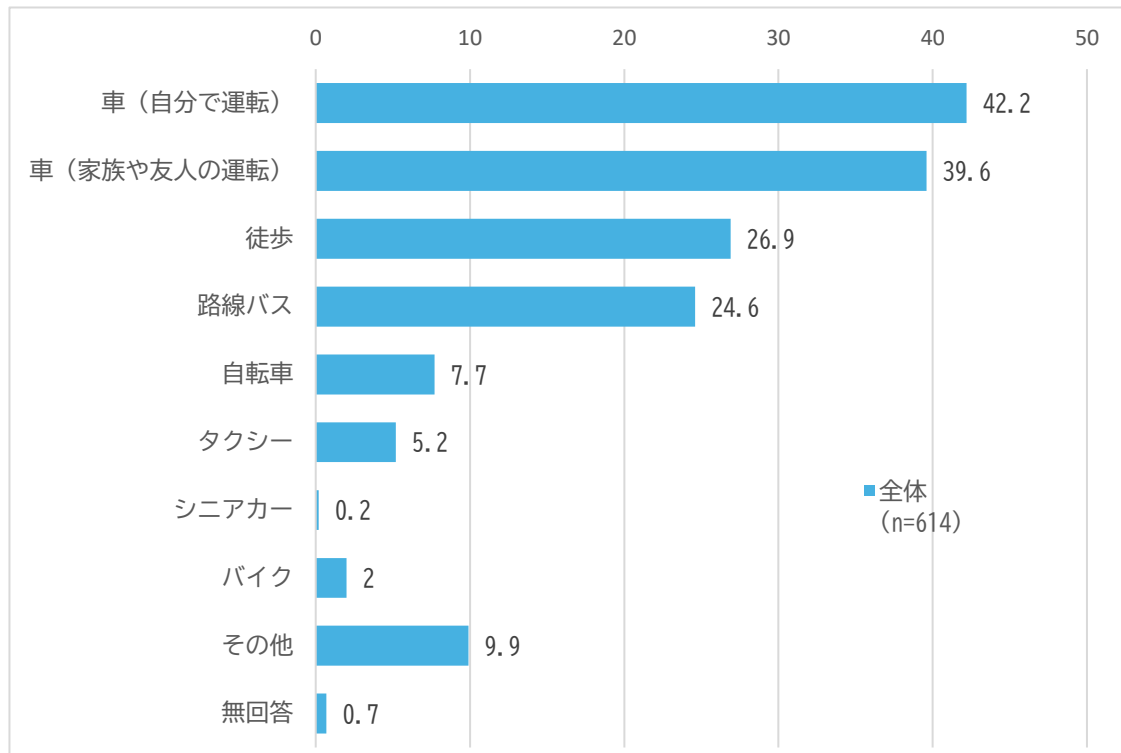
<クロス結果>

		回答者数 (n)	回答率(%)							
			買い物	通院	仕事(農林漁業含む)	食事	人付き合いをする・娯楽	家族などに行く	その他	無回答
全体		614	75.2	60.7	39.4	19.1	16.3	9.0	11.1	2.1
年齢別	18～29歳	79	74.7	45.6	51.9	30.4	26.6	8.9	11.4	1.3
	30～39歳	97	72.2	60.8	40.2	20.6	18.6	11.3	13.4	2.1
	40～49歳	119	71.4	57.1	36.1	15.1	16.8	11.8	14.3	4.2
	50～59歳	183	76.0	64.5	39.9	19.1	12.0	7.1	9.8	2.2
	60歳以上	126	80.2	69.8	35.7	13.5	14.3	7.9	7.9	0.8
居住地区別	両津地区	141	83.0	60.3	40.4	16.3	17.7	9.2	13.5	0.7
	相川地区	66	68.2	66.7	43.9	12.1	15.2	4.5	6.1	3.0
	佐和田地区	96	82.3	61.5	43.8	27.1	18.8	11.5	10.4	2.1
	金井地区	68	80.9	60.3	50.0	26.5	26.5	17.6	4.4	0.0
	新穂地区	80	47.5	66.3	16.3	11.3	5.0	5.0	26.3	6.3
	畑野地区	37	81.1	54.1	45.9	13.5	8.1	2.7	5.4	2.7
	真野地区	59	81.4	59.3	33.9	25.4	18.6	10.2	8.5	0.0
	小木地区	21	76.2	57.1	57.1	14.3	14.3	19.0	0.0	4.8
	羽茂地区	19	68.4	57.9	36.8	21.1	15.8	0.0	0.0	5.3
	赤泊地区	16	68.8	50.0	50.0	18.8	18.8	0.0	18.8	0.0
障害者 状況別 手帳保	身体障害者手帳	196	76.0	66.8	39.8	19.4	18.9	7.7	7.7	1.0
	療育手帳(知的障がい)	216	66.2	50.9	34.7	17.6	13.4	7.9	16.2	4.6
	精神障害者保健福祉手帳	186	83.9	69.4	40.9	20.4	17.2	11.3	8.6	0.5
	持っていない	47	72.3	55.3	44.7	17.0	10.6	8.5	10.6	2.1

年齢別にみると、「18～29歳」では「仕事（農林漁業を含む）」「食事」「人付き合いをする・娯楽」が他の年代に比べやや多くなっています。

居住地区別にみると、「小木地区」「赤泊地区」では「仕事（農林漁業を含む）」が、「金井地区」では「仕事（農林漁業を含む）」「人付き合いをする・娯楽」が他の地区に比べやや多くなっています。

【外出方法】



外出方法は、「車（自分で運転）」が42.2%で最も高く、次いで「車（家族や友人の運転）」が39.6%、「徒歩」が26.9%、「路線バス」が24.6%などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）									
			車（自分で運転）	車（家族や友人の運転）	徒歩	路線バス	自転車	タクシー	バイク	シニアカー	その他	無回答
全体		614	42.2	39.6	26.9	24.6	7.7	5.2	2.0	0.2	9.9	0.7
年齢別	18～29歳	79	34.2	65.8	26.6	29.1	7.6	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
	30～39歳	97	41.2	53.6	32.0	20.6	6.2	1.0	2.1	0.0	5.2	0.0
	40～49歳	119	33.6	37.0	28.6	26.9	5.9	6.7	1.7	0.0	12.6	1.7
	50～59歳	183	44.3	29.5	22.4	23.5	7.7	8.2	3.3	0.0	15.3	1.1
	60歳以上	126	51.6	30.2	27.8	26.2	11.1	6.3	1.6	0.8	6.3	0.0
居住地区別	両津地区	141	44.7	44.7	33.3	25.5	9.9	6.4	2.1	0.0	4.3	0.0
	相川地区	66	47.0	37.9	24.2	25.8	9.1	4.5	4.5	0.0	3.0	3.0
	佐和田地区	96	42.7	40.6	36.5	26.0	4.2	6.3	2.1	0.0	8.3	0.0
	金井地区	68	36.8	36.8	33.8	32.4	8.8	7.4	1.5	0.0	4.4	1.5
	新穂地区	80	17.5	35.0	7.5	10.0	8.8	3.8	0.0	0.0	43.8	1.3
	畑野地区	37	51.4	21.6	21.6	29.7	0.0	10.8	2.7	0.0	0.0	0.0
	真野地区	59	40.7	44.1	25.4	32.2	10.2	1.7	3.4	1.7	5.1	0.0
	小木地区	21	71.4	47.6	33.3	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
	羽茂地区	19	42.1	57.9	15.8	31.6	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	赤泊地区	16	68.8	37.5	12.5	25.0	6.3	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
障害者手帳保有状況別	身体障害者手帳	196	56.1	36.2	20.9	16.8	3.1	10.2	1.0	0.5	11.2	0.0
	療育手帳(知的障がい)	216	17.1	44.4	27.8	35.6	7.9	3.2	0.5	0.0	19.4	1.4
	精神障害者保健福祉手帳	186	44.6	44.6	32.8	25.8	11.8	4.3	4.3	0.0	2.2	0.0
	持っていない	47	66.0	21.3	27.7	10.6	4.3	0.0	2.1	0.0	4.3	2.1

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」では「車（家族や友人の運転）」が、「60歳以上」では「車（自分で運転）」がほかの年代に比べ多くなっています。

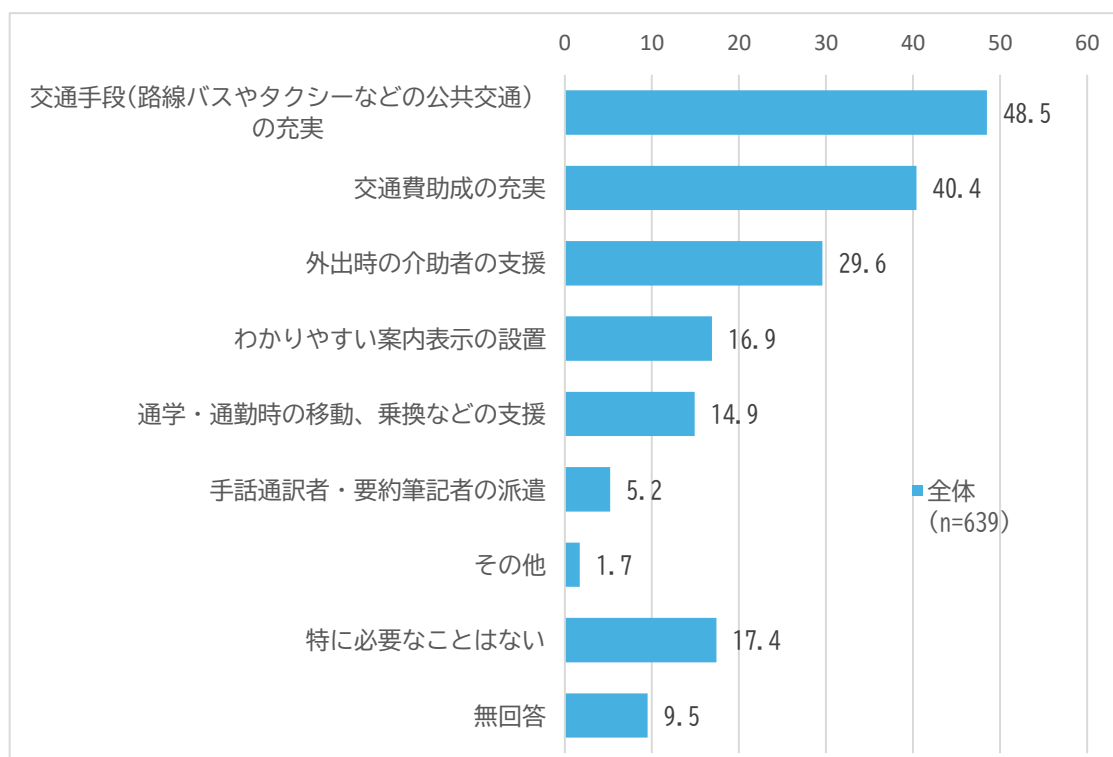
居住地区別にみると、「小木地区」では「車（自分で運転）」が他の地区に比べ多い一方、「路線バス」が少なくなっています。また、「赤泊地区」では「車（自分で運転）」が多く、「徒歩」が少なくなっています。一方、「新穂地区」では「その他」として「施設の車利用」が多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」保有者及び「障害者手帳を持っていない」人は「車（自分で運転）」が多くなっています。

(3) 障がいのある方が外出しやすくするために必要なこと

問34 障がいのある方が外出しやすくするためにどんなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

【外出支援・交通機関について】



外出支援・交通機関について障がいのある方が外出しやすくするために必要なことは、「交通手段（路線バスやタクシーなどの公共交通）の充実」が48.5%で最も多く、次いで「交通費助成の充実」が40.4%、「外出時の介助者の支援」が29.6%などと続いています。

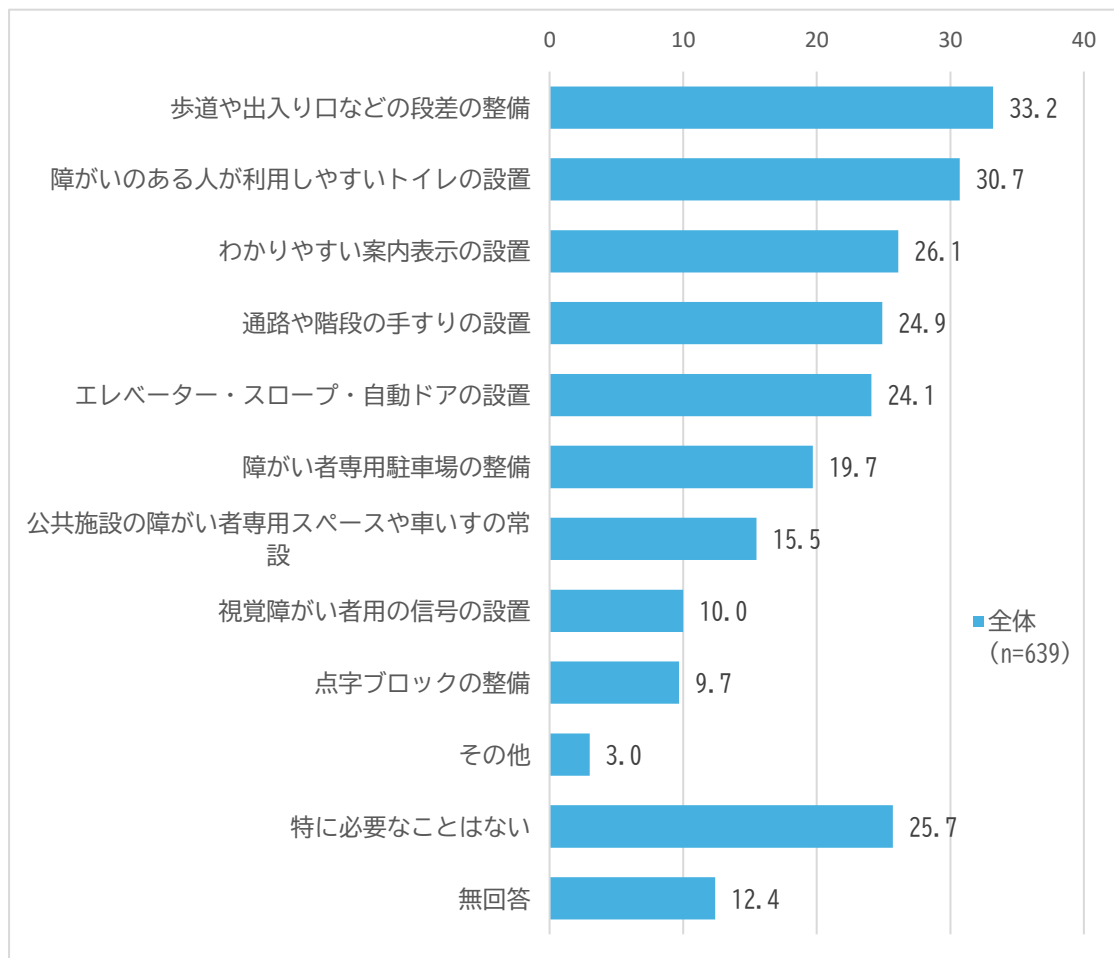
一方、「特に必要なことはない」は17.4%となっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）								
			交通手段（路線バスやタクシーなどの公共交通）の充実	交通費助成の充実	外出時の介助者の支援	わかりやすい案内表示の設置	通学・通勤時の移動、乗換などの支援	遺話通訳者・要約筆記者の派遣	その他	特に必要なことはない	無回答
全体		639	48.5	40.4	29.6	16.9	14.9	5.2	1.7	17.4	9.5
年齢別	18～29歳	81	49.4	43.2	34.6	27.2	22.2	4.9	2.5	19.8	4.9
	30～39歳	99	53.5	41.4	35.4	20.2	21.2	7.1	1.0	16.2	5.1
	40～49歳	123	43.1	39.0	19.5	16.3	12.2	4.1	0.0	17.1	16.3
	50～59歳	192	48.4	40.1	30.2	18.2	12.5	4.7	2.1	16.7	10.9
	60歳以上	134	50.0	42.5	31.3	8.2	11.2	6.0	3.0	17.2	7.5
居住地区別	両津地区	147	51.7	38.1	25.9	21.1	14.3	6.8	2.0	21.1	4.8
	相川地区	71	52.1	31.0	22.5	11.3	9.9	5.6	0.0	25.4	8.5
	佐和田地区	98	55.1	56.1	31.6	21.4	16.3	6.1	2.0	14.3	2.0
	金井地区	71	46.5	43.7	36.6	15.5	15.5	4.2	0.0	16.9	5.6
	新穂地区	81	30.9	23.5	28.4	14.8	9.9	6.2	0.0	12.3	35.8
	畑野地区	38	47.4	50.0	28.9	18.4	18.4	2.6	0.0	7.9	10.5
	真野地区	61	59.0	41.0	24.6	9.8	16.4	1.6	6.6	19.7	8.2
	小木地区	21	42.9	47.6	23.8	14.3	14.3	0.0	0.0	23.8	0.0
	羽茂地区	20	35.0	35.0	45.0	15.0	5.0	0.0	5.0	20.0	0.0
	赤泊地区	16	75.0	56.3	56.3	31.3	56.3	12.5	6.3	0.0	6.3
障害者 状況別 手帳保 有	身体障害者手帳	211	47.4	41.7	34.6	12.3	15.2	7.1	1.9	18.0	8.5
	療育手帳（知的障がい）	224	42.4	34.4	33.9	21.4	18.3	6.3	0.4	14.3	17.9
	精神障害者保健福祉手帳	192	59.4	45.8	21.9	20.3	13.5	4.2	2.6	16.7	3.1
	持っていない	48	33.3	31.3	29.2	2.1	12.5	0.0	2.1	33.3	8.3

居住地区別にみると、「赤泊地区」では他の地区に比べ各項目ともに総じて回答率が高くなっており、特に「交通手段（路線バスやタクシーなどの公共交通）の充実」「外出時の介助者の支援」「通学・通勤時の移動、乗り換えなどの支援」などが高くなっています。

【公共施設などの改善】



障がいがある方が外出しやすくするために必要なこととして、公共施設等の改善について尋ねたところ、「歩道や出入り口などの段差の整備」が33.2%で最も多く、次いで「障がいのある人の利用しやすいトイレの設置」(30.7%)、「わかりやすい案内表示の設置」(26.1%)、「通路・階段の手すりの設置」(24.9%)、「エレベーター・スロープ・自動ドアの設置」(24.1%) などとなっています。

一方、「特に必要なことはない」は25.7%となっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）											
			歩道の 整備	障がい のある 人が 利用し やすい トイレ の設置	置 かり やすい 案内 表示 の設 置	通 路や 階段 の手 すりの 設置	エ レベ ーター ・ス ロー プ・ 自動 ドア の設 置	障 がい 者専 用駐 車場 の整 備	公 共施 設の 障がい 者専 用ス ペース や車 いす の常 設	置 視 覚障 がい 者用 の信 号の 設 置	点 字ブ ロッ クの 整備	そ の 他	特 に必 要な こと はな い	無 回 答
全体		639	33.2	30.7	26.1	24.9	24.1	19.7	15.5	10.0	9.7	3.0	25.7	12.4
年 齢 別	18～29歳	81	21.0	28.4	35.8	19.8	13.6	12.3	13.6	9.9	9.9	0.0	34.6	3.7
	30～39歳	99	37.4	30.3	31.3	20.2	30.3	17.2	16.2	9.1	10.1	4.0	29.3	8.1
	40～49歳	123	23.6	26.0	26.0	18.7	17.1	12.2	8.9	8.1	6.5	2.4	29.3	19.5
	50～59歳	192	37.5	36.5	24.5	27.6	27.6	22.9	16.1	12.0	13.0	3.1	19.8	14.1
	60歳以上	134	41.0	29.9	20.1	33.6	28.4	27.6	20.9	10.4	8.2	3.7	22.4	11.2
居 住 地 区 別	両津地区	147	33.3	29.3	27.9	23.8	22.4	21.1	15.6	10.9	9.5	2.7	25.9	9.5
	相川地区	71	26.8	25.4	19.7	21.1	18.3	23.9	14.1	9.9	7.0	0.0	35.2	7.0
	佐和田地区	98	41.8	38.8	30.6	36.7	31.6	20.4	18.4	9.2	10.2	3.1	26.5	4.1
	金井地区	71	35.2	29.6	31.0	32.4	28.2	15.5	12.7	12.7	11.3	7.0	26.8	7.0
	新穂地区	81	24.7	29.6	22.2	14.8	16.0	11.1	12.3	8.6	8.6	2.5	16.0	40.7
	畑野地区	38	50.0	18.4	21.1	28.9	31.6	15.8	18.4	13.2	10.5	0.0	18.4	18.4
	真野地区	61	19.7	32.8	24.6	13.1	16.4	23.0	16.4	6.6	8.2	3.3	27.9	9.8
	小木地区	21	52.4	28.6	33.3	23.8	28.6	28.6	4.8	0.0	4.8	4.8	19.0	0.0
	羽茂地区	20	15.0	30.0	20.0	10.0	25.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	40.0	5.0
	赤泊地区	16	62.5	62.5	37.5	56.3	56.3	50.0	43.8	37.5	43.8	12.5	12.5	6.3
障 害 者 状 況 手 帳 保 有 別	身体障害者手帳	211	43.6	39.8	21.3	35.5	37.4	30.3	21.8	12.8	11.4	3.8	17.1	8.5
	療育手帳(知的障がい)	224	27.7	28.1	29.5	17.4	15.6	16.1	12.5	8.5	8.9	2.2	24.6	21.4
	精神障害者保健福祉手帳	192	27.1	24.5	28.6	20.8	20.8	14.6	13.5	8.3	9.4	2.6	32.8	8.9
	持っていない	48	37.5	27.1	18.8	25.0	20.8	12.5	10.4	12.5	10.4	2.1	39.6	10.4

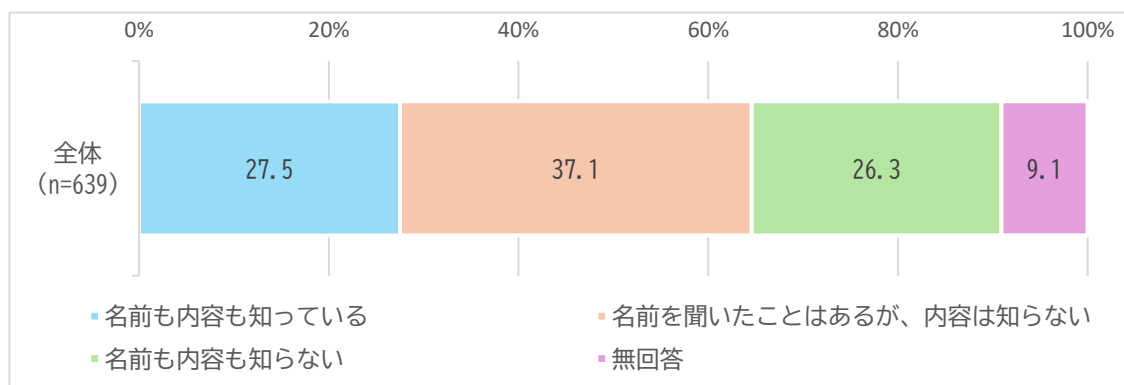
居住地区別にみると、「赤泊地区」では各項目ともに他の地区に比べ総じて回答率が高くなっていますが、特に「歩道や出入り口などの段差の整備」「障がいのある人が利用しやすいトイレの設置」「通路や階段の手すりの設置」「エレベーター・スロープ・自動ドアの設置」などが高くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「身体障害者手帳」保有者では各項目ともに総じて回答率が高くなっています。

10 障がい者の人権や障がい者理解について

(1) 成年後見制度の認知度

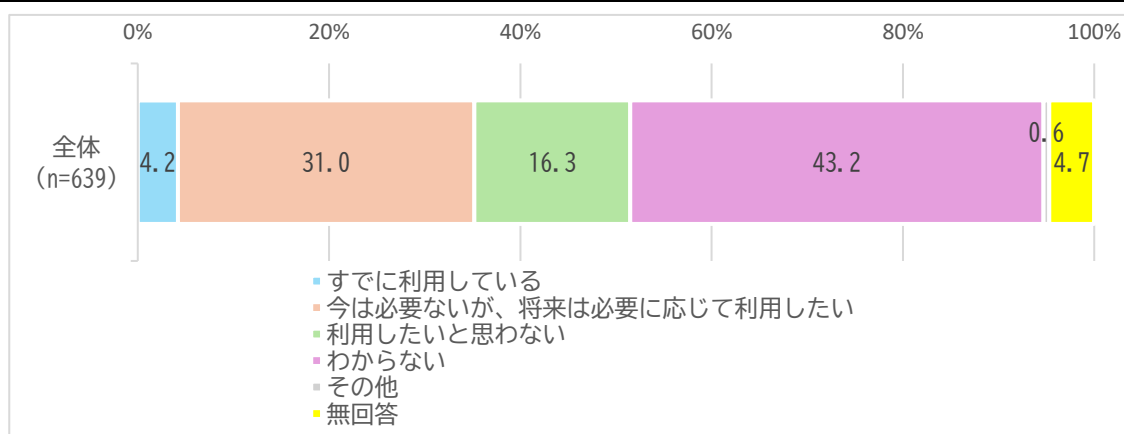
問35 成年後見制度とは、知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(1つだけ○をつけてください)



成年後見制度については、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が37.1%で最も多く、「名前も内容も知っている」(27.5%)と、「名前も内容も知らない」(26.3%)がほぼ同じ割合となっています。

(2) 成年後見制度の活用意向

問36 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。(1つだけ○をつけてください)



成年後見制度の活用意向については、「わからない」が43.2%で最も多く、「今は必要ないが、将来は必要により活用したい」が31.0%、「活用したいと思わない」が16.3%となっています。一方、「すでに活用している」とする回答は4.2%となっています。

<クロス結果>

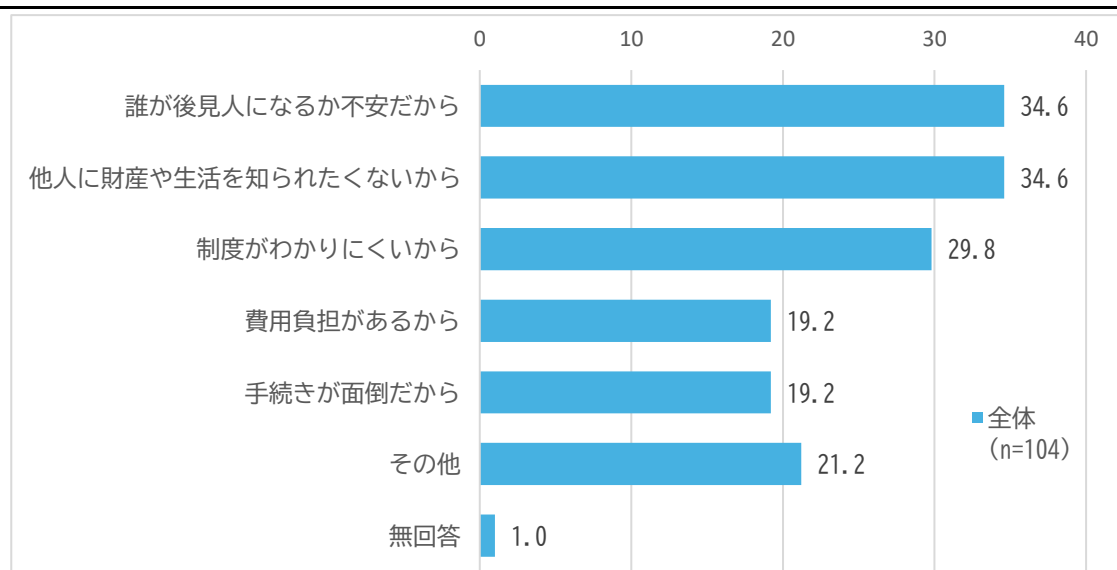
		回答者数（n）	成年後見制度の認知度（％）				成年後見制度の利用意向（％）					
			名前も内容も知っている	名前も内容を聞いたことはあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	無回答	すでに利用している	今は必要ないが、将来は必要に応じて利用したい	利用したいと思わない	わからない	その他	無回答
全体		639	27.5	37.1	26.3	9.1	4.2	31.0	16.3	43.2	0.6	4.7
年齢別	18～29歳	81	14.8	38.3	43.2	3.7	1.2	39.5	11.1	45.7	0.0	2.5
	30～39歳	99	18.2	45.5	30.3	6.1	2.0	33.3	12.1	48.5	1.0	3.0
	40～49歳	123	26.0	38.2	22.0	13.8	8.9	29.3	13.8	42.3	0.0	5.7
	50～59歳	192	34.9	34.4	20.3	10.4	4.7	28.1	17.7	44.3	1.0	4.2
	60歳以上	134	34.3	34.3	23.9	7.5	3.0	29.9	23.1	37.3	0.7	6.0
居住地区別	両津地区	147	26.5	41.5	25.2	6.8	4.1	29.9	15.0	45.6	0.7	4.8
	相川地区	71	28.2	36.6	23.9	11.3	1.4	23.9	29.6	31.0	1.4	12.7
	佐和田地区	98	29.6	42.9	26.5	1.0	4.1	35.7	18.4	40.8	1.0	0.0
	金井地区	71	32.4	28.2	35.2	4.2	5.6	25.4	16.9	47.9	0.0	4.2
	新穂地区	81	21.0	23.5	22.2	33.3	9.9	24.7	9.9	54.3	0.0	1.2
	畑野地区	38	31.6	47.4	13.2	7.9	2.6	44.7	7.9	34.2	2.6	7.9
	真野地区	61	24.6	44.3	29.5	1.6	1.6	36.1	18.0	42.6	0.0	1.6
	小木地区	21	47.6	38.1	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	38.1	0.0	4.8
	羽茂地区	20	10.0	45.0	40.0	5.0	0.0	35.0	5.0	55.0	0.0	5.0
	赤泊地区	16	37.5	12.5	37.5	12.5	0.0	50.0	12.5	25.0	0.0	12.5
障害者 状況手帳 別保	身体障害者手帳	211	33.2	35.5	24.2	7.1	1.9	32.2	18.5	42.2	0.9	4.3
	療育手帳(知的障がい)	224	21.4	28.1	32.6	17.9	8.9	28.1	9.8	46.4	0.4	6.3
	精神障害者保健福祉手帳	192	26.0	51.6	19.8	2.6	1.6	35.9	18.2	42.2	0.0	2.1
	持っていない	48	37.5	22.9	29.2	10.4	4.2	20.8	20.8	41.7	2.1	10.4

認知度を年齢別にみると、年代が若いほど総じて認知度は低くなっています。

また、成年後見制度の利用意向では、年代が若いほど「今は必要ないが、将来は必要に応じて利用したい」が多く、年代が高いほど「利用したいと思わない」が総じて多くなっています。

(3) 成年後見制度を利用したいと思わない理由

問37 問36で「3 利用したいと思わない」と回答した方にお聞きします。利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



成年後見制度を利用したいと思わない理由については、「誰が後見人になるか不安だから」「他人に財産や生活を知られたくないから」がともに34.6%で最も多く、次いで「制度がわかりにくいから」が29.8%などとなっています。

<クロス結果>

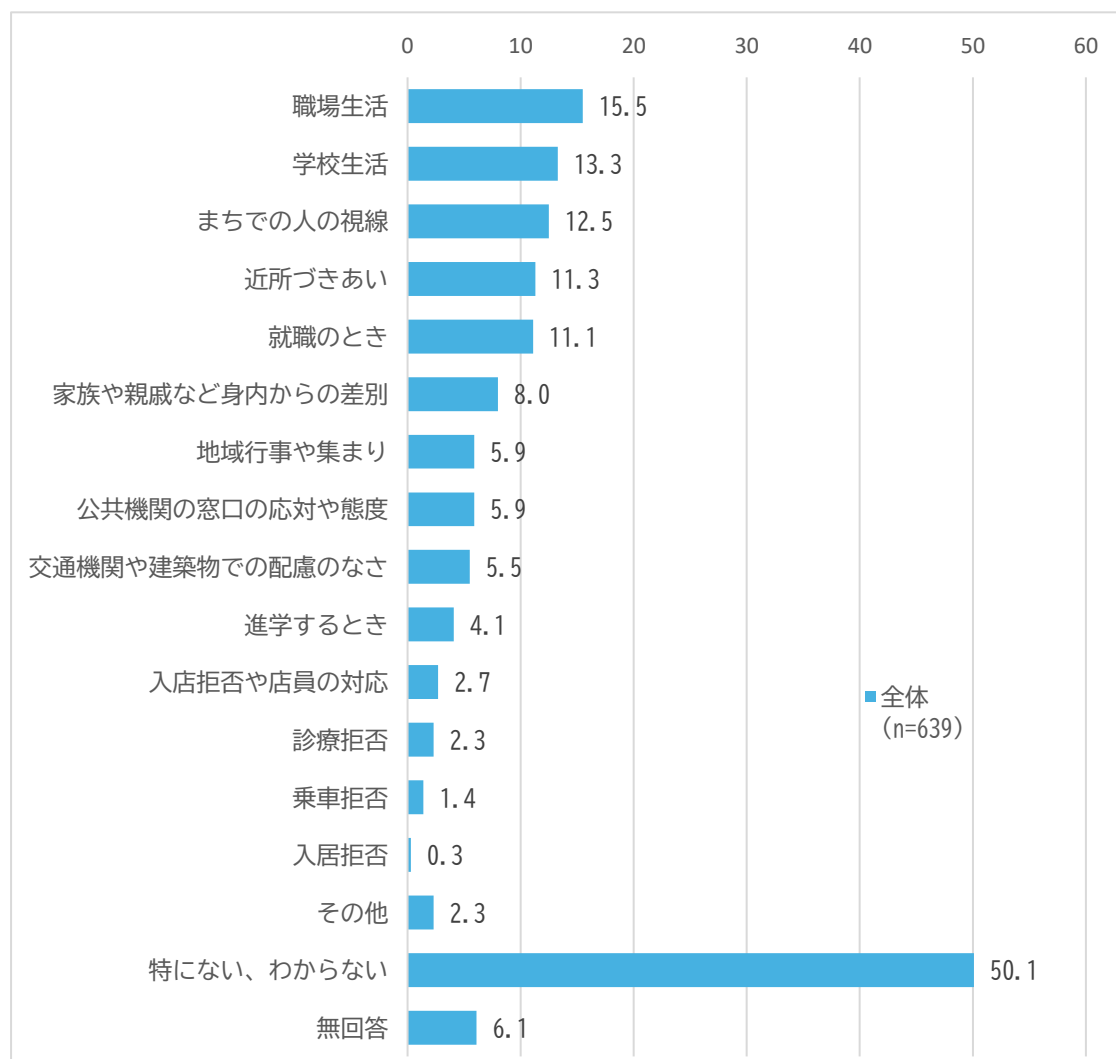
		回答者数 (n)	回答率(%)						
			不安 だか ら	誰が 後見 人にな るか	他人 に財 産や 生活 を	制 度 が わ か り に く い	費 用 負 担 が あ る か ら	手 続 き が 面 倒 だ か ら	そ の 他
全体		104	34.6	34.6	29.8	19.2	19.2	21.2	1.0
年齢別	18～29歳	9	33.3	22.2	33.3	11.1	33.3	22.2	0.0
	30～39歳	12	41.7	25.0	41.7	33.3	33.3	25.0	0.0
	40～49歳	17	41.2	35.3	41.2	17.6	23.5	5.9	5.9
	50～59歳	34	35.3	29.4	23.5	17.6	11.8	17.6	0.0
	60歳以上	31	29.0	45.2	25.8	19.4	16.1	32.3	0.0
障害者 手帳 保有 状況 別	身体障害者手帳	39	30.8	28.2	17.9	15.4	12.8	35.9	0.0
	療育手帳(知的障がい)	22	27.3	22.7	31.8	18.2	13.6	18.2	4.5
	精神障害者保健福祉手帳	35	48.6	48.6	45.7	22.9	34.3	5.7	0.0
	持っていない	10	10.0	30.0	20.0	20.0	0.0	30.0	0.0

年齢別にみると、「60歳以上」では「他人に財産や生活を知られたくないから」、「30～39歳」「40～49歳」では「制度がわかりにくいから」がやや多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「精神障害者保健福祉手帳」保有者では各項目ともに総じて回答率が高くなっています。

(4) 障がいを理由として人権を損なう扱いを受けた経験の有無

問38 あなたは、障がいを理由として、どのようなときに人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



障がいを理由として人権を損なう扱いを受けた経験の有無を尋ねたところ、「特にない、わからない」が50.1%で最も多くなっています。

一方、具体的な経験の内容では多い順に「職場生活」(15.5%)、「学校生活」(13.3%)、「まちでの人の視線」(12.5%)、「近所づきあい」(11.3%)、「就職のとき」(11.1%) などとなっています。

<クロス結果>

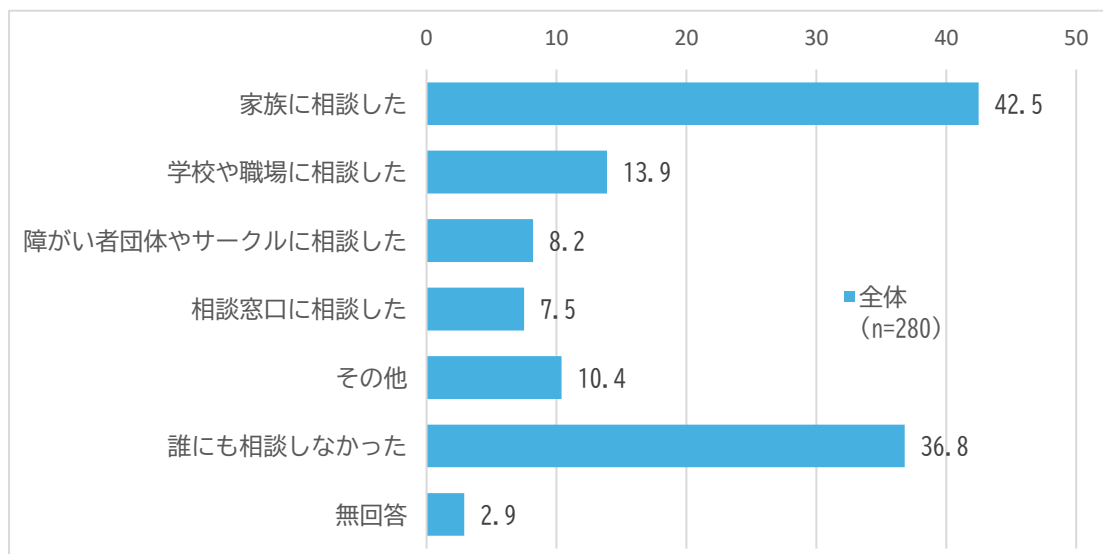
		回答者数（n）	回答率（%）																
			職場生活	学校生活	まちでの人の視線	近所づきあい	就職のとき	家族や親戚など身内からの差別	地域行事や集まり	公共機関の窓口の応対や態度	交通機関や建築物での配慮のなさ	進学するとき	応入店拒否や店員の対応	診療拒否	乗車拒否	入居拒否	その他	特にない、わからない	無回答
全体		639	15.5	13.3	12.5	11.3	11.1	8.0	5.9	5.9	5.5	4.1	2.7	2.3	1.4	0.3	2.3	50.1	6.1
年齢別	18～29歳	81	16.0	30.9	16.0	11.1	18.5	12.3	7.4	8.6	3.7	12.3	1.2	3.7	1.2	0.0	3.7	39.5	2.5
	30～39歳	99	25.3	20.2	13.1	11.1	14.1	7.1	7.1	5.1	2.0	5.1	1.0	4.0	1.0	0.0	3.0	45.5	4.0
	40～49歳	123	20.3	11.4	10.6	14.6	14.6	8.9	5.7	4.9	3.3	3.3	1.6	2.4	0.8	0.0	3.3	47.2	8.1
	50～59歳	192	14.1	8.9	13.0	10.4	6.8	9.9	5.7	6.3	7.3	2.1	4.7	1.0	2.1	0.5	1.6	52.1	4.7
	60歳以上	134	6.7	6.0	11.9	10.4	7.5	3.0	5.2	6.0	9.0	2.2	3.0	2.2	1.5	0.7	1.5	59.0	9.0
居住地区別	両津地区	147	22.4	10.2	12.9	11.6	9.5	8.2	6.1	8.8	9.5	2.0	2.7	3.4	1.4	0.0	3.4	44.2	8.2
	相川地区	71	16.9	11.3	8.5	9.9	15.5	4.2	7.0	7.0	7.0	2.8	2.8	2.8	1.4	0.0	1.4	43.7	12.7
	佐和田地区	98	16.3	17.3	24.5	16.3	15.3	12.2	5.1	4.1	5.1	6.1	6.1	4.1	3.1	1.0	0.0	45.9	3.1
	金井地区	71	15.5	14.1	9.9	14.1	16.9	15.5	5.6	5.6	4.2	5.6	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	46.5	5.6
	新穂地区	81	7.4	6.2	6.2	11.1	3.7	6.2	6.2	2.5	2.5	1.2	2.5	2.5	0.0	1.2	0.0	75.3	2.5
	畑野地区	38	15.8	21.1	10.5	5.3	13.2	2.6	5.3	5.3	2.6	13.2	2.6	0.0	5.3	0.0	5.3	44.7	7.9
	真野地区	61	14.8	19.7	9.8	9.8	13.1	6.6	4.9	6.6	1.6	4.9	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	45.9	3.3
	小木地区	21	9.5	14.3	9.5	19.0	9.5	4.8	14.3	9.5	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	52.4	0.0
	羽茂地区	20	5.0	15.0	15.0	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.0	0.0
	赤泊地区	16	18.8	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	18.8	37.5	12.5
障害者状況別 保	身体障害者手帳	211	10.4	8.5	12.8	6.6	7.6	2.8	4.3	6.6	10.0	3.3	4.7	2.8	3.3	0.9	3.3	56.9	6.2
	療育手帳(知的障がい)	224	15.6	14.7	13.8	13.4	9.8	7.1	7.1	4.9	4.5	4.9	2.2	2.7	2.2	0.0	2.2	46.9	7.6
	精神障害者保健福祉手帳	192	21.4	19.3	12.5	15.6	16.7	15.6	6.8	7.3	3.6	5.2	2.1	2.1	0.0	0.0	2.1	41.7	3.6
	持っていない	48	12.5	4.2	8.3	4.2	6.3	4.2	4.2	2.1	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	68.8	10.4

年齢別にみると、年代が高くなるほど総じて「特にない、わからない」が多くなっています。一方、「18～29歳」では「学校生活」、「30～39歳」では「職場生活」などが他の年代に比べ多くなっています。

居住地区別にみると、「特にない、わからない」の割合は「新穂地区」「羽茂地区」で高く、「赤泊地区」で低くなっています。

（５）人権を損なう扱いを受けたときの相談先

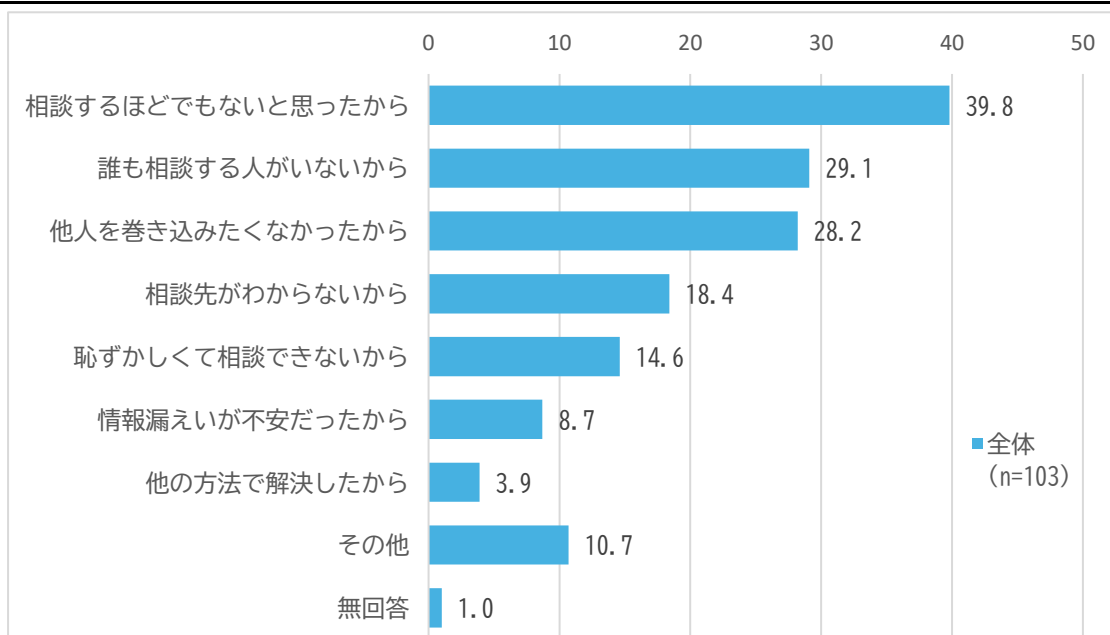
問39 問38で「１」～「15」のいずれかと答えた方にお聞きします。そのとき、誰かに相談しましたか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



障がい者を理由として人権を損なう扱いを受けたときの相談先については、「家族に相談した」が42.5%で最も多く、次いで「学校や職場に相談した」が13.9%などとなっています。一方、「だれにも相談しなかった」が36.8%などとなっています。

（６）誰にも相談しなかった理由

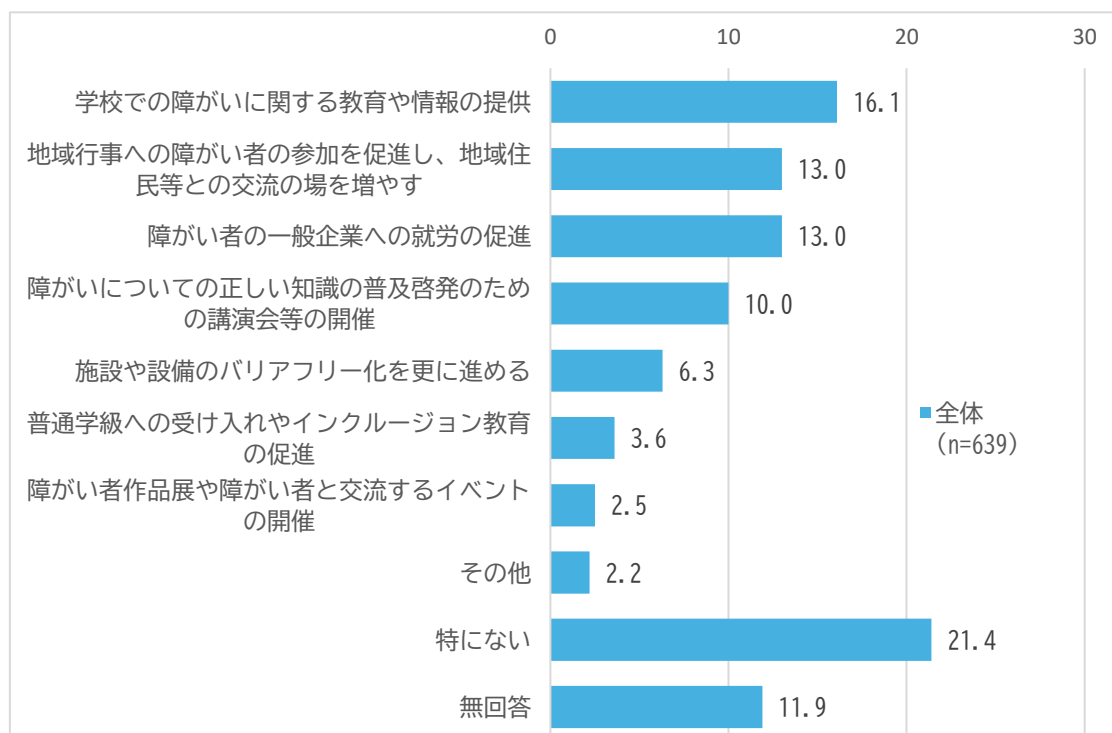
問40 問39で「６ 誰にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。相談しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



誰にも相談しなかった理由については、「相談するほどでもないと思ったから」が39.8%で最も多く、次いで「誰も相談する人がいないから」が29.1%、「他人を巻き込みたくなかったから」が28.2%などとなっています。

（７）地域での共生のために必要なこと

問41 障がいのある人もない人も共に地域で生活できるように必要なことはどんなことだと考えますか。（最もあてはまるもの一つに○をつけてください）



障がいのある人とない人が地域で共生するために必要なことを尋ねたところ、「特にない」が21.4%で最も多くなっています。

一方、必要とした回答では、多い順に「学校での障がいに関する教育や情報の提供」（16.1%）、「地域行事への障がい者の参加を促進し、地域住民等との交流の場を増やす」「障がい者の一般企業への就労の促進」（ともに13.0%）、「障がいについての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催」（10.0%）となっています。

<クロス結果>

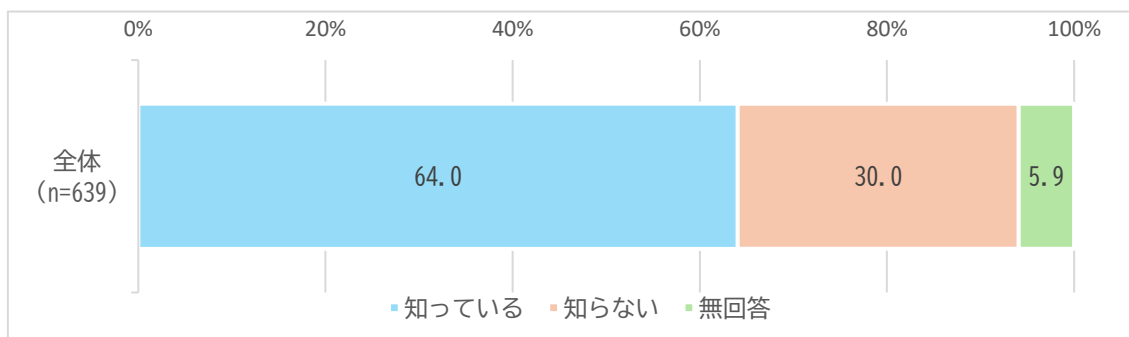
		回答者数（n）	回答率(%)									
			提供 学校での障がいに関する教育や情報の	地域行事への障がい者の参加を促進し、地域住民等との交流の場を増やす	障がい者の一般企業への就労の促進	障がいについての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催	施設や設備のバリアフリー化を更に進める	普通学級への受け入れやインクルーシブ教育の促進	障がい者作品展や障がい者と交流するイベントの開催	その他	特にない	無回答
全体		639	16.1	13.0	13.0	10.0	6.3	3.6	2.5	2.2	21.4	11.9
年齢別	18～29歳	81	25.9	8.6	13.6	6.2	4.9	8.6	9.9	2.5	13.6	6.2
	30～39歳	99	24.2	14.1	15.2	4.0	8.1	3.0	1.0	2.0	19.2	9.1
	40～49歳	123	9.8	13.0	16.3	8.9	3.3	3.3	3.3	1.6	20.3	20.3
	50～59歳	192	17.2	12.5	12.5	10.9	7.3	2.1	0.5	3.6	22.4	10.9
	60歳以上	134	9.7	16.4	8.2	16.4	7.5	3.7	1.5	0.7	25.4	10.4
居住地区別	両津地区	147	15.6	14.3	11.6	11.6	6.1	2.7	3.4	2.7	21.8	10.2
	相川地区	71	12.7	12.7	15.5	8.5	5.6	5.6	0.0	1.4	26.8	11.3
	佐和田地区	98	22.4	12.2	17.3	12.2	10.2	6.1	1.0	1.0	16.3	1.0
	金井地区	71	15.5	15.5	16.9	7.0	7.0	1.4	2.8	2.8	23.9	7.0
	新穂地区	81	11.1	11.1	6.2	7.4	6.2	3.7	4.9	2.5	13.6	33.3
	畑野地区	38	10.5	18.4	10.5	15.8	2.6	5.3	2.6	0.0	23.7	10.5
	真野地区	61	16.4	8.2	14.8	8.2	4.9	4.9	3.3	4.9	21.3	13.1
	小木地区	21	28.6	9.5	19.0	4.8	9.5	0.0	4.8	0.0	19.0	4.8
	羽茂地区	20	15.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	45.0	5.0
	赤泊地区	16	25.0	18.8	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	18.8
障害者 状況手帳 別保	身体障害者手帳	211	15.6	14.7	10.0	11.4	13.3	3.3	0.0	1.9	20.9	9.0
	療育手帳(知的障がい)	224	12.1	16.1	9.8	7.1	5.8	3.6	4.5	0.4	21.0	19.6
	精神障害者保健福祉手帳	192	20.8	11.5	19.8	9.9	0.5	3.6	3.1	4.7	18.8	7.3
	持っていない	48	14.6	0.0	8.3	12.5	6.3	4.2	0.0	0.0	41.7	12.5

年齢別にみると、「特にない」とする回答は年代が高いほど総じて多くなっています。一方、「18～20 歳」「30～39 歳」では「学校での障がいに関する教育や情報の提供」が他の年代に比べ多くなっています。

11 災害時の避難などについて

(1) 災害時の避難場所の認知度

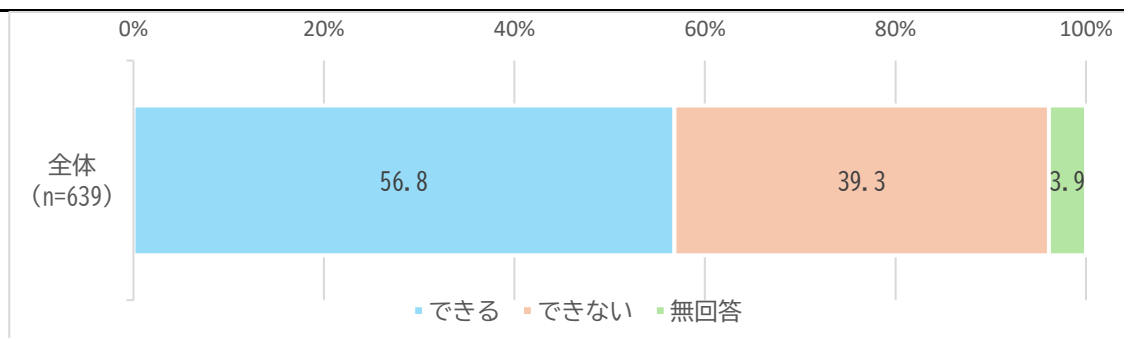
問42 あなたは地震・津波・土石流など災害時の避難場所を知っていますか。(1つだけ○をつけてください)



緊急時の避難場所について、「知っている」が64.0%、「知らない」が30.0%となっています。

(2) 緊急時の避難について

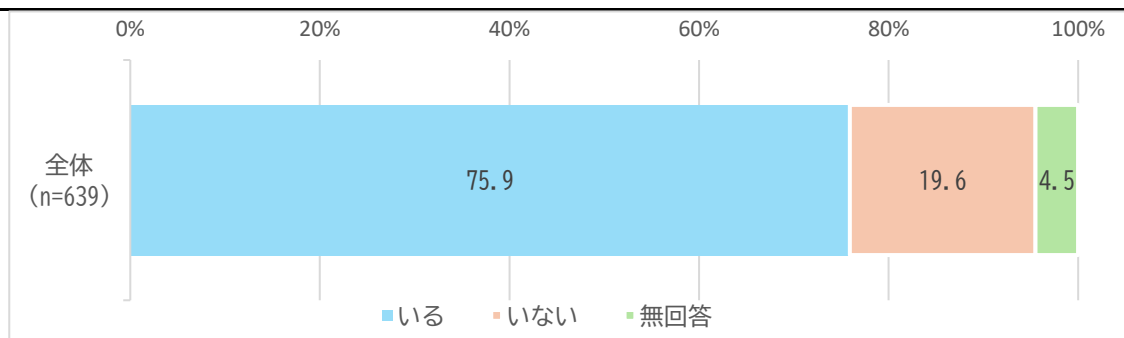
問43 あなたは地震・津波・土石流など災害時に一人で避難することができますか。(1つだけ○をつけてください)



災害時に一人で避難することについて、「できる」が56.8%、「できない」が39.3%となっています。

(3) 災害時の援助者の有無

問44 あなたは地震・津波・土石流など災害時に援助してくれる家族や近所の方がいますか。(1つだけ○をつけてください)



災害時に援助してくれる家族や近所の方について、「いる」が75.9%、「いない」が19.6%となっています。

(4) 年齢別、地域別、障害者手帳保有状況別の災害時の対応

		回答者数 (n)	災害時の避難場所の認知度			災害時に一人で避難できるか			災害時に援助してくれる家族や近所の人		
			知っている	知らない	無回答	できる	できない	無回答	いる	いない	無回答
全体		639	64.0	30.0	5.9	56.8	39.3	3.9	75.9	19.6	4.5
年齢別	18～29歳	81	69.1	28.4	2.5	53.1	45.7	1.2	86.4	11.1	2.5
	30～39歳	99	67.7	30.3	2.0	57.6	41.4	1.0	88.9	11.1	0.0
	40～49歳	123	55.3	36.6	8.1	52.8	43.9	3.3	77.2	18.7	4.1
	50～59歳	192	64.6	27.6	7.8	59.9	34.4	5.7	70.3	24.5	5.2
	60歳以上	134	66.4	27.6	6.0	57.5	37.3	5.2	67.2	25.4	7.5
居住地区別	両津地区	147	70.1	25.9	4.1	61.9	33.3	4.8	71.4	23.1	5.4
	相川地区	71	66.2	28.2	5.6	63.4	32.4	4.2	74.6	19.7	5.6
	佐和田地区	98	70.4	27.6	2.0	61.2	36.7	2.0	72.4	25.5	2.0
	金井地区	71	56.3	40.8	2.8	62.0	33.8	4.2	71.8	25.4	2.8
	新穂地区	81	32.1	48.1	19.8	24.7	74.1	1.2	88.9	9.9	1.2
	畑野地区	38	81.6	10.5	7.9	65.8	23.7	10.5	68.4	21.1	10.5
	真野地区	61	67.2	27.9	4.9	59.0	36.1	4.9	78.7	13.1	8.2
	小木地区	21	95.2	4.8	0.0	85.7	14.3	0.0	85.7	14.3	0.0
	羽茂地区	20	50.0	50.0	0.0	40.0	60.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	赤泊地区	16	81.3	18.8	0.0	56.3	43.8	0.0	93.8	6.3	0.0
障害者 状況別 手帳 保有	身体障害者手帳	211	69.2	27.5	3.3	56.4	40.3	3.3	78.7	17.5	3.8
	療育手帳(知的障がい)	224	54.9	34.8	10.3	39.7	55.8	4.5	81.3	13.8	4.9
	精神障害者保健福祉手帳	192	62.5	33.9	3.6	65.1	31.8	3.1	68.2	27.6	4.2
	持っていない	48	68.8	22.9	8.3	70.8	20.8	8.3	72.9	18.8	8.3

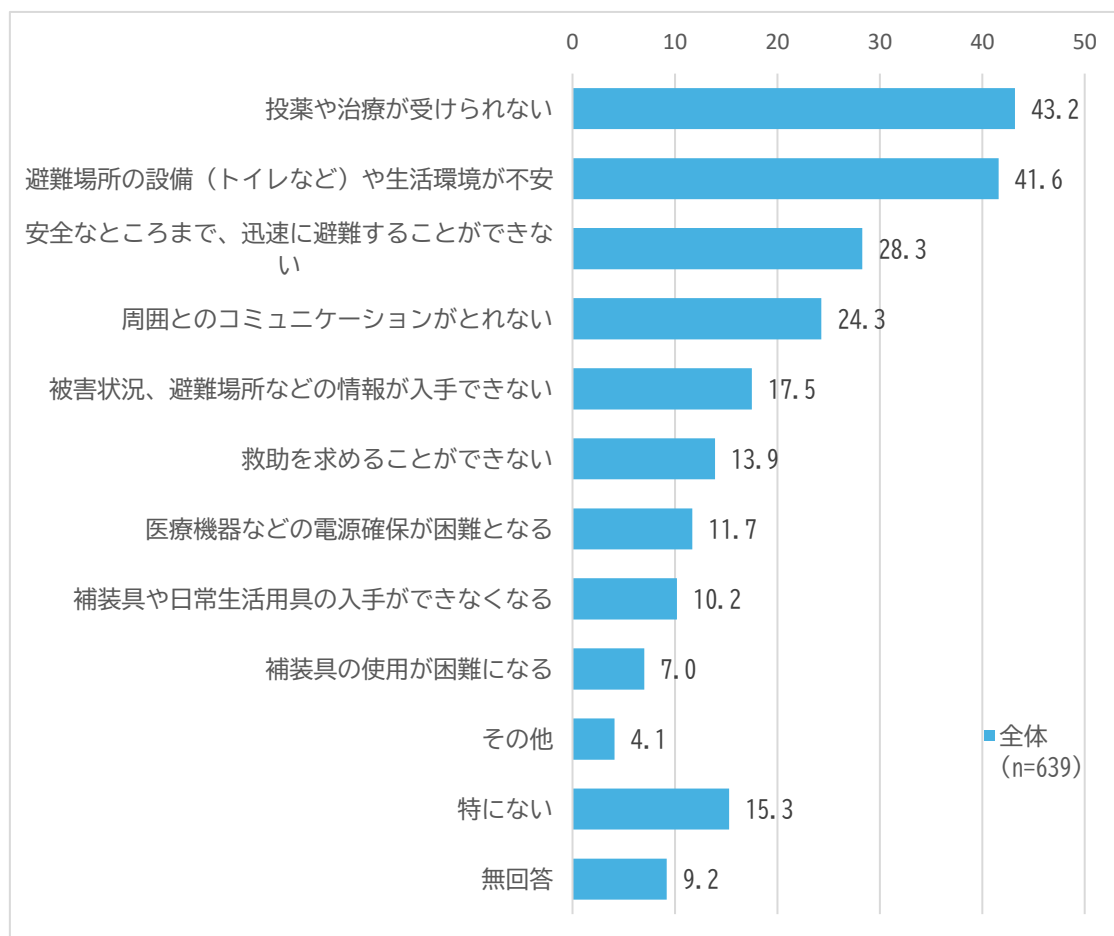
災害時の避難に関する3つの設問の回答状況を年齢別にみると、「援助してくれる家族や近所の人」については年代が高くなるほどほど「いない」の割合が総じて高くなっています。

居住地区別にみると、「新穂地区」「羽茂地区」では避難場所を「知らない」、災害時に一人で避難することが「できない」の割合が他の地区に比べ多くなっています。

障害者手帳保有状況別にみると、「療育手帳（知的障がい）」保有者では、災害時に一人で避難することが「できない」の割合が、「精神障害者保健福祉手帳」保有者では災害時に援助してくれる家族や近所の人「いない」の割合がやや高くなっています。

（５）災害時に困ること

問45 地震・津波・土石流など災害時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



災害時に困ることについては、「投薬や治療が受けられない」が43.2%で最も多く、次いで「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」（41.6%）、「安全なところまで、迅速に避難することができない」（28.3%）、「周囲とのコミュニケーションがとれない」（24.3%）などとなっています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）											
			投薬や治療が受けられない	避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安	安全なところまで、迅速に避難することができない	周囲とのコミュニケーションがとれない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	救助を求めることができない	医療機器などの電源確保が困難となる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	補装具の使用が困難になる	その他	特にない	無回答
全体		639	43.2	41.6	28.3	24.3	17.5	13.9	11.7	10.2	7.0	4.1	15.3	9.2
年齢別	18～29歳	81	28.4	51.9	33.3	37.0	16.0	18.5	7.4	6.2	3.7	4.9	23.5	2.5
	30～39歳	99	44.4	40.4	31.3	28.3	17.2	16.2	11.1	8.1	5.1	4.0	16.2	6.1
	40～49歳	123	44.7	36.6	25.2	30.1	22.8	13.0	11.4	4.9	4.1	4.1	15.4	14.6
	50～59歳	192	44.8	39.1	26.6	17.7	15.1	14.1	12.5	13.0	9.9	3.1	14.1	11.5
	60歳以上	134	46.3	47.0	29.1	18.7	18.7	11.2	14.9	14.2	9.0	5.2	11.2	6.7
居住地区別	両津地区	147	38.8	41.5	25.2	21.1	15.0	10.9	10.2	9.5	5.4	6.8	17.7	6.1
	相川地区	71	45.1	32.4	28.2	26.8	12.7	11.3	16.9	11.3	7.0	7.0	22.5	5.6
	佐和田地区	98	55.1	50.0	36.7	27.6	21.4	15.3	13.3	15.3	10.2	3.1	9.2	2.0
	金井地区	71	42.3	43.7	26.8	29.6	22.5	19.7	16.9	8.5	4.2	1.4	19.7	2.8
	新穂地区	81	34.6	33.3	24.7	25.9	14.8	16.0	8.6	12.3	9.9	2.5	11.1	34.6
	畑野地区	38	42.1	52.6	23.7	15.8	15.8	13.2	13.2	10.5	10.5	2.6	10.5	10.5
	真野地区	61	41.0	44.3	29.5	29.5	19.7	13.1	1.6	6.6	4.9	3.3	16.4	9.8
	小木地区	21	66.7	23.8	14.3	19.0	19.0	9.5	9.5	0.0	0.0	4.8	19.0	0.0
	羽茂地区	20	35.0	35.0	45.0	15.0	20.0	20.0	15.0	5.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	赤泊地区	16	37.5	75.0	43.8	18.8	31.3	12.5	18.8	6.3	18.8	6.3	6.3	6.3
障害者状況手帳保有別	身体障害者手帳	211	49.3	49.3	36.0	16.1	18.5	15.6	20.9	19.0	14.7	2.8	12.8	4.7
	療育手帳(知的障がい)	224	29.9	40.6	33.5	29.9	22.8	20.5	8.5	8.0	4.5	3.6	16.5	17.4
	精神障害者保健福祉手帳	192	50.5	42.2	22.9	30.7	16.1	10.4	6.3	3.6	2.6	4.7	15.1	5.7
	持っていない	48	47.9	18.8	8.3	10.4	4.2	6.3	12.5	12.5	6.3	8.3	18.8	12.5

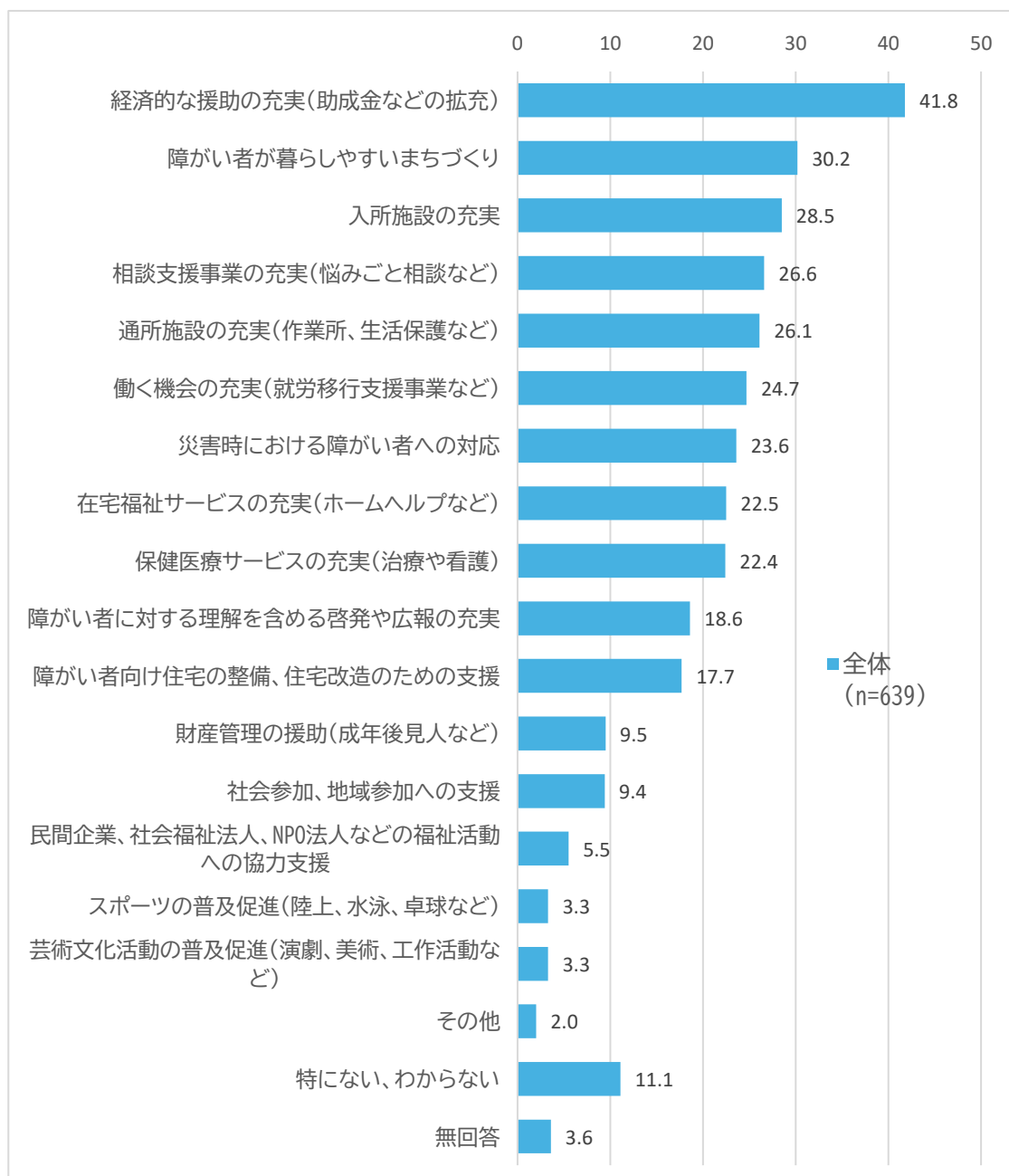
年齢別にみると、「18～29歳」では「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」「周囲とのコミュニケーションがとれない」などが他の年代に比べ多くなっています。

居住地区別にみると、「小木地区」では「投薬や治療が受けられない」、「赤泊地区」では「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」などが他の地区に比べ多くなっています。

12 障がい者福祉施策について

(1) 障がい者福祉施策に対する要望事項

問46 佐渡市で暮らしていくうえで、これからどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。ご家族（ご家族がいない場合は介助者、支援者）のご意見もふまえ、お答えください。（5つまで選んで○をつけてください）



これから力を入れてほしい障がい者施策については、「経済的な援助の充実（助成金などの拡充）」が41.8%で最も多く、以下「障がい者が暮らしやすいまちづくり」（30.2%）、「入所施設の充実」（28.5%）、「相談支援事業の充実（悩みごと相談など）」（26.6%）、「通所施設の充実（作業所、生活保護など）」（26.1%）、「働く機会の充実（就労移行支援事業など）」（24.7%）など、比較的幅広く要望が寄せられています。

<クロス結果>

		回答者数（n）	回答率（％）													
			の経済的な援助の充実（助成金などの拡充）	障がい者が暮らしやすいまちづくり	入所施設の充実	相談支援事業の充実（悩みごと相談など）	通所施設の充実（作業所、生活保護など）	働く機会の充実（就労移行支援事業など）	災害時における障がい者への対応	在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプなど）	保健医療サービスの充実（治療や看護）	障がい者に対する理解を含める啓発や広報の充実	障がい者向け住宅の整備、住宅改造のための支援	財産管理の援助（成年後見人など）	社会参加、地域参加への支援	民間企業、社会福祉法人、NPO法人などの福祉活動への協力支援
全体		639	41.8	30.2	28.5	26.6	26.1	24.7	23.6	22.5	22.4	18.6	17.7	9.5	9.4	5.5
年齢別	18～29歳	81	38.3	35.8	23.5	33.3	34.6	51.9	25.9	12.3	21.0	22.2	12.3	11.1	13.6	3.7
	30～39歳	99	37.4	26.3	30.3	24.2	36.4	24.2	27.3	25.3	22.2	15.2	16.2	17.2	13.1	5.1
	40～49歳	123	47.2	27.6	23.6	26.8	25.2	27.6	22.8	21.1	19.5	22.8	16.3	10.6	6.5	8.9
	50～59歳	192	41.7	34.4	28.6	31.3	22.9	20.3	20.3	22.4	21.9	19.8	22.4	6.8	7.8	4.2
	60歳以上	134	43.3	26.1	34.3	18.7	20.9	13.4	26.1	29.1	26.9	14.9	17.2	6.7	9.7	6.0
居住地区別	両津地区	147	32.7	32.0	31.3	26.5	25.2	27.2	25.9	15.0	19.0	23.8	15.6	9.5	10.9	10.2
	相川地区	71	42.3	36.6	26.8	23.9	21.1	28.2	21.1	23.9	25.4	19.7	15.5	11.3	9.9	4.2
	佐和田地区	98	48.0	36.7	25.5	25.5	29.6	27.6	30.6	25.5	34.7	22.4	27.6	6.1	12.2	4.1
	金井地区	71	47.9	32.4	22.5	22.5	35.2	28.2	26.8	21.1	18.3	16.9	25.4	9.9	7.0	5.6
	新穂地区	81	54.3	14.8	25.9	44.4	19.8	14.8	24.7	17.3	14.8	13.6	11.1	3.7	7.4	2.5
	畑野地区	38	50.0	21.1	26.3	26.3	13.2	21.1	15.8	28.9	15.8	13.2	15.8	10.5	13.2	2.6
	真野地区	61	42.6	29.5	34.4	24.6	31.1	27.9	13.1	26.2	21.3	13.1	13.1	13.1	6.6	4.9
	小木地区	21	33.3	38.1	38.1	38.1	4.8	52.4	23.8	14.3	33.3	28.6	23.8	14.3	4.8	19.0
	羽茂地区	20	15.0	20.0	30.0	5.0	30.0	10.0	25.0	30.0	15.0	10.0	10.0	15.0	5.0	10.0
	赤泊地区	16	37.5	37.5	31.3	12.5	37.5	31.3	31.3	43.8	18.8	31.3	37.5	25.0	6.3	0.0
障害者 状況 別 手帳 保	身体障害者手帳	211	43.6	28.9	34.6	18.5	23.7	19.0	28.4	26.1	29.4	15.2	22.3	5.2	8.5	2.4
	療育手帳(知的障がい)	224	32.6	31.3	29.5	33.5	36.2	23.7	25.9	18.8	15.6	17.4	16.5	13.8	8.0	7.1
	精神障害者保健福祉手帳	192	50.0	34.4	20.8	32.8	22.4	34.4	19.3	24.0	24.5	23.4	15.1	10.4	11.5	5.2
	持っていない	48	35.4	10.4	35.4	10.4	14.6	10.4	10.4	25.0	18.8	8.3	12.5	6.3	6.3	8.3

※回答の下位5項目（「芸術文化活動の普及促進（演劇、美術、工作活動など）」「民間企業、社会福祉法人、NPO法人などの福祉活動への協力支援」「スポーツの普及促進（陸上、水泳、卓球など）」「その他」「特になし、わからない」）及び「無回答」は掲載を省略

年齢別にみると、「18～29歳」では「働く機会の充実（就労移行支援事業など）」が5割を超え、他の年代に比べて非常に多くなっています。一方、「60歳以上」では「入所施設の充実」「在宅福祉サービス（ホームヘルプなど）」などが他の年代に比べ多くなっています。

居住地区別にみると、「新穂地区」では「経済的な援助の充実（助成金などの拡充）」「相談支援事業の充実（悩みごと相談など）」など、「小木地区」では「働く機会の充実（就労移行支援事業など）」「相談支援事業の充実（悩みごと相談など）」など、「赤泊地区」では「在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプなど）」「障がい者向け住宅の整備、住宅改造のための支援」などが他の地区に比べ多くなっています。